

# 大津市 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 報告書

令和 8 年 4 月

大 津 市



# 目次

I	調査の概要.....	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査対象.....	1
3.	調査期間.....	1
4.	調査方法.....	1
5.	回収状況.....	1
6.	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1.	回答者の属性.....	2
2.	ご家族や生活状況について.....	5
3.	からだを動かすことについて.....	8
4.	食べることについて.....	22
5.	毎日の生活について.....	29
6.	地域での活動について.....	43
7.	就労について.....	53
8.	たすけあいについて.....	55
9.	健康について.....	59
10.	認知症について.....	70
11.	その他の高齢者施策について.....	75
12.	介護保険制度について.....	83



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）は、今後ますます高齢化が進む中、介護に関する新たなニーズや課題も生じることが予測されることから、市民の声を高齢者福祉及び介護保険サービスに活かし、「第10期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため、実施しました。

## 2. 調査対象

要介護認定を受けていない65歳以上の市民3,000人

## 3. 調査期間

令和7年12月23日から令和8年1月14日まで

## 4. 調査方法

配布は郵送方式、回収は郵送及びインターネット方式

## 5. 回収状況

調査名	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000件	1,852件	61.7%

## 6. 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

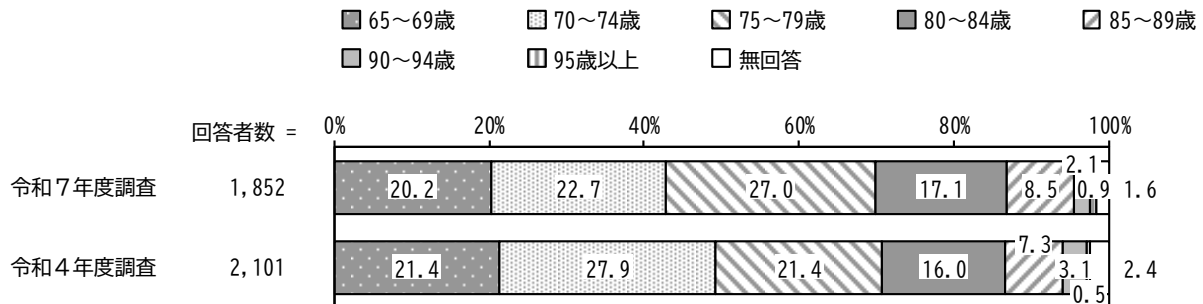
## Ⅱ 調査結果

### 1. 回答者の属性

#### 年代

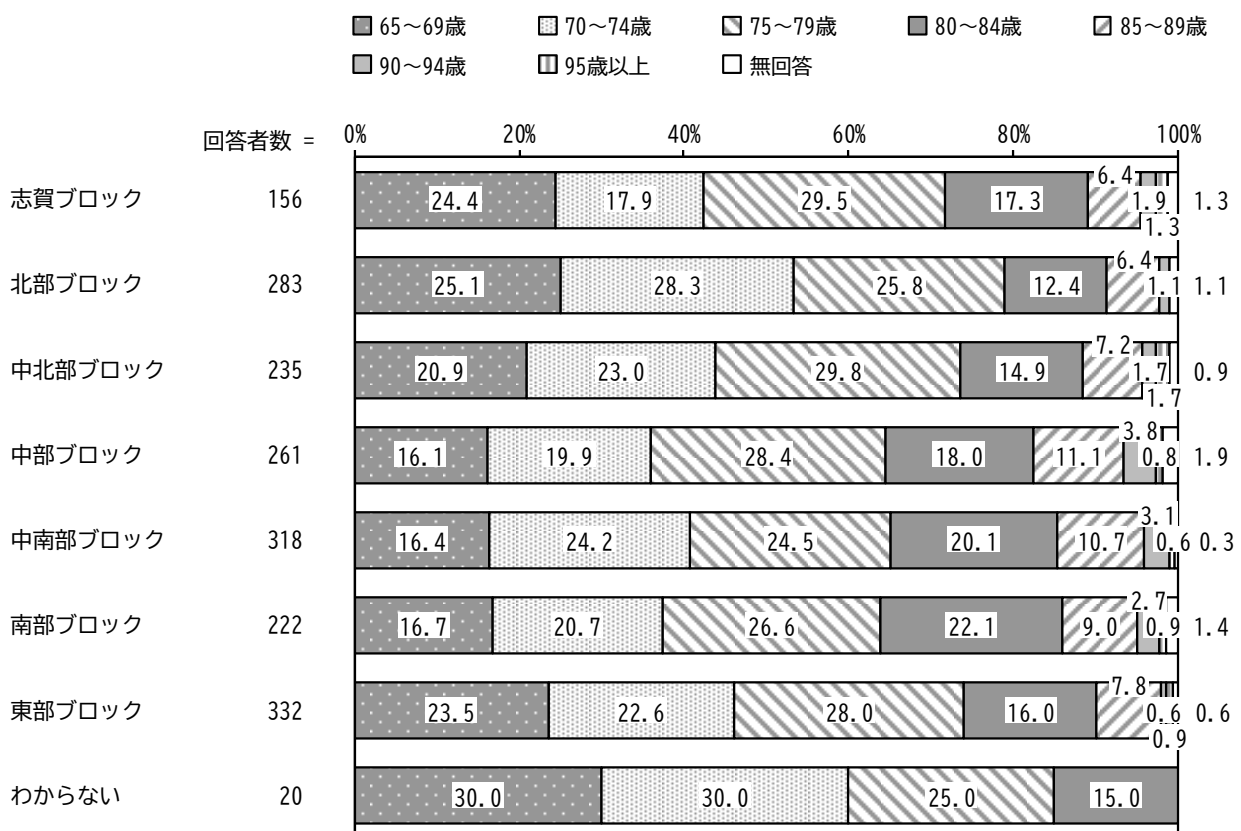
「75～79歳」の割合が27.0%と最も高く、次いで「70～74歳」の割合が22.7%、「65～69歳」の割合が20.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「75～79歳」の割合が増加しています。一方、「70～74歳」の割合が減少しています。



#### 【保健福祉ブロック別】

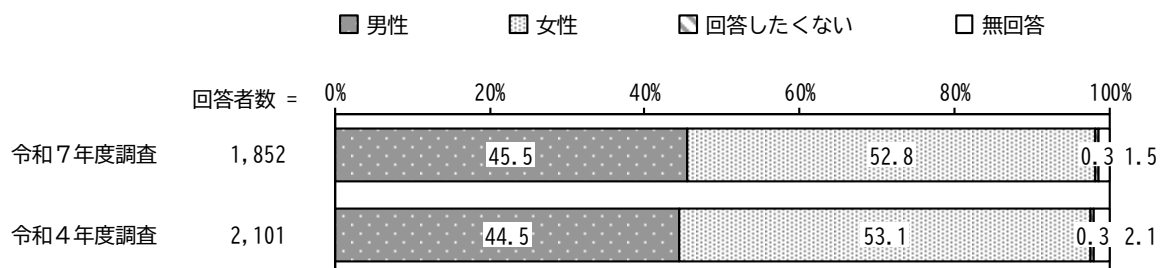
保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



## 性別

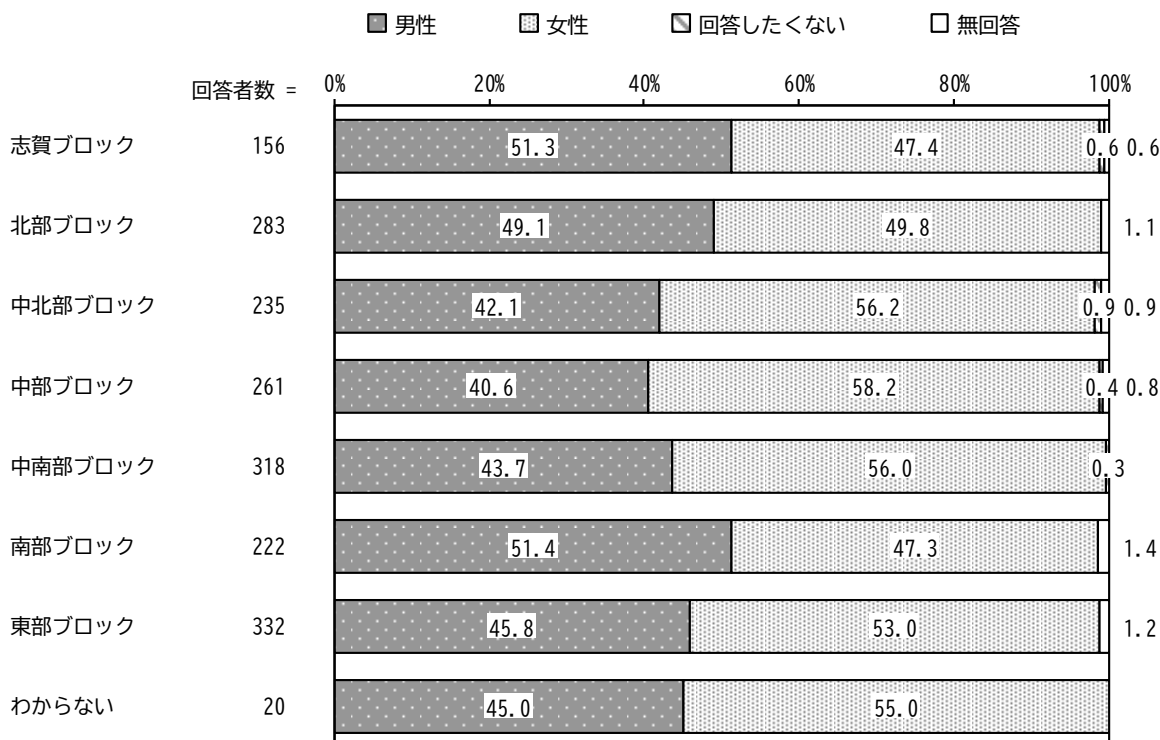
「男性」の割合が45.5%、「女性」の割合が52.8%、「回答したくない」の割合が0.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



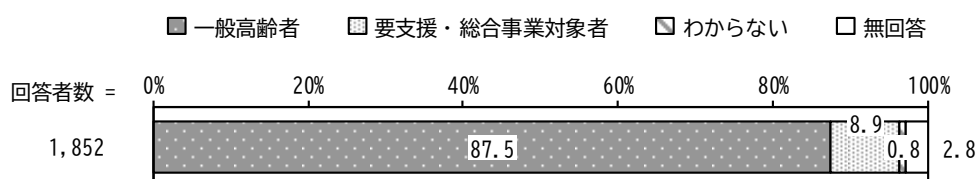
## 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、志賀ブロック、南部ブロックで「男性」、中部ブロックで「女性」の割合が高くなっています。



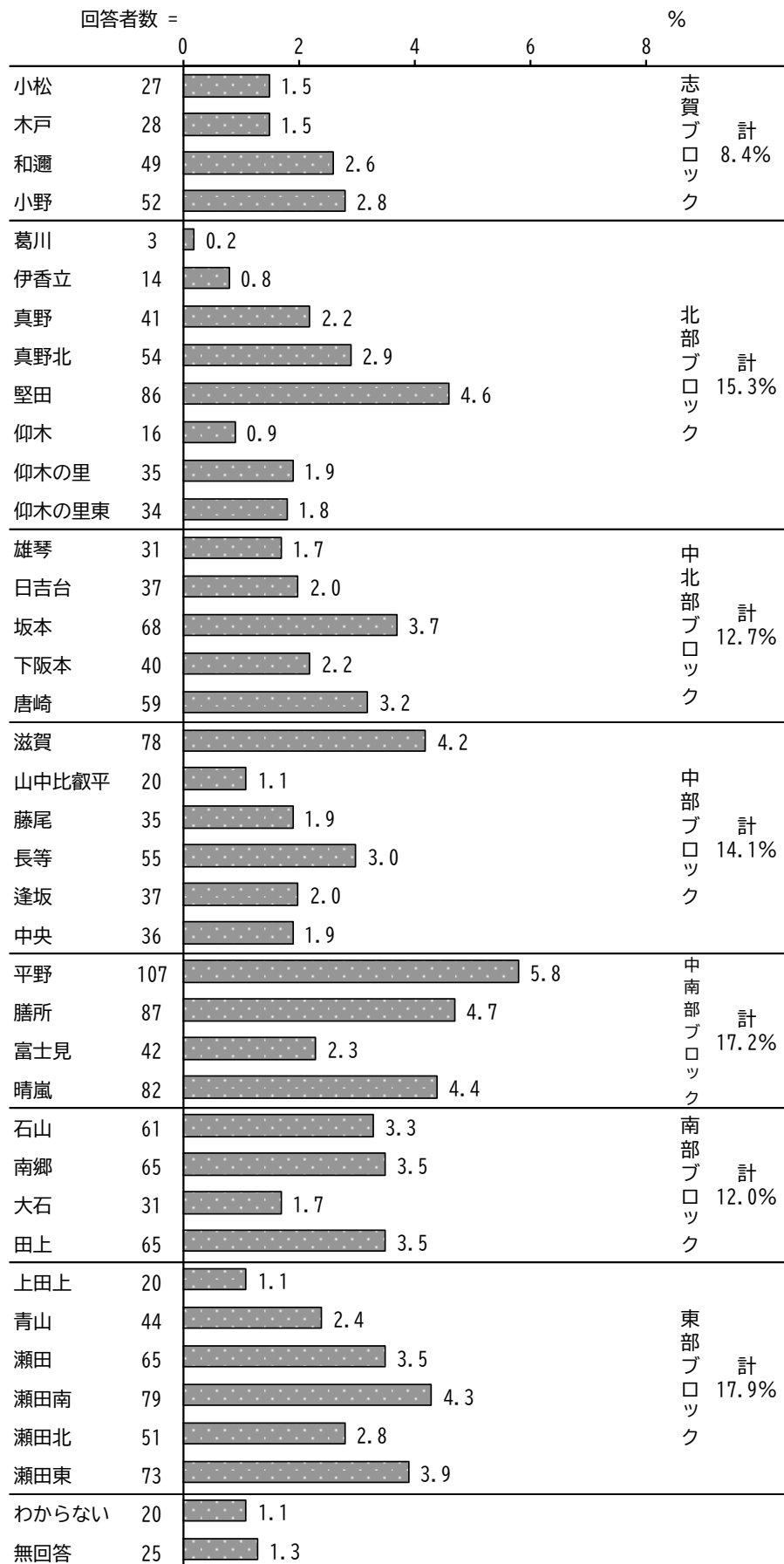
## 要介護認定

「一般高齢者」の割合が87.5%、「要支援・総合事業対象者」の割合が8.9%、「わからない」の割合が0.8%となっています。



## お住まいの学区

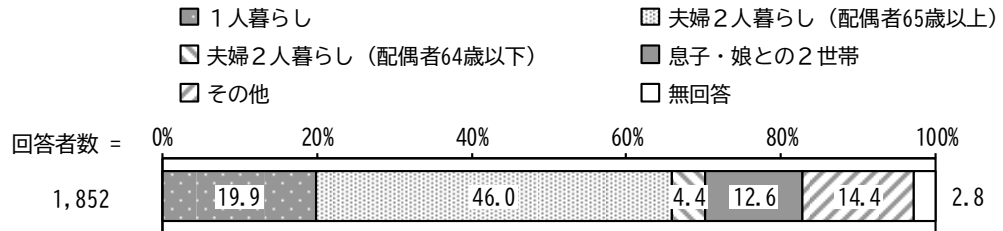
「平野」の割合が5.8%と最も高くなっています。



## 2. ご家族や生活状況について

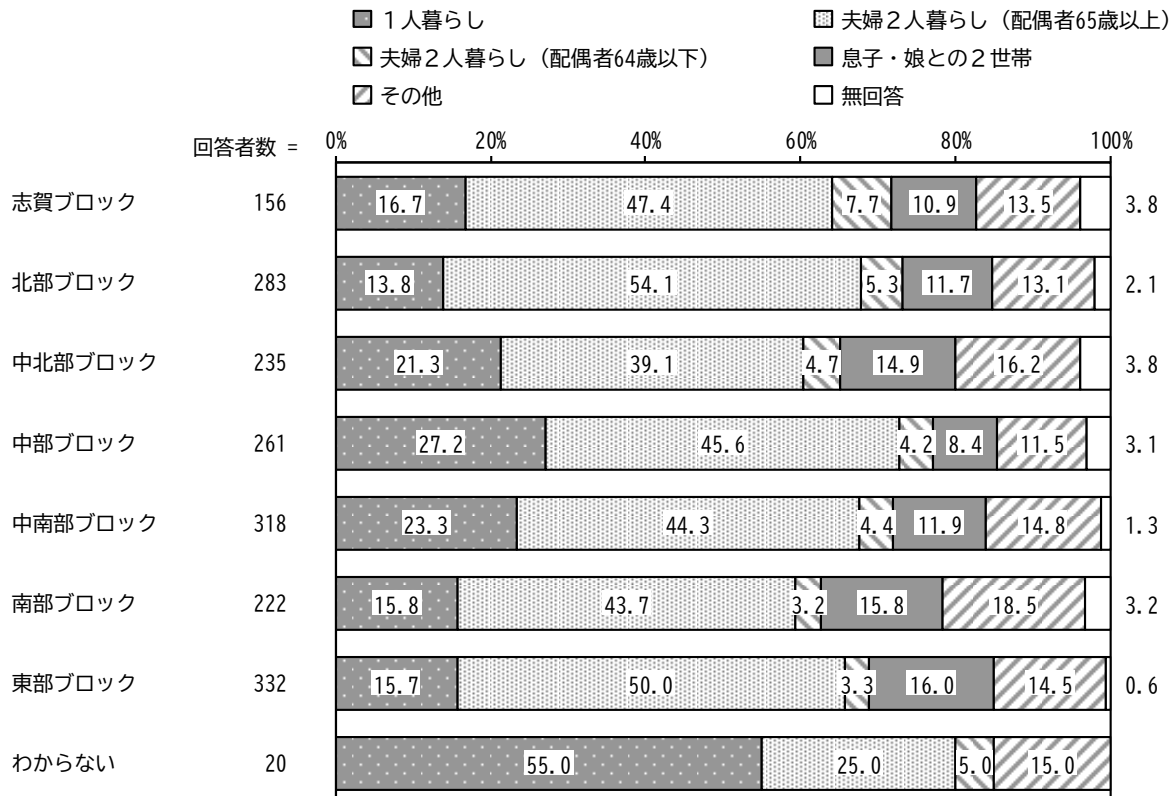
### (1) 家族構成をお教えてください（ひとつだけ○を）

「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が 19.9%、「息子・娘との2世帯」の割合が 12.6%となっています。



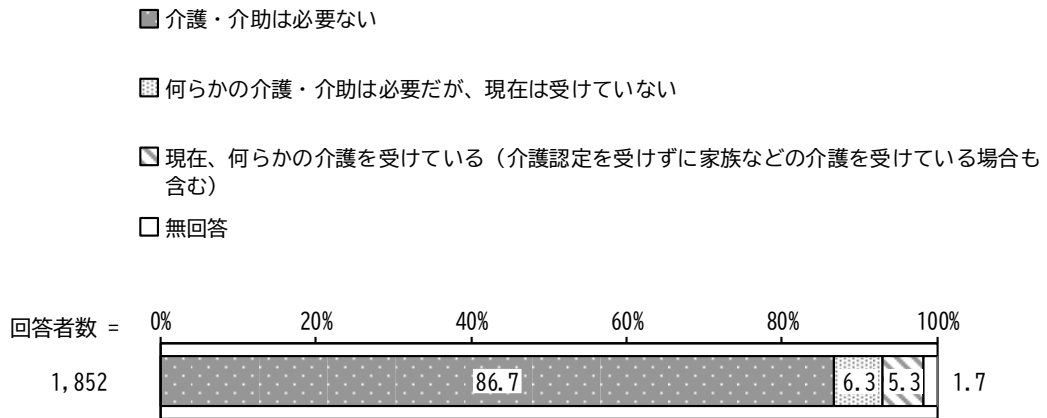
#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、中部ブロックで「1人暮らし」、北部ブロックで「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が高くなっています。



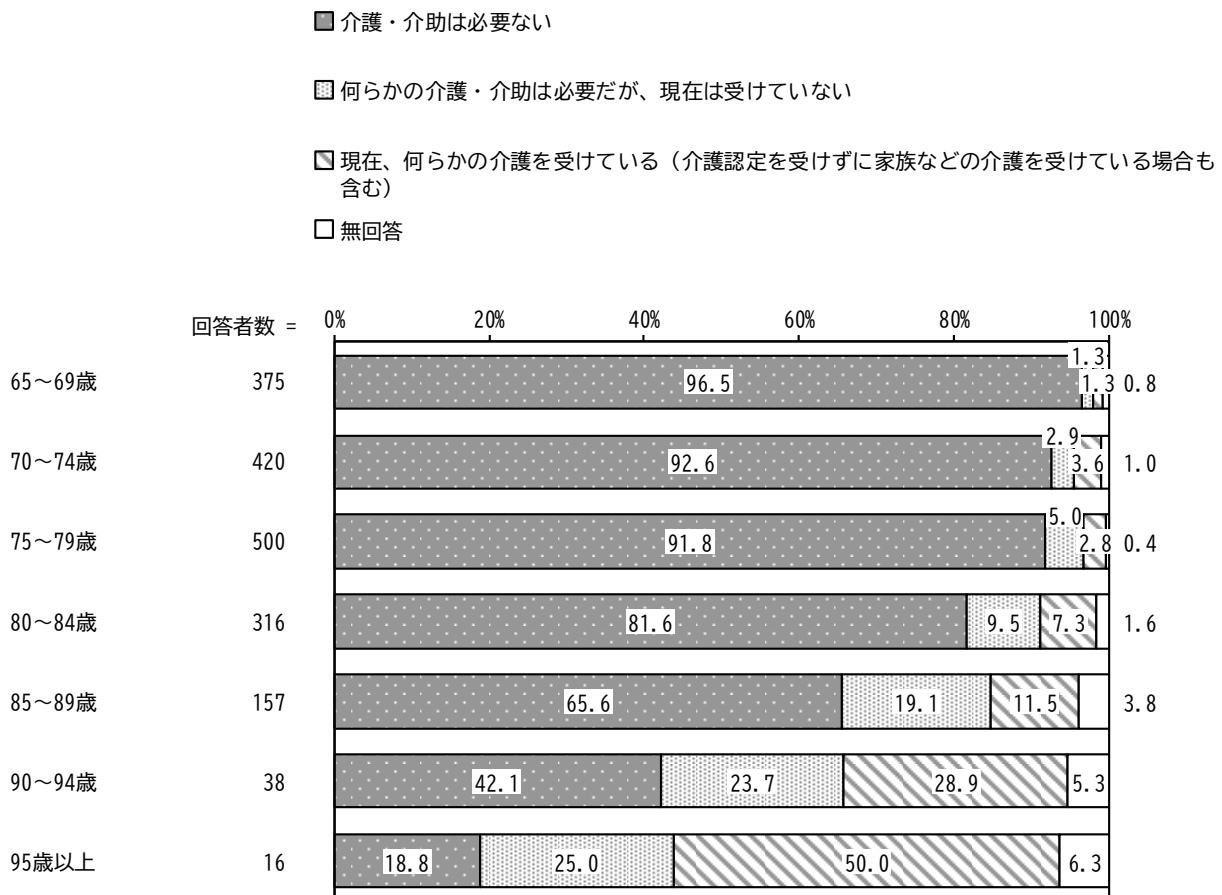
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（ひとつだけ○を）

「介護・介助は必要ない」の割合が 86.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が 6.3%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が 5.3%となっています。



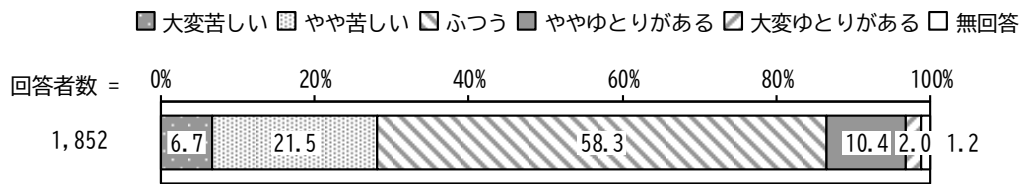
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高い傾向にあり、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。



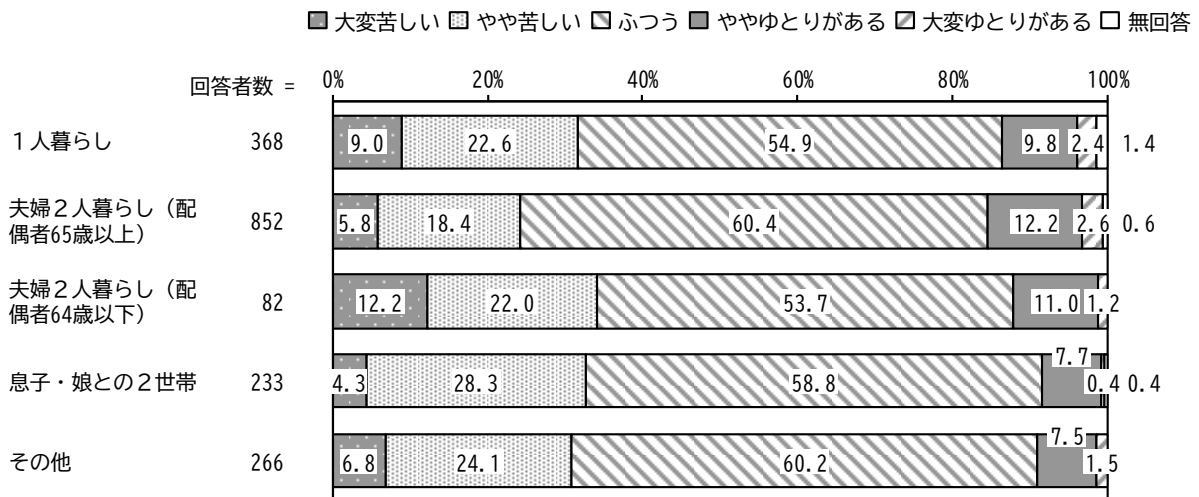
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（ひとつだけ○を）

「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が28.2%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が12.4%となっています。



【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で“苦しい”の割合が高くなっています。

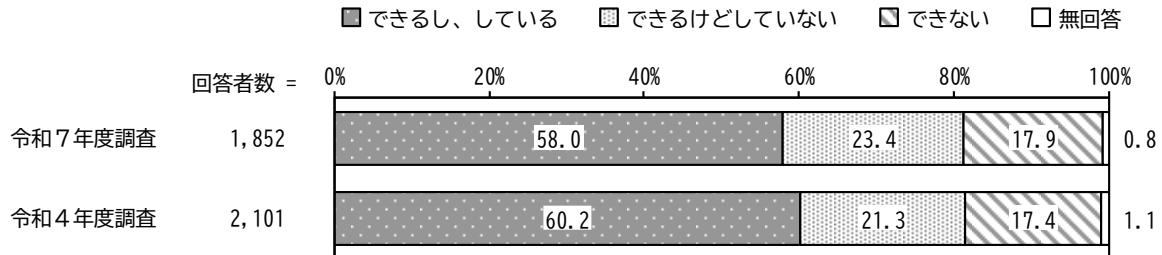


### 3. からだを動かすことについて

#### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（ひとつだけ○を）

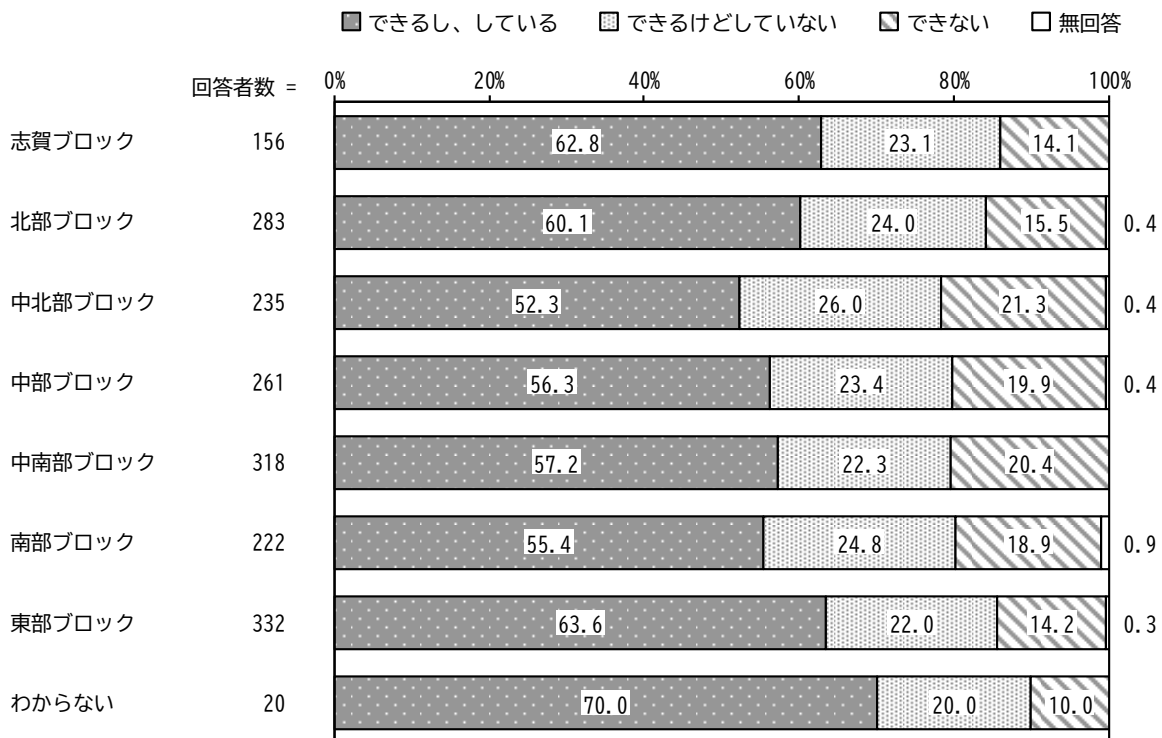
「できるし、している」の割合が 58.0%、「できるけどしていない」の割合が 23.4%、「できない」の割合が 17.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



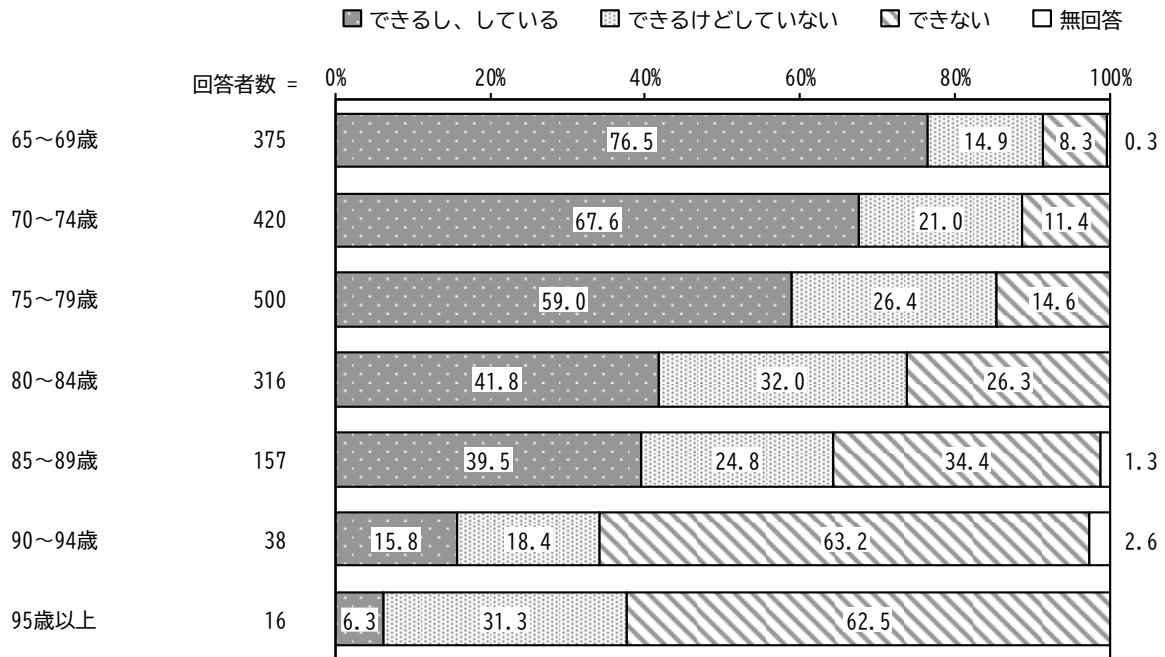
#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、東部ブロックで「できるし、している」の割合が高くなっています。



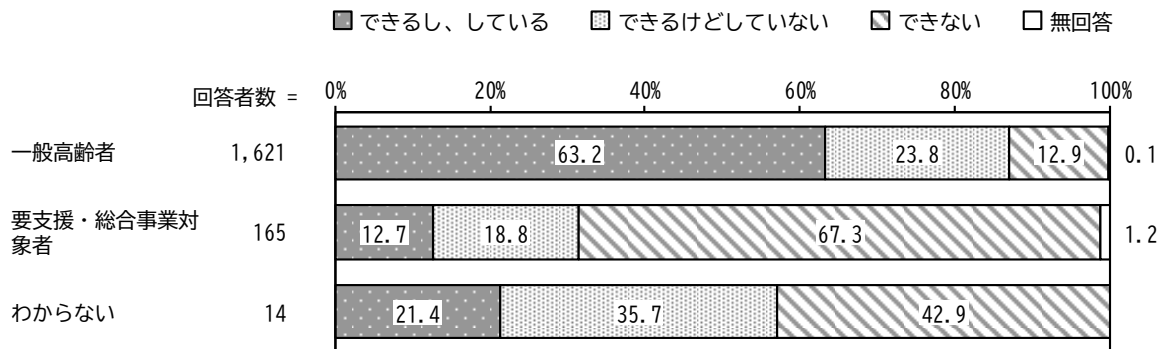
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低くなっています。また、90～94歳、95歳以上で「できない」の割合が高くなっています。



### 【要介護認定別】

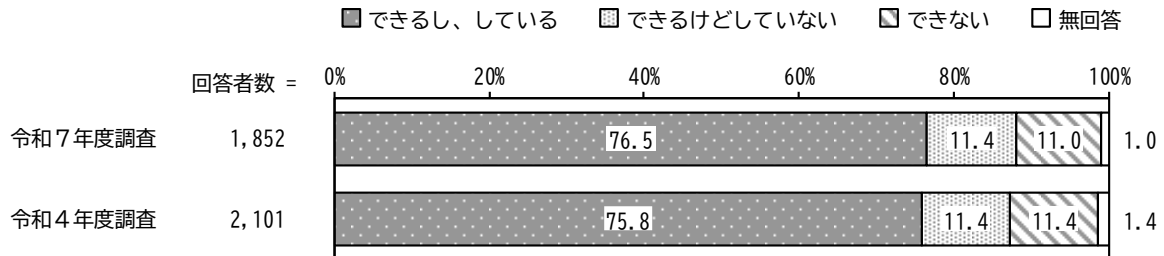
要介護認定別にみると、一般高齢者で「できるし、している」「できるけどしていない」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



## (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (ひとつだけ○を)

「できるし、している」の割合が 76.5%、「できるけどしていない」の割合が 11.4%、「できない」の割合が 11.0%となっています。

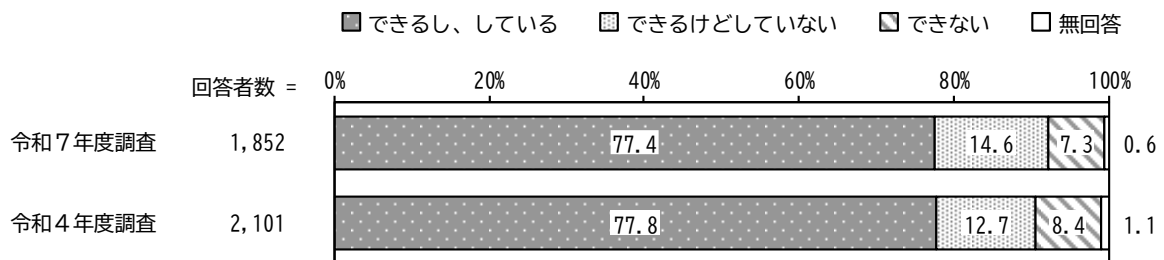
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## (3) 15分位続けて歩いていますか (ひとつだけ○を)

「できるし、している」の割合が 77.4%、「できるけどしていない」の割合が 14.6%、「できない」の割合が 7.3%となっています。

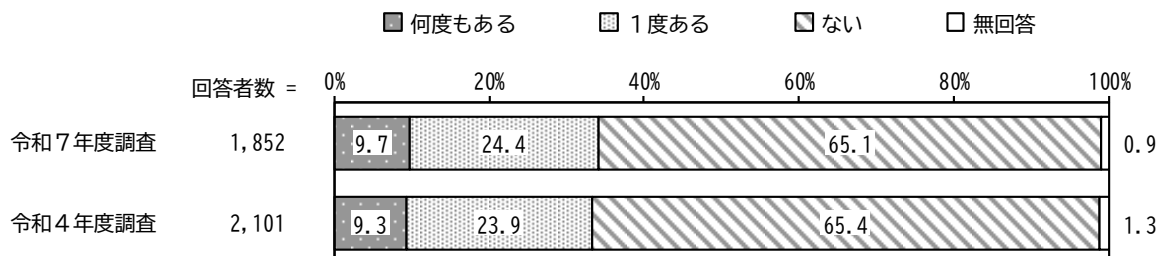
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (ひとつだけ○を)

「何度もある」の割合が 9.7%、「1度ある」の割合が 24.4%、「ない」の割合が 65.1%となっています。

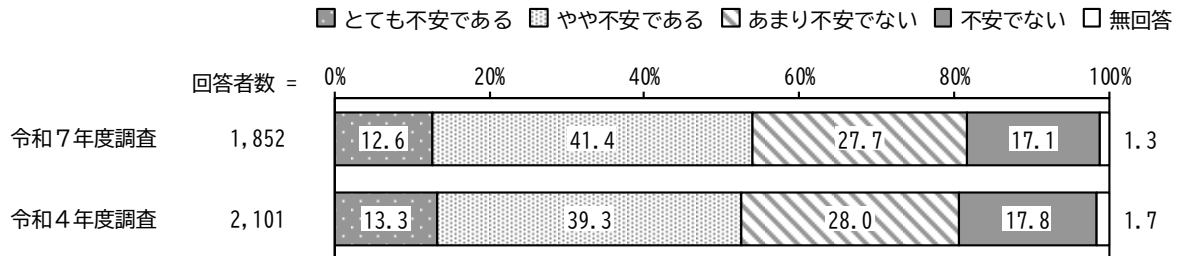
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### (5) 転倒に対する不安は大きいですか（ひとつだけ○を）

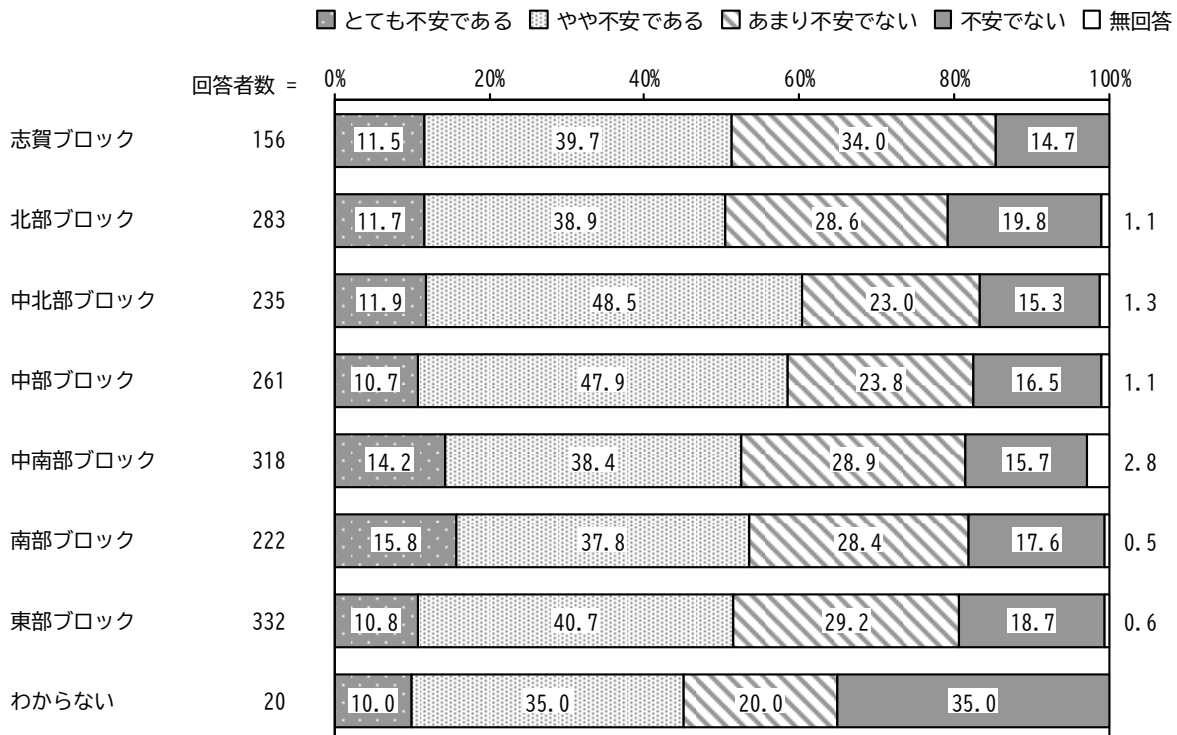
「やや不安である」の割合が41.4%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が27.7%、「不安でない」の割合が17.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



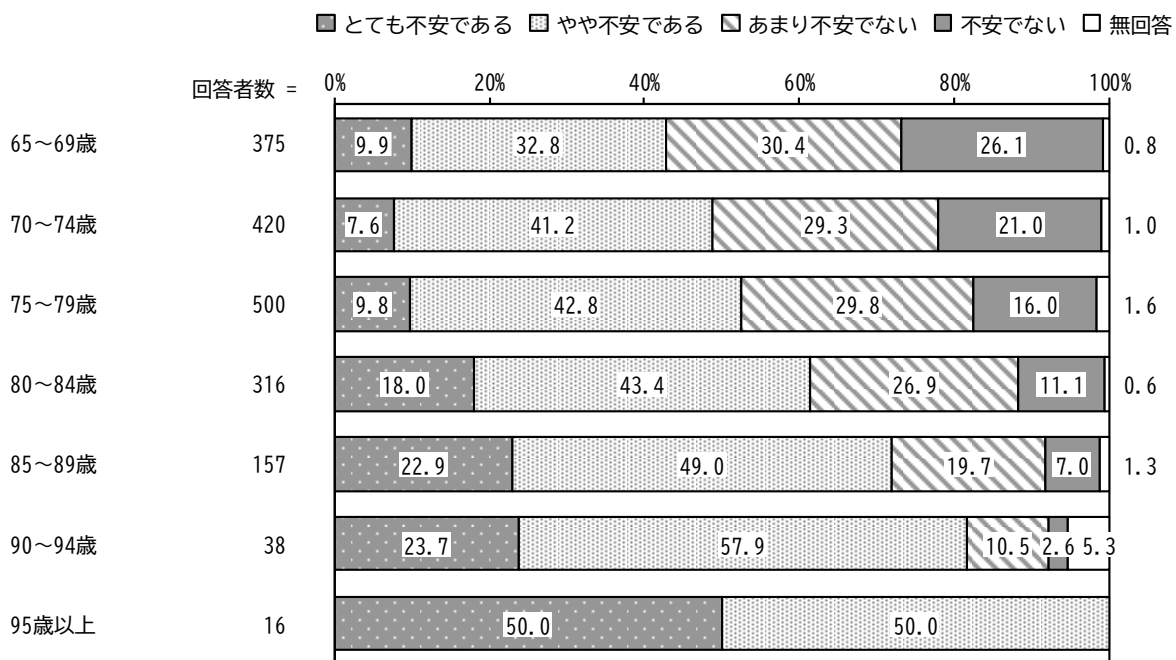
#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、中北部ブロック、中部ブロックで「やや不安である」、志賀ブロックで「あまり不安でない」の割合が高くなっています。



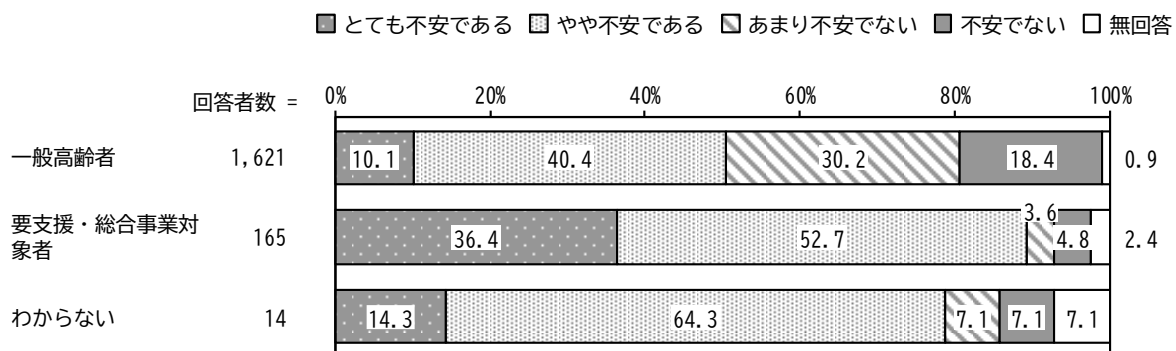
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「あまり不安でない」「不安でない」の割合が低い傾向にあり、70～74歳から95歳以上まで年齢が上がるほど「とても不安である」の割合が高くなっています。また、90～94歳で「やや不安である」の割合が高くなっています。



### 【要介護認定別】

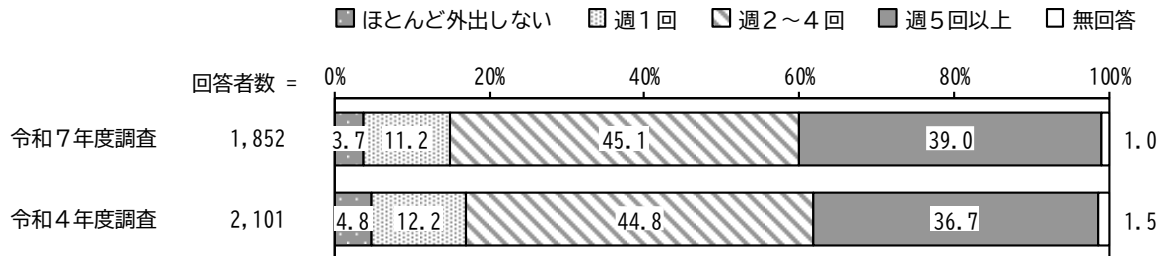
要介護認定別にみると、一般高齢者で「あまり不安でない」「不安でない」の割合が高くなっています。



## (6) 週に1回以上は外出していますか（ひとつだけ○を）

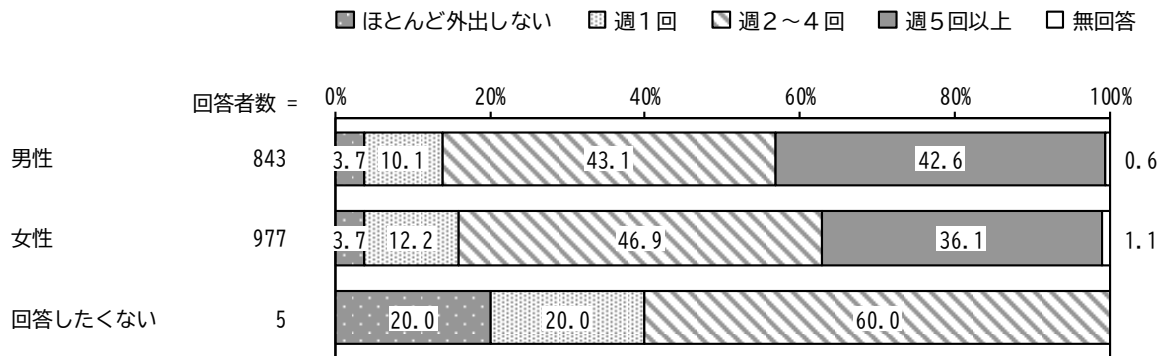
「週2～4回」の割合が45.1%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が39.0%、「週1回」の割合が11.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



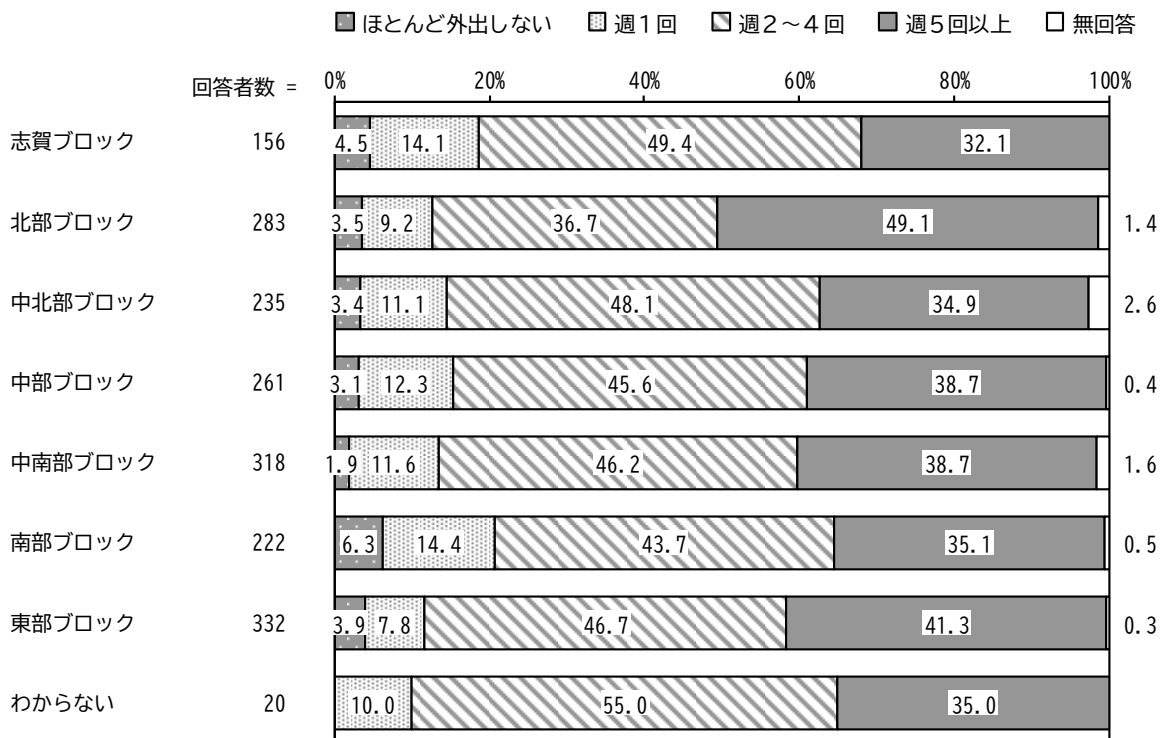
### 【性別】

性別にみると、男性で「週5回以上」の割合が高くなっています。



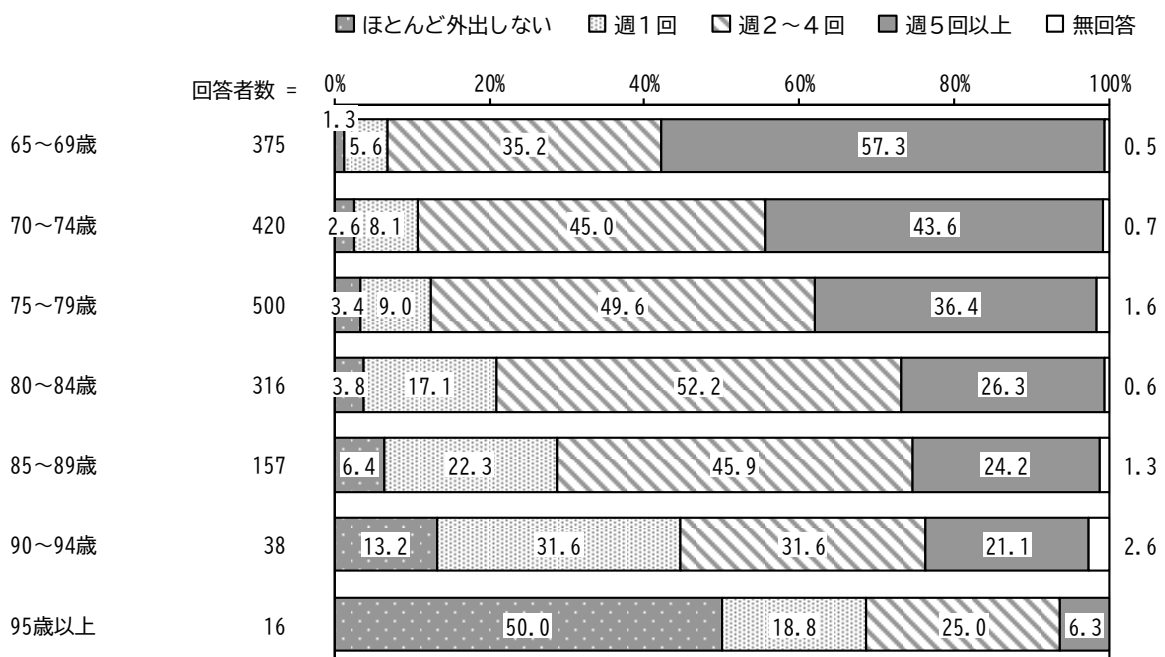
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、北部ブロックで「週5回以上」の割合が高くなっています。



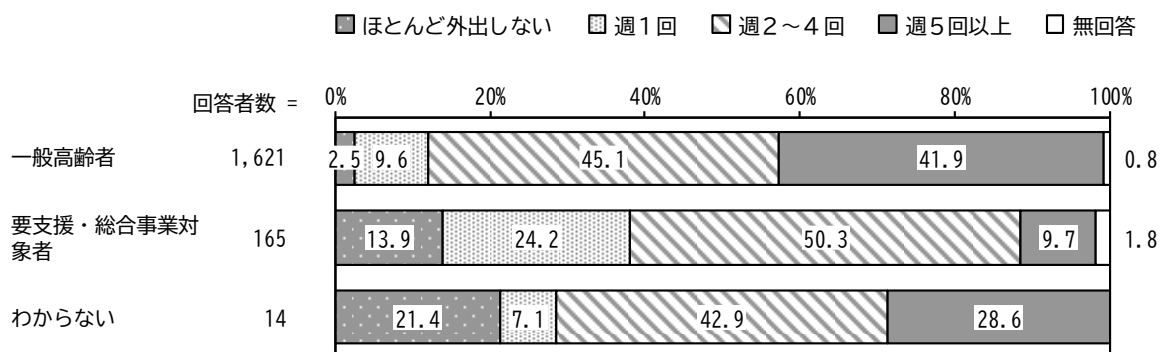
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ほとんど外出しない」の割合が高い傾向にあり、「週5回以上」の割合が低く、65~69歳から90~94歳まで年齢が上がるほど「週1回」の割合が高くなっています。



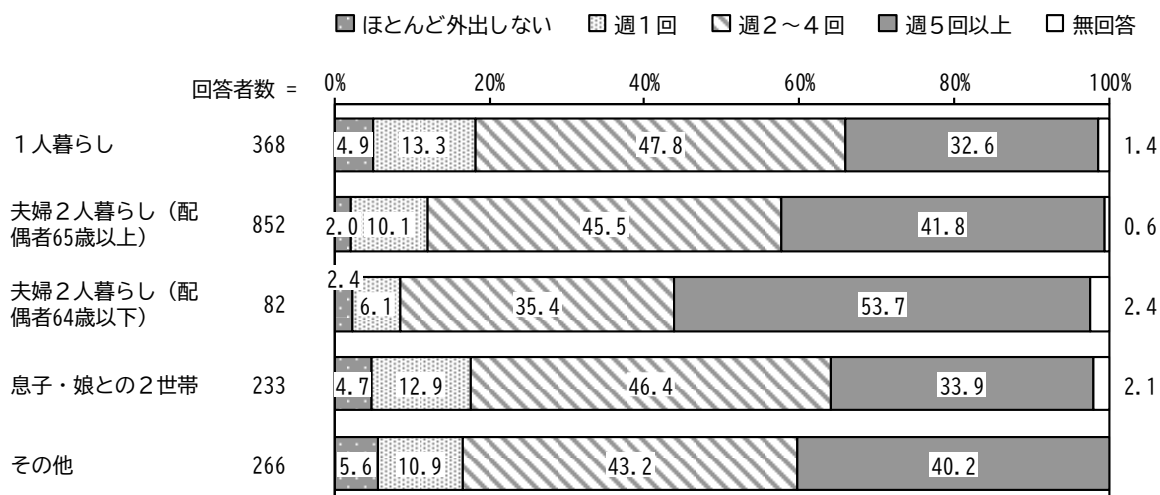
### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「週5回以上」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「ほとんど外出しない」「週1回」「週2～4回」の割合が高くなっています。



### 【家族構成別】

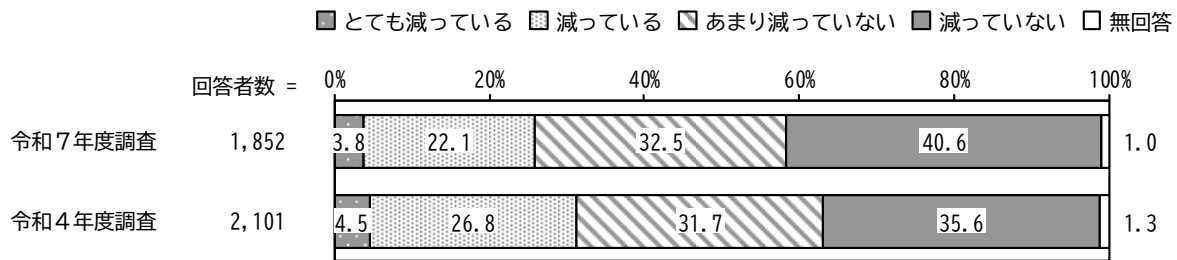
家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「週5回以上」の割合が高くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（ひとつだけ○を）

「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が25.9%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が73.1%となっています。

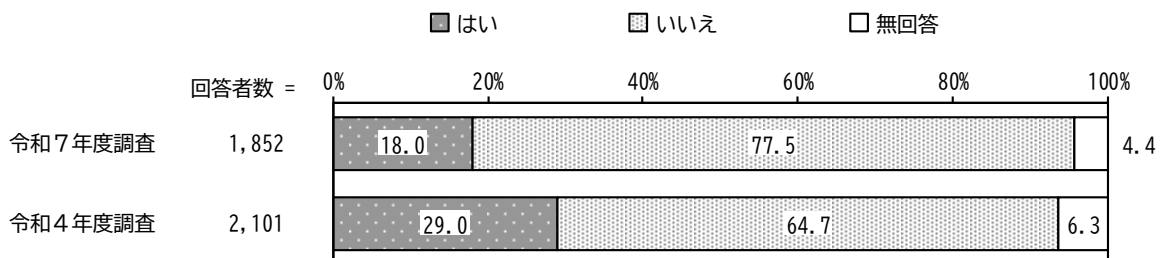
令和4年度調査と比較すると、“減っていない”の割合が増加しています。



(8) 外出を控えていますか（ひとつだけ○を）

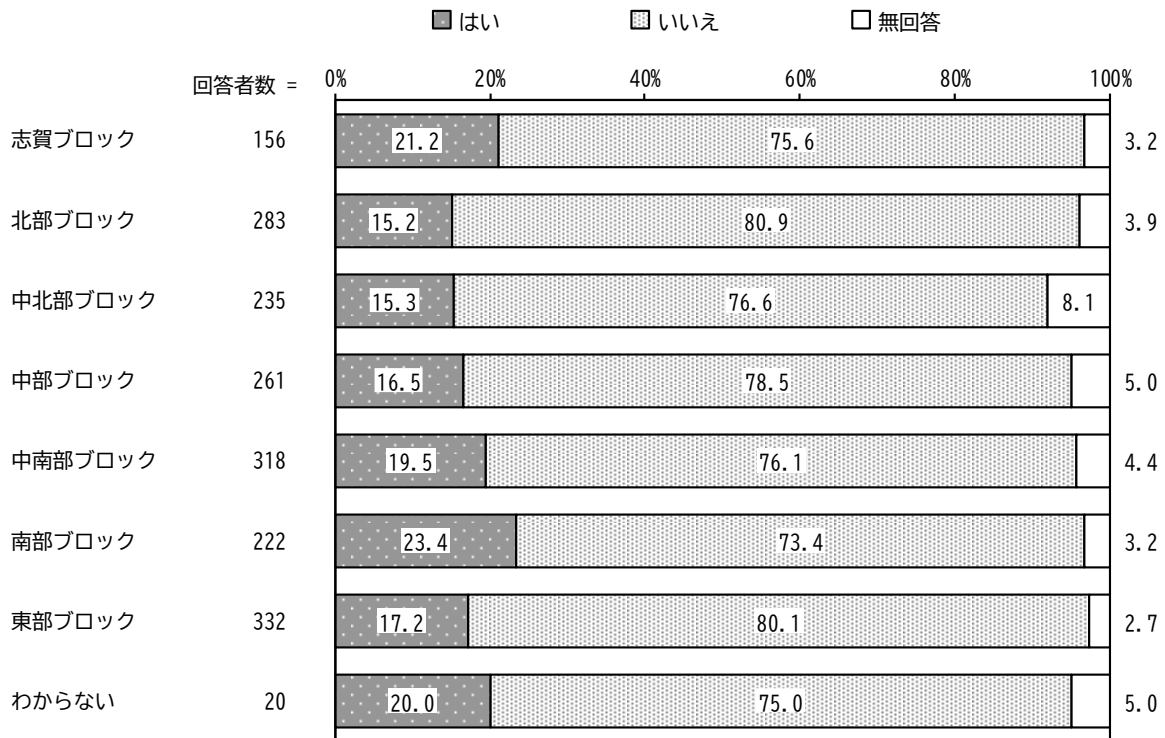
「はい」の割合が18.0%、「いいえ」の割合が77.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。



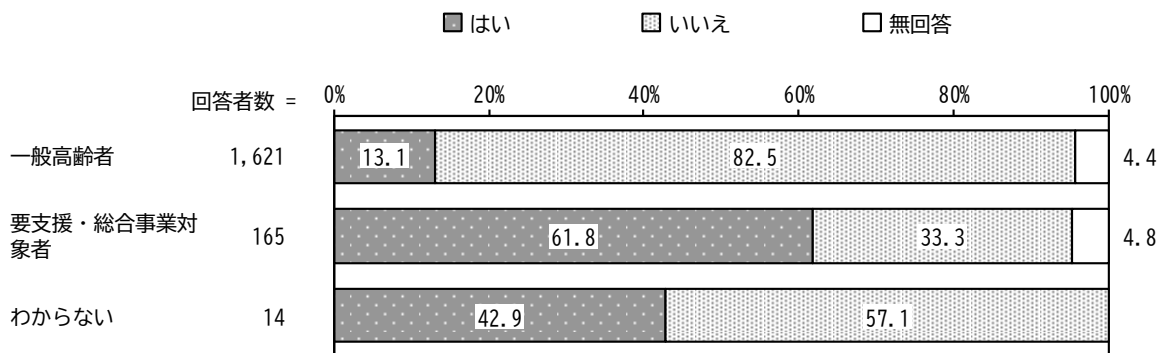
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、南部ブロックで「はい」の割合が高くなっています。



【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

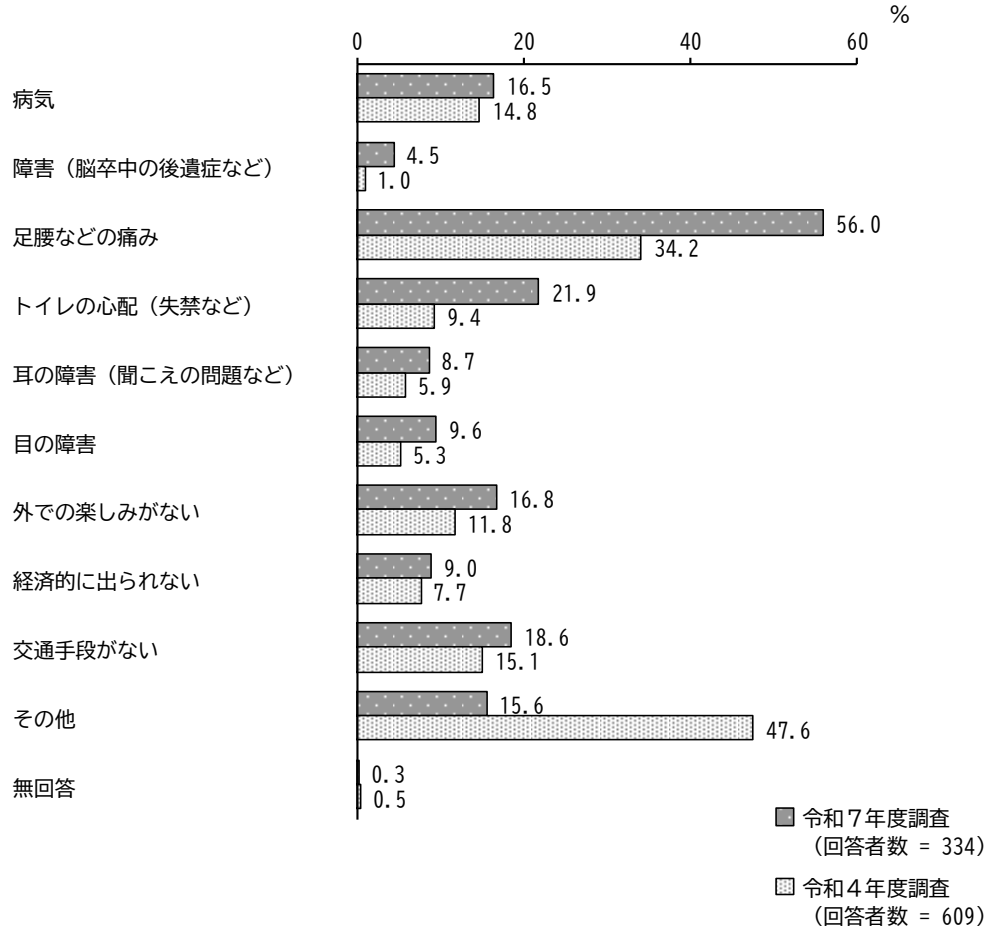


【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

「足腰などの痛み」の割合が56.0%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」の割合が21.9%、「交通手段がない」の割合が18.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」の割合が増加しています。



【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、すべてのブロックで「足腰などの痛み」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体	334	16.5	4.5	56.0	21.9	8.7	9.6	16.8	9.0	18.6	15.6	0.3
志賀ブロック	33	18.2	3.0	48.5	21.2	6.1	12.1	18.2	9.1	18.2	21.2	0.0
北部ブロック	43	7.0	7.0	62.8	27.9	4.7	11.6	18.6	16.3	11.6	2.3	0.0
中北部ブロック	36	13.9	0.0	50.0	22.2	8.3	5.6	11.1	11.1	19.4	22.2	2.8
中部ブロック	43	20.9	4.7	58.1	18.6	11.6	9.3	14.0	4.7	20.9	23.3	0.0
中南部ブロック	62	16.1	8.1	59.7	24.2	9.7	14.5	21.0	6.5	17.7	19.4	0.0
南部ブロック	52	13.5	3.8	48.1	21.2	9.6	9.6	26.9	15.4	13.5	13.5	0.0
東部ブロック	57	21.1	3.5	59.6	17.5	8.8	3.5	7.0	3.5	26.3	10.5	0.0
わからない	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

【要介護認定別】

要介護認定別にみると、わからない以外の区分で「足腰などの痛み」の割合が高くなっています。

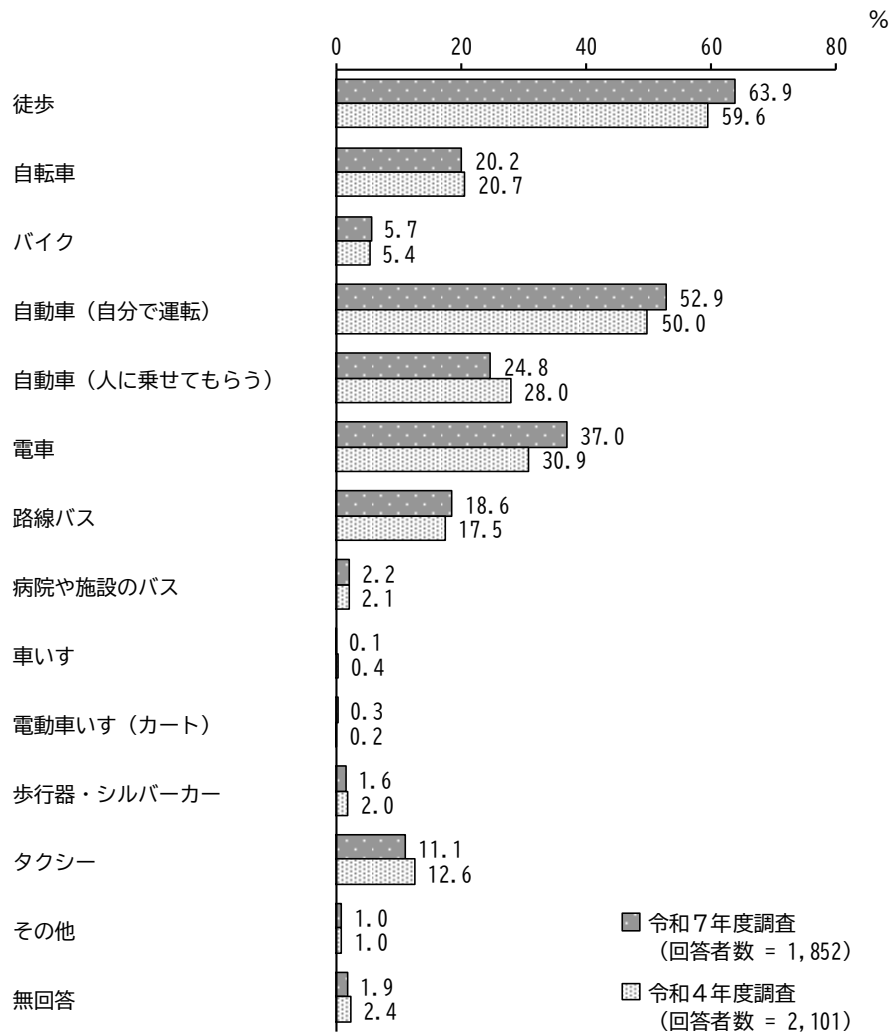
単位：％

区分	回答者数(件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体	334	16.5	4.5	56.0	21.9	8.7	9.6	16.8	9.0	18.6	15.6	0.3
一般高齢者	213	15.0	3.3	50.2	19.2	5.6	6.1	18.8	9.9	13.6	17.8	0.0
要支援・総合事業対象者	102	15.7	5.9	64.7	26.5	13.7	14.7	13.7	6.9	29.4	13.7	1.0
わからない	6	66.7	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0

### (9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「徒歩」の割合が63.9%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が52.9%、「電車」の割合が37.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「電車」の割合が増加しています。



【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、「自動車（自分で運転）」「徒歩」の順で高いのは志賀ブロック、北部ブロック、南部ブロックとなっています。「徒歩」「自動車（自分で運転）」の順で高いのは中北部ブロック、東部ブロックとなっています。「徒歩」「電車」の順で高いのは中部ブロック、中南部ブロックで、「タクシー」と回答した割合が比較的高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	ト) 電動車いす(カー)	歩行器・シルバーカ	タクシー	その他	無回答
全体	1,852	63.9	20.2	5.7	52.9	24.8	37.0	18.6	2.2	0.1	0.3	1.6	11.1	1.0	1.9
志賀ブロック	156	54.5	16.7	3.8	62.2	25.0	36.5	6.4	3.2	0.0	0.0	2.6	5.8	1.9	1.9
北部ブロック	283	61.1	19.4	4.9	65.4	22.3	33.9	18.0	4.2	0.0	0.4	1.8	8.8	1.1	2.1
中北部ブロック	235	60.4	17.0	4.7	51.5	26.8	45.5	14.0	3.0	0.0	1.3	0.9	8.9	1.7	2.6
中部ブロック	261	70.9	23.8	5.7	38.3	25.7	45.2	15.3	2.7	0.4	0.0	1.5	20.3	1.5	1.9
中南部ブロック	318	72.0	22.3	7.9	41.8	24.5	43.1	15.4	0.6	0.0	0.0	2.5	14.8	0.9	2.2
南部ブロック	222	51.8	12.2	5.0	61.7	21.2	23.4	35.6	1.8	0.0	0.5	1.4	8.1	0.9	1.4
東部ブロック	332	68.1	25.6	5.7	58.1	28.3	29.2	22.9	0.9	0.3	0.3	0.9	7.5	0.0	1.5
わからない	20	75.0	10.0	5.0	40.0	20.0	40.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0

【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「徒歩」「自動車（自分で運転）」、要支援・総合事業対象者で「徒歩」「自動車（人に乗せてもらう）」の順で割合が高くなっています。

単位：％

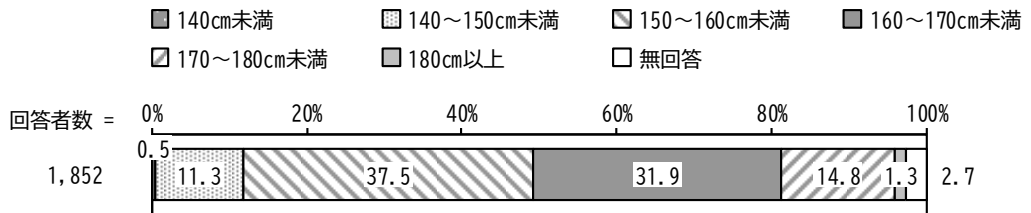
区分	回答者数(件)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	ト) 電動車いす(カー)	歩行器・シルバーカ	タクシー	その他	無回答
全体	1,852	63.9	20.2	5.7	52.9	24.8	37.0	18.6	2.2	0.1	0.3	1.6	11.1	1.0	1.9
一般高齢者	1,621	65.8	20.7	6.3	57.1	23.1	39.0	18.8	1.0	0.1	0.0	0.3	8.8	0.7	1.7
要支援・総合事業対象者	165	52.1	13.3	1.8	17.6	41.2	23.0	19.4	13.3	0.6	3.0	13.9	32.1	4.8	3.6
わからない	14	64.3	14.3	0.0	14.3	35.7	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0

## 4. 食べることについて

### (1) 身長・体重をご記入ください

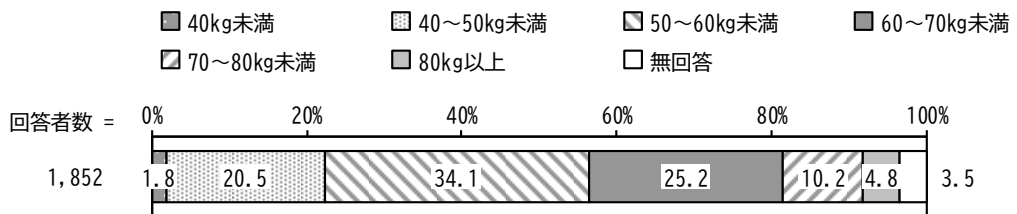
#### 身長

「150～160cm 未満」の割合が37.5%と最も高く、次いで「160～170cm 未満」の割合が31.9%、「170～180cm 未満」の割合が14.8%となっています。



#### 体重

「50～60kg 未満」の割合が34.1%と最も高く、次いで「60～70kg 未満」の割合が25.2%、「40～50kg 未満」の割合が20.5%となっています。

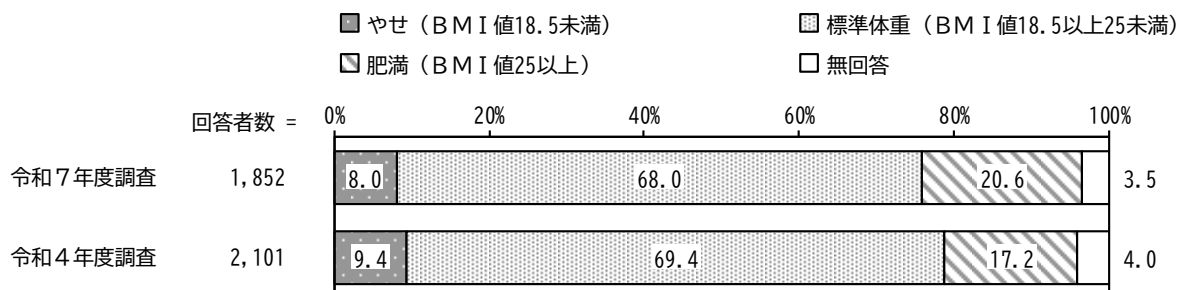


#### BMI

「やせ (BMI値18.5未満)」の割合が8.0%、「標準体重 (BMI値18.5以上25未満)」の割合が68.0%、「肥満 (BMI値25以上)」の割合が20.6%となっています。

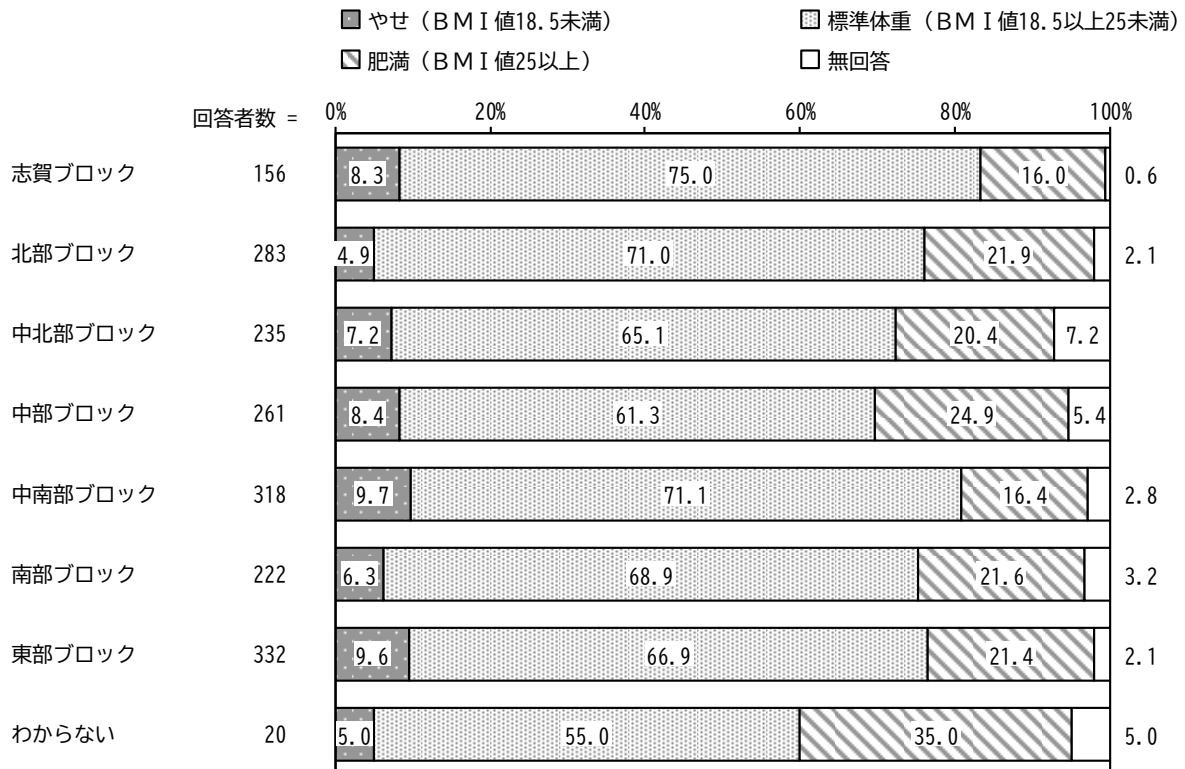
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

※BMIとは、身長と体重から肥満度を示す指数のことで、「体重 (kg) ÷ 身長 (m) の2乗」で計算されます。



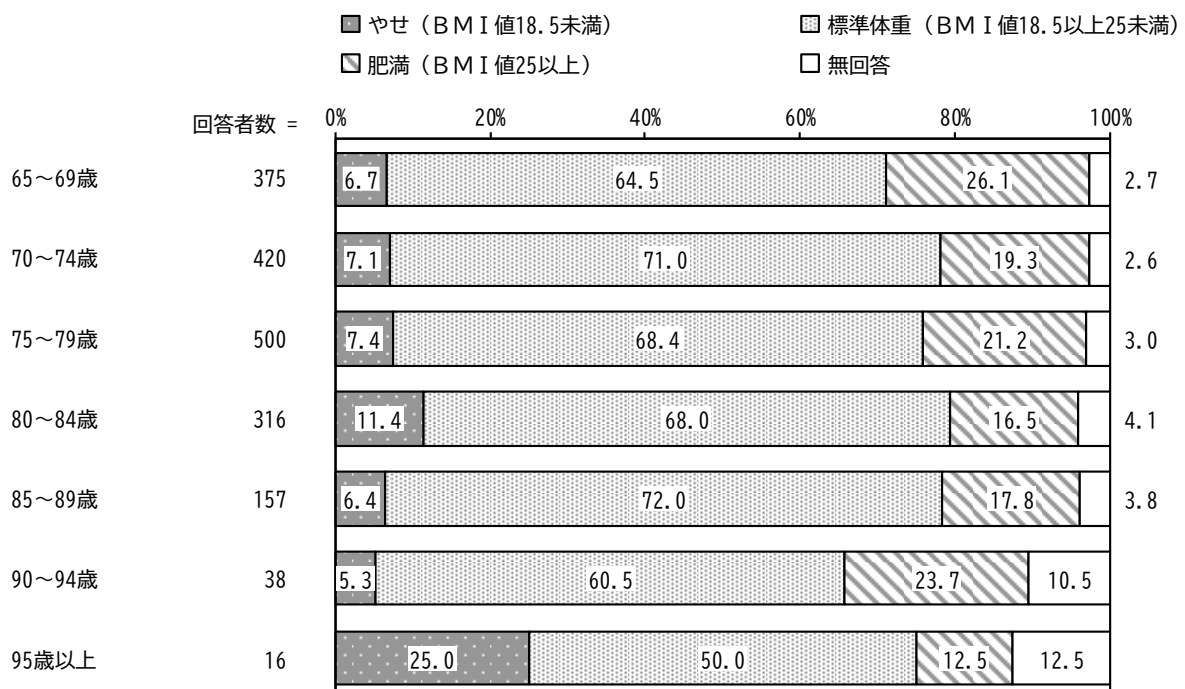
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、志賀ブロックで「標準体重（BMI値18.5以上25未満）」の割合が高くなっています。



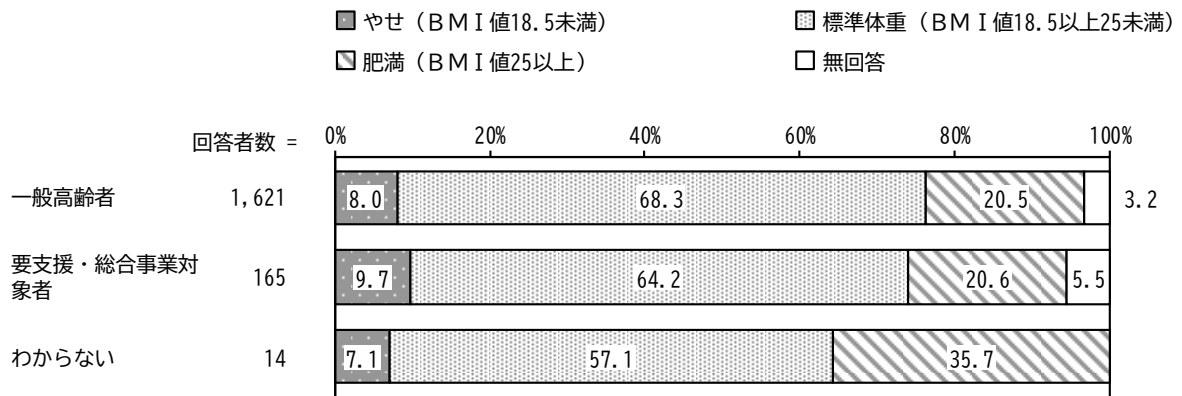
### 【年齢別】

年齢別にみると、95歳以上で「痩せ（BMI値18.5未満）」の割合が高く、「標準体重（BMI値18.5以上25未満）」の割合が低くなっています。



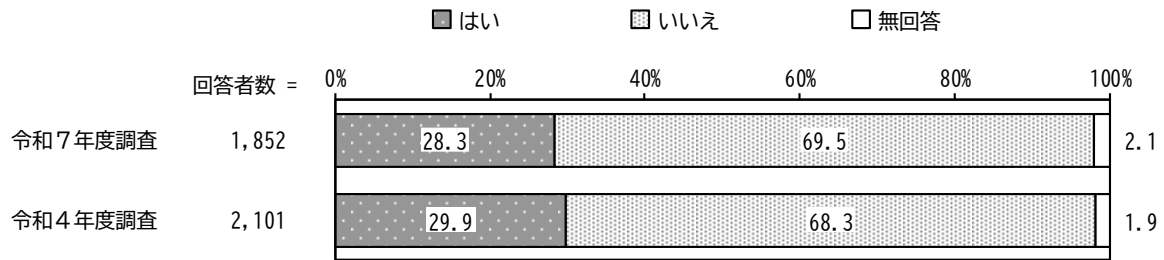
【要介護認定別】

要介護認定別にみると、大きな差はみられません。



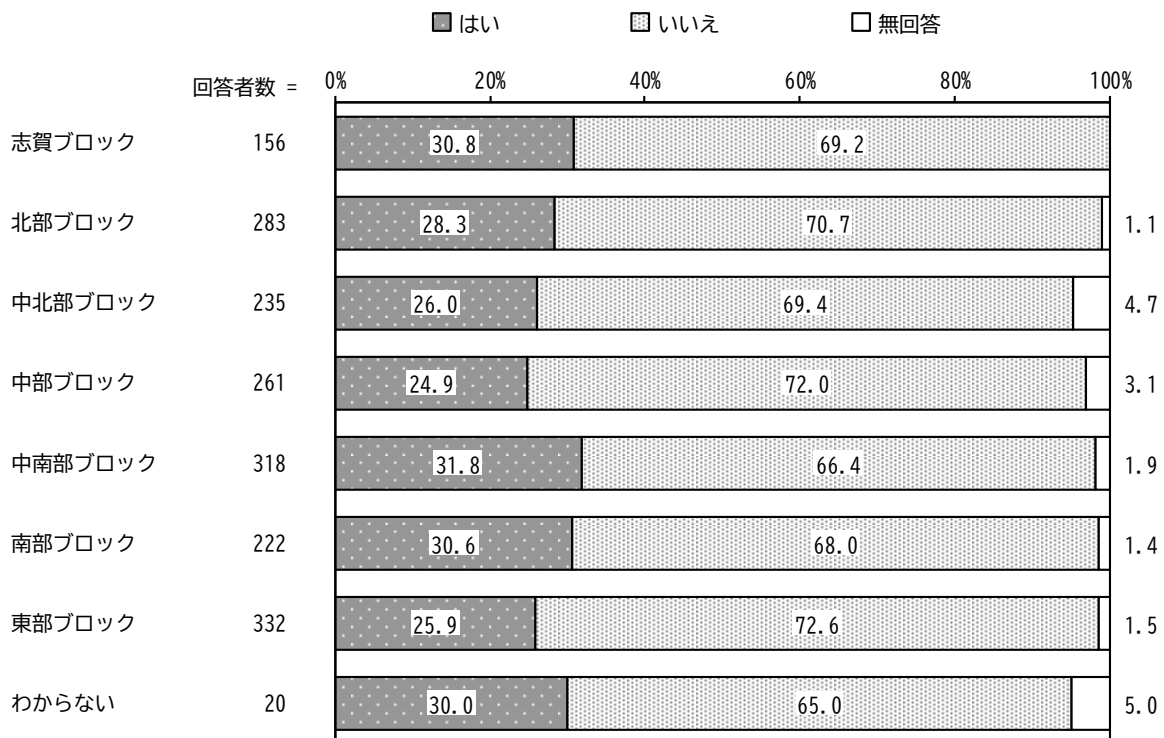
## (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (ひとつだけ○を)

「はい」の割合が28.3%、「いいえ」の割合が69.5%となっています。  
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



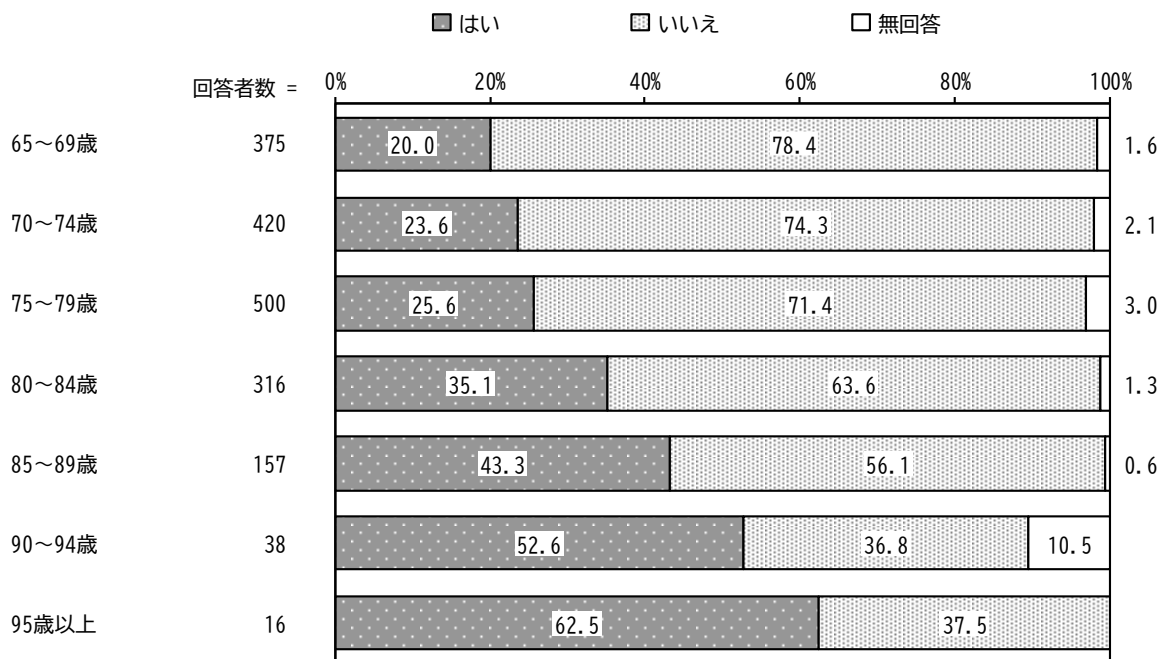
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



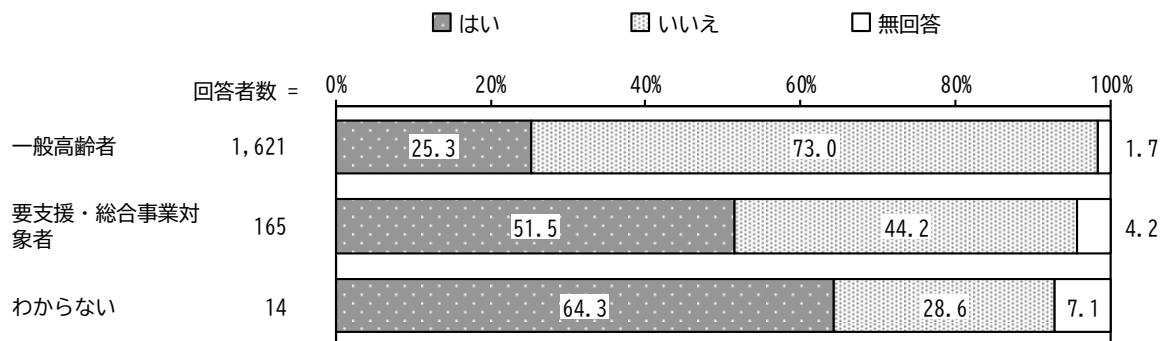
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【要介護認定別】

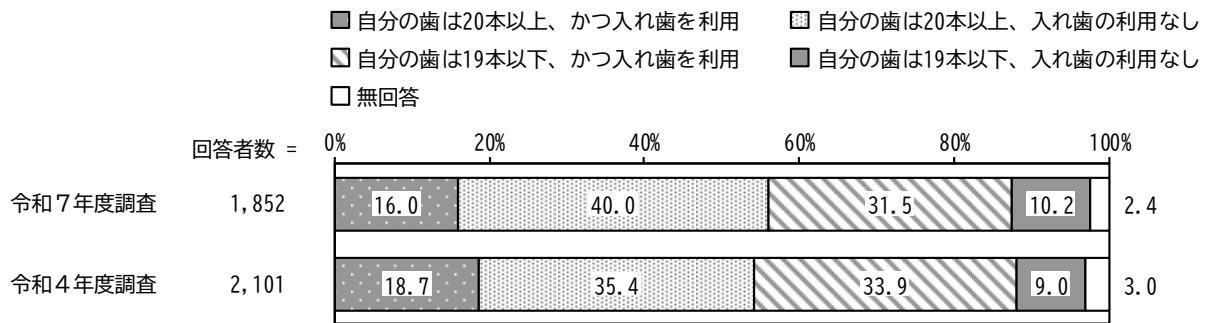
要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（ひとつだけ○を）  
 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 31.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 16.0%となっています。

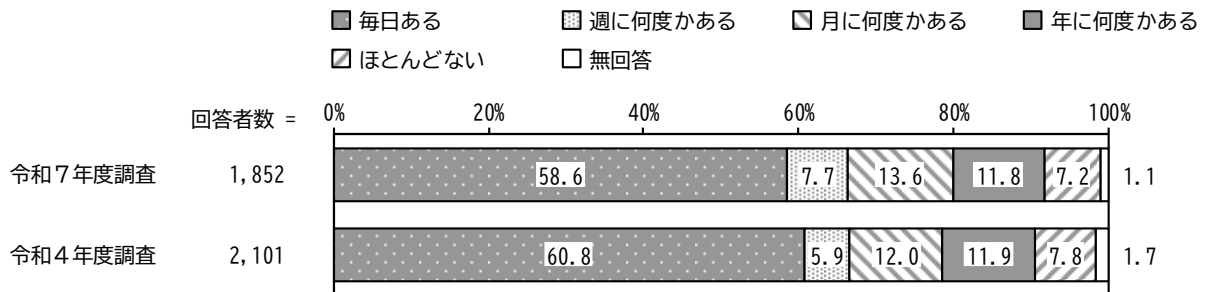
令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### (4) どなたかと食事をとる機会がありますか (ひとつだけ○を)

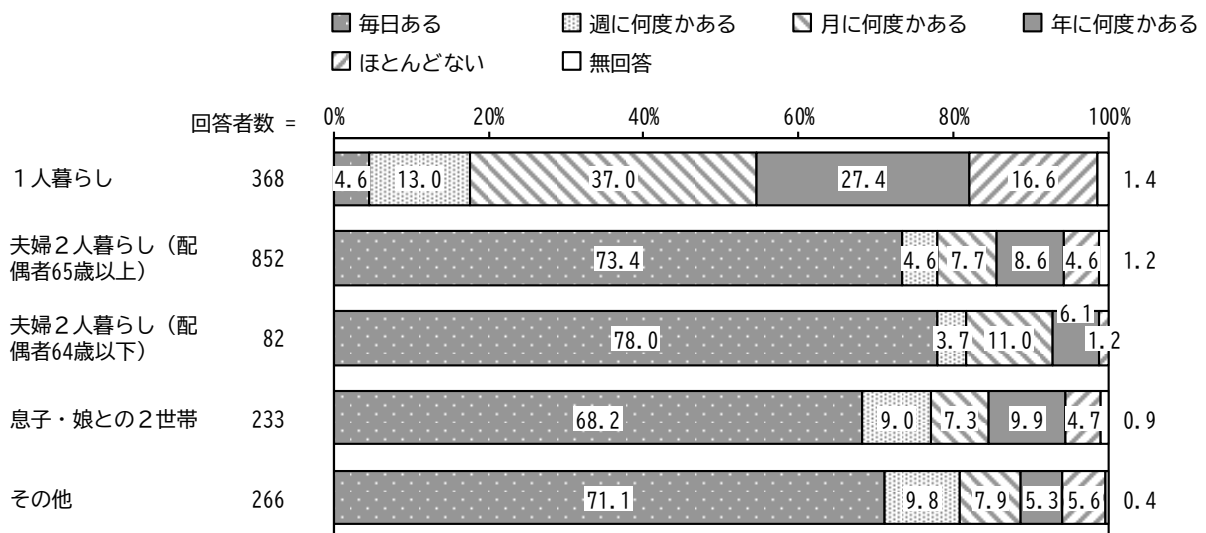
「毎日ある」の割合が58.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が13.6%、「年に何度かある」の割合が11.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【家族構成別】

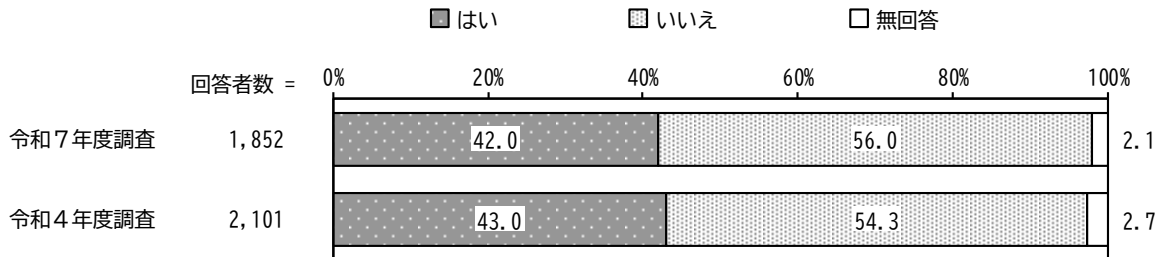
家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「毎日ある」、1人暮らしで「月に何度かある」「年に何度かある」の割合が高くなっています。



## 5. 毎日の生活について

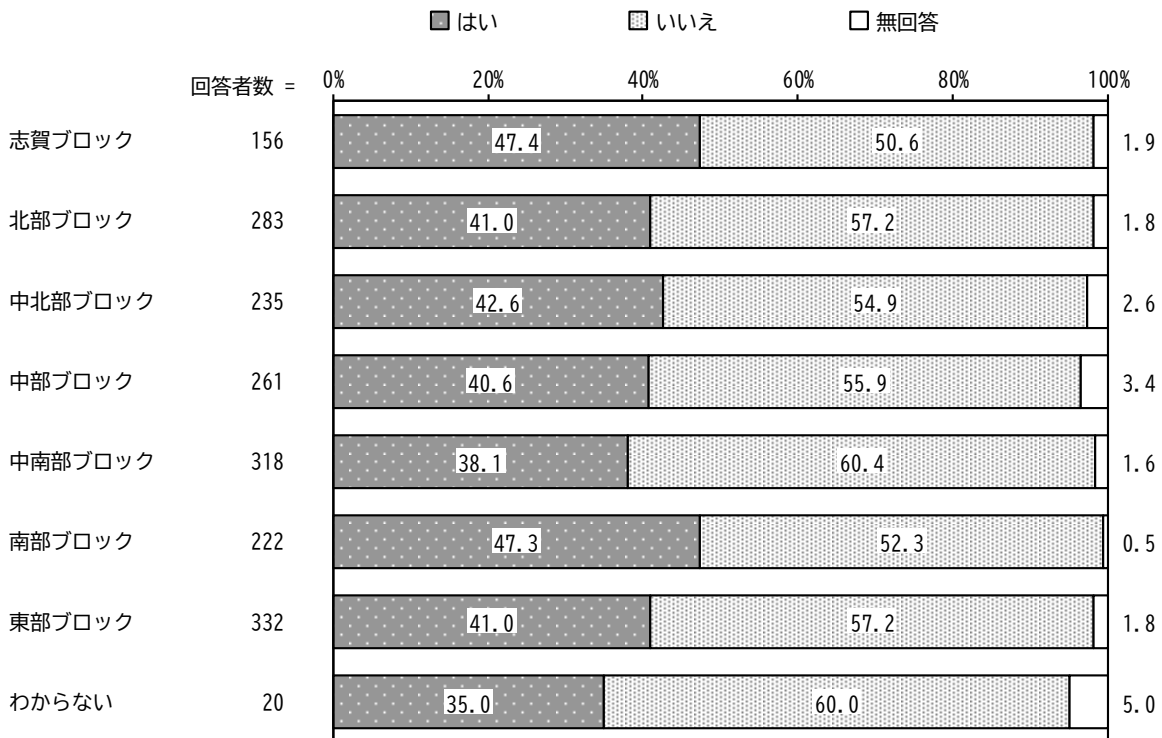
### (1) 物忘れが多いと感じますか（ひとつだけ○を）

「はい」の割合が42.0%、「いいえ」の割合が56.0%となっています。  
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



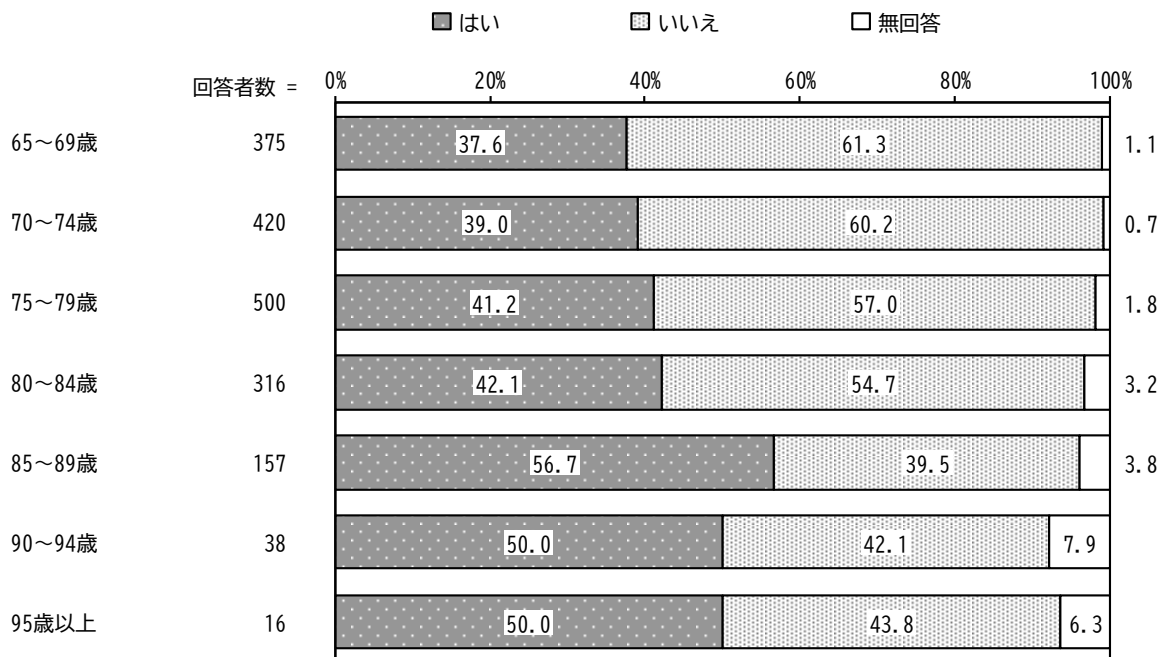
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、志賀ブロック、南部ブロックで「はい」の割合が高くなっています。



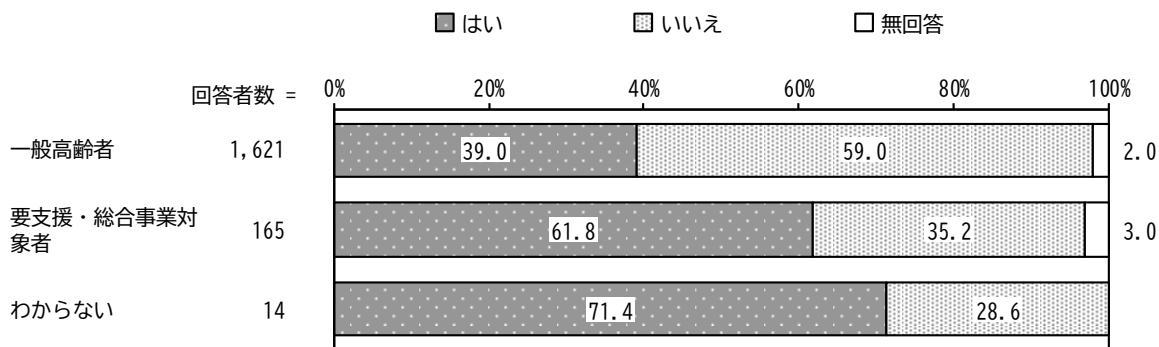
【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳から85～89歳まで年齢が上がるほど「はい」の割合が高い傾向にあります。



【要介護認定別】

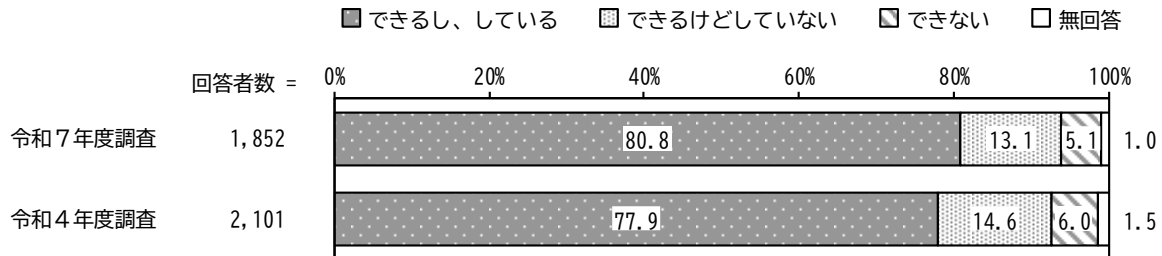
要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



(2) バスや電車で1人で外出していますか(自家用車でも可)(ひとつだけ〇を)

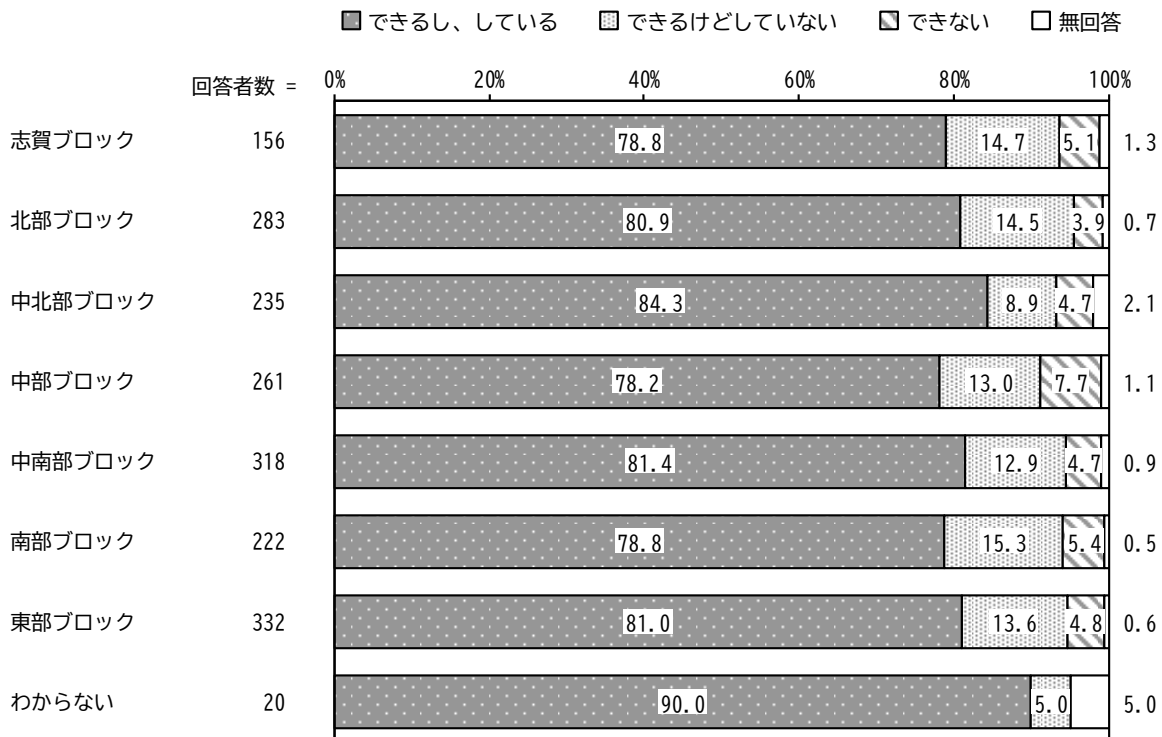
「できるし、している」の割合が 80.8%、「できるけどしていない」の割合が 13.1%、「できない」の割合が 5.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



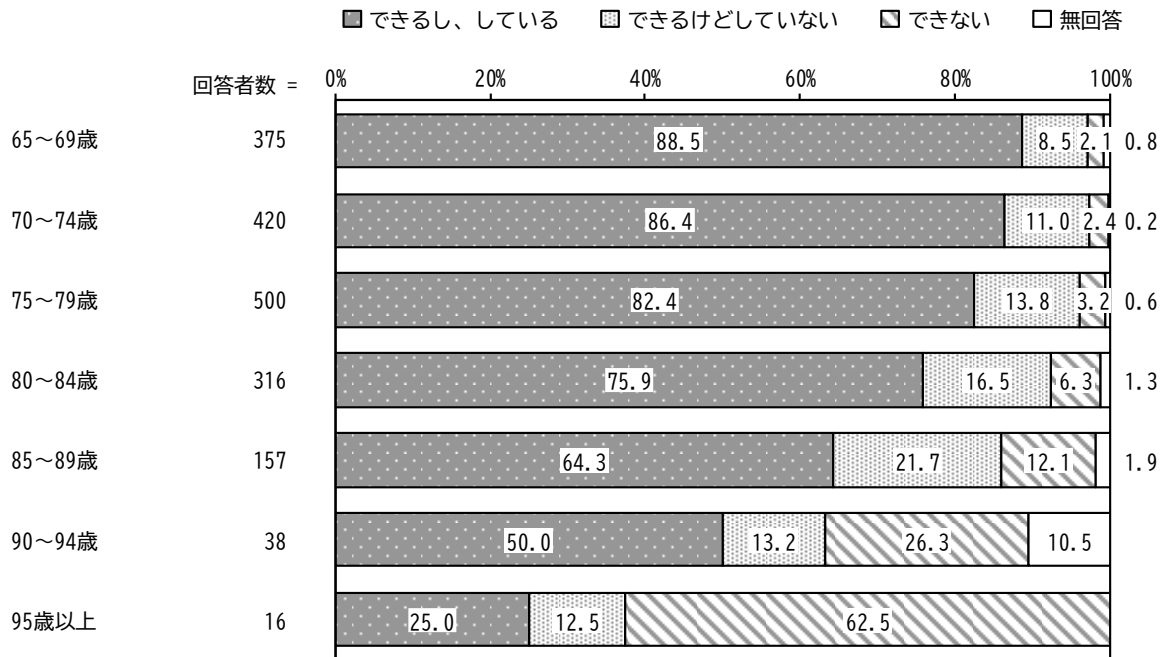
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



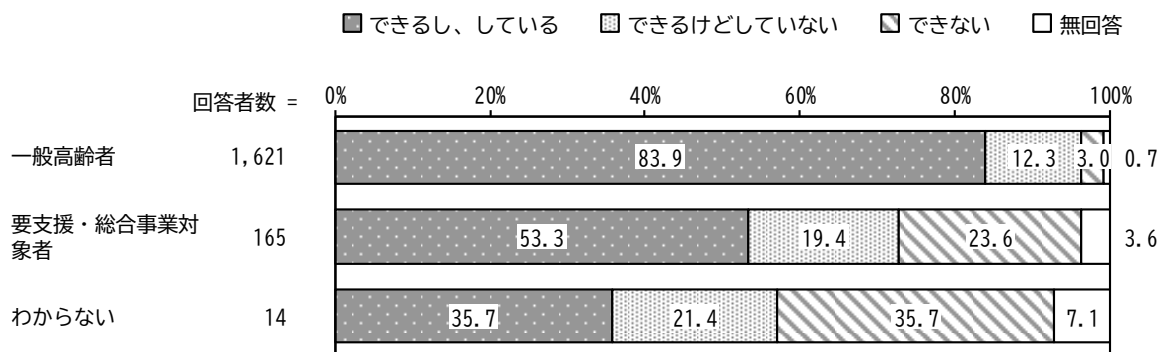
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



### 【要介護認定別】

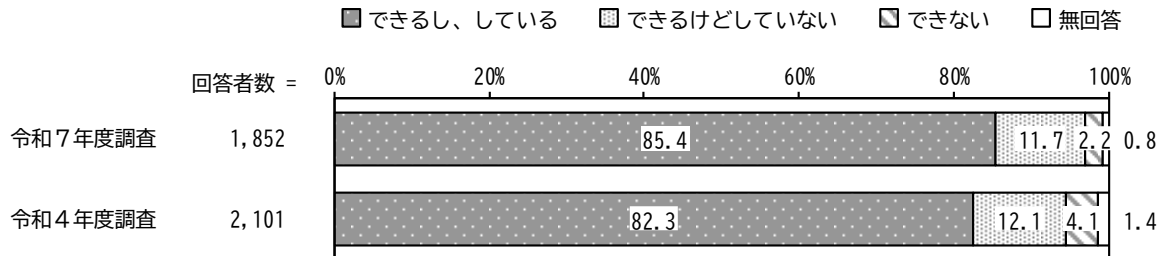
要介護認定別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



### (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（ひとつだけ○を）

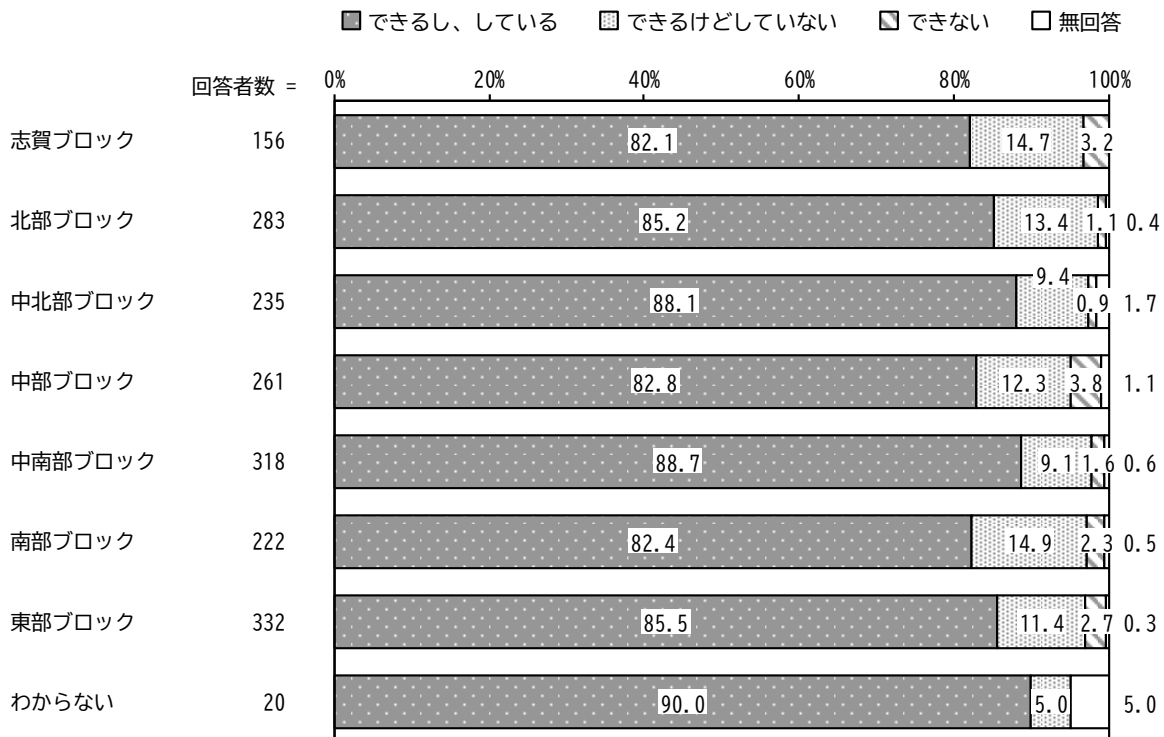
「できるし、している」の割合が 85.4%、「できるけどしていない」の割合が 11.7%、「できない」の割合が 2.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



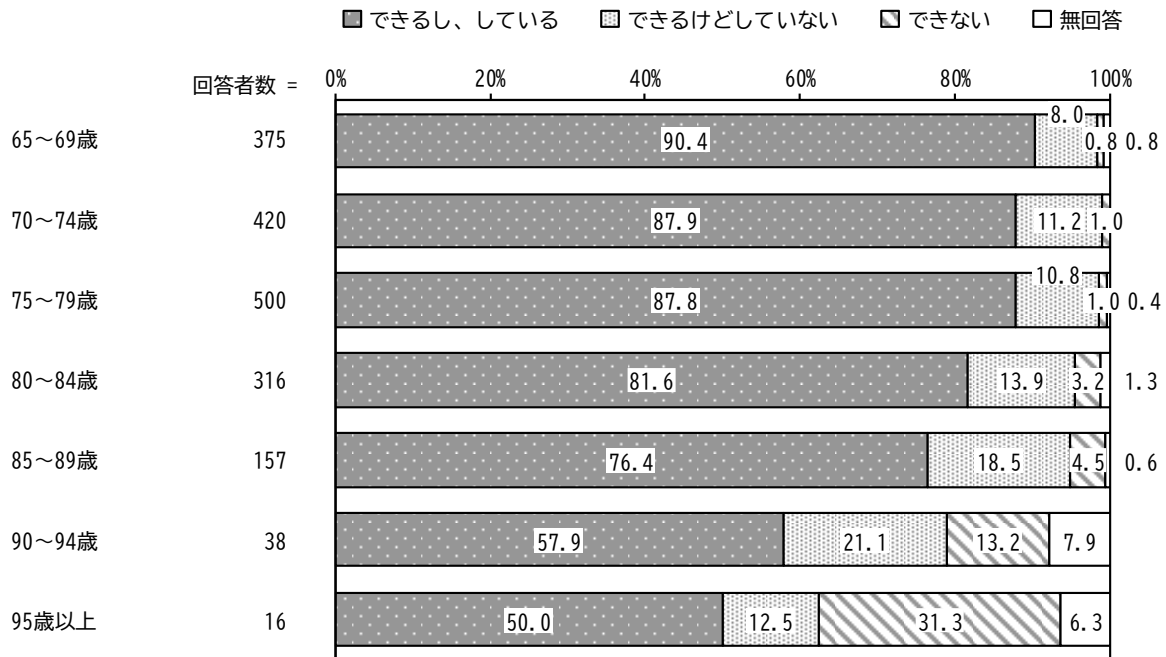
#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



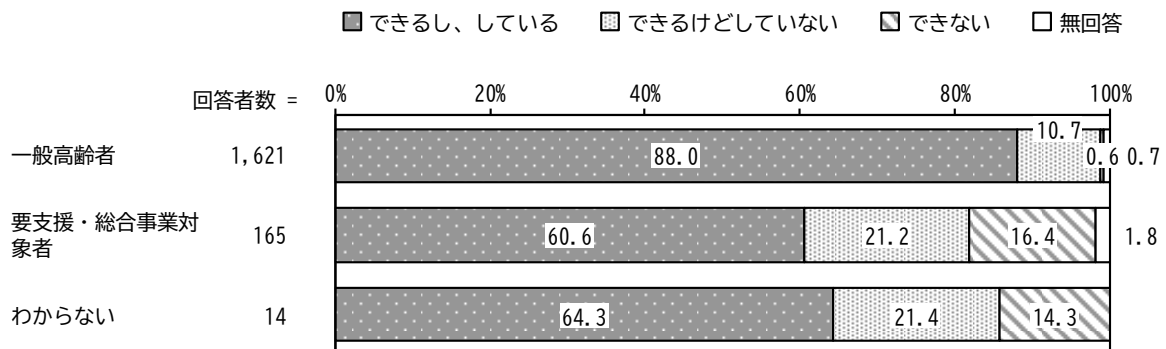
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高い傾向にあり、「できるし、している」の割合が低くなっています。



### 【要介護認定別】

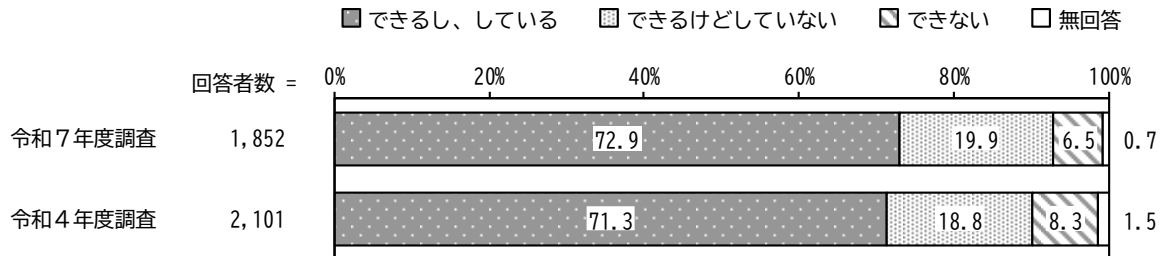
要介護認定別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



#### (4) 自分で食事の用意をしていますか（ひとつだけ○を）

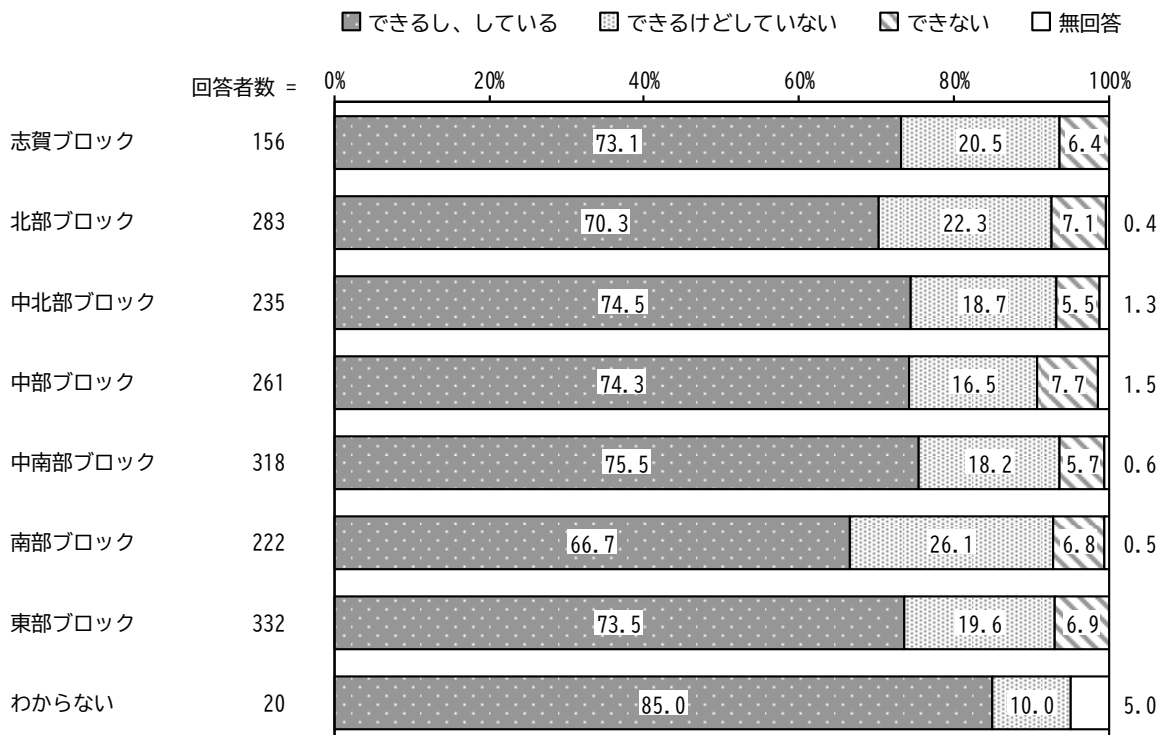
「できるし、している」の割合が 72.9%、「できるけどしていない」の割合が 19.9%、「できない」の割合が 6.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



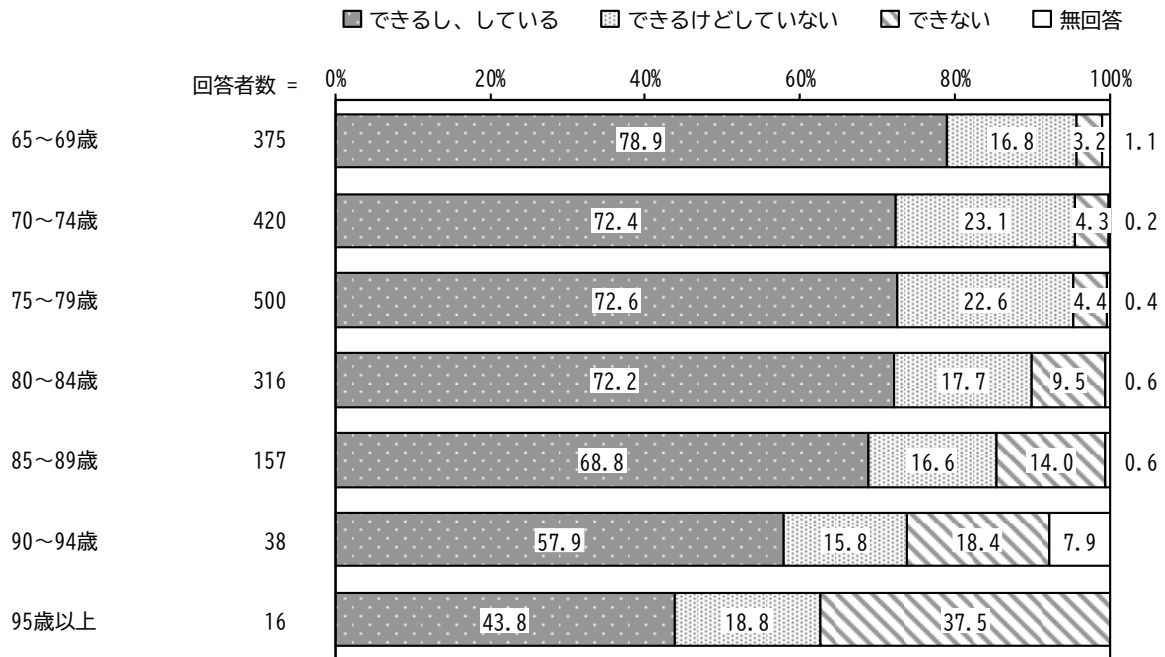
#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、南部ブロックで「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



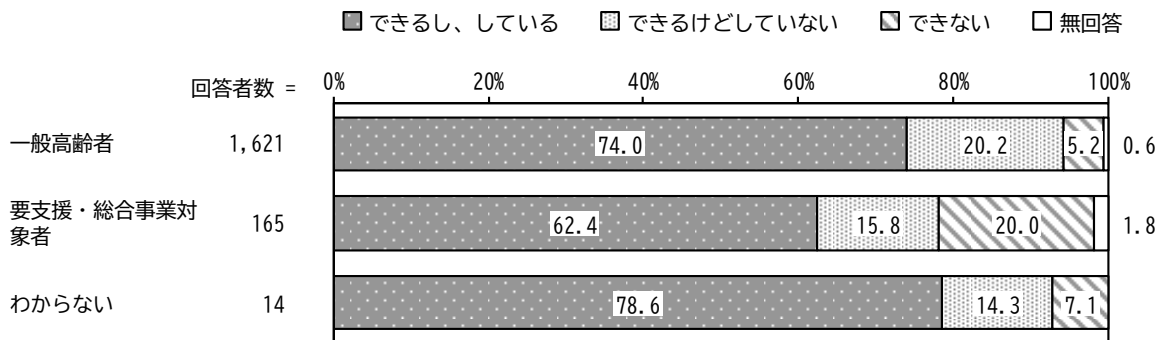
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低い傾向にあります。



### 【要介護認定別】

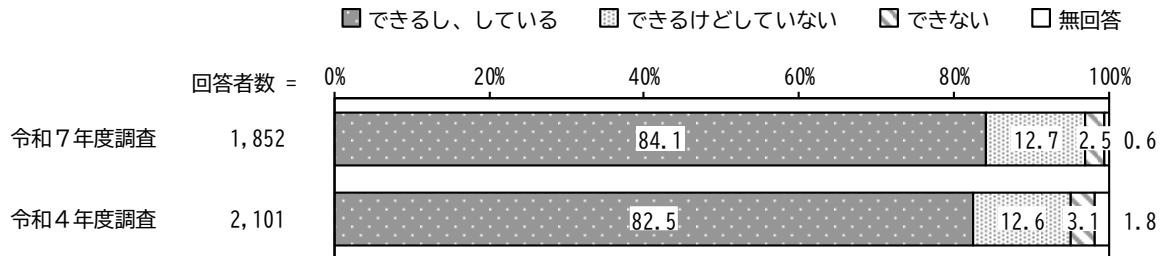
要介護認定別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



### (5) 自分で請求書の支払いをしていますか（ひとつだけ○を）

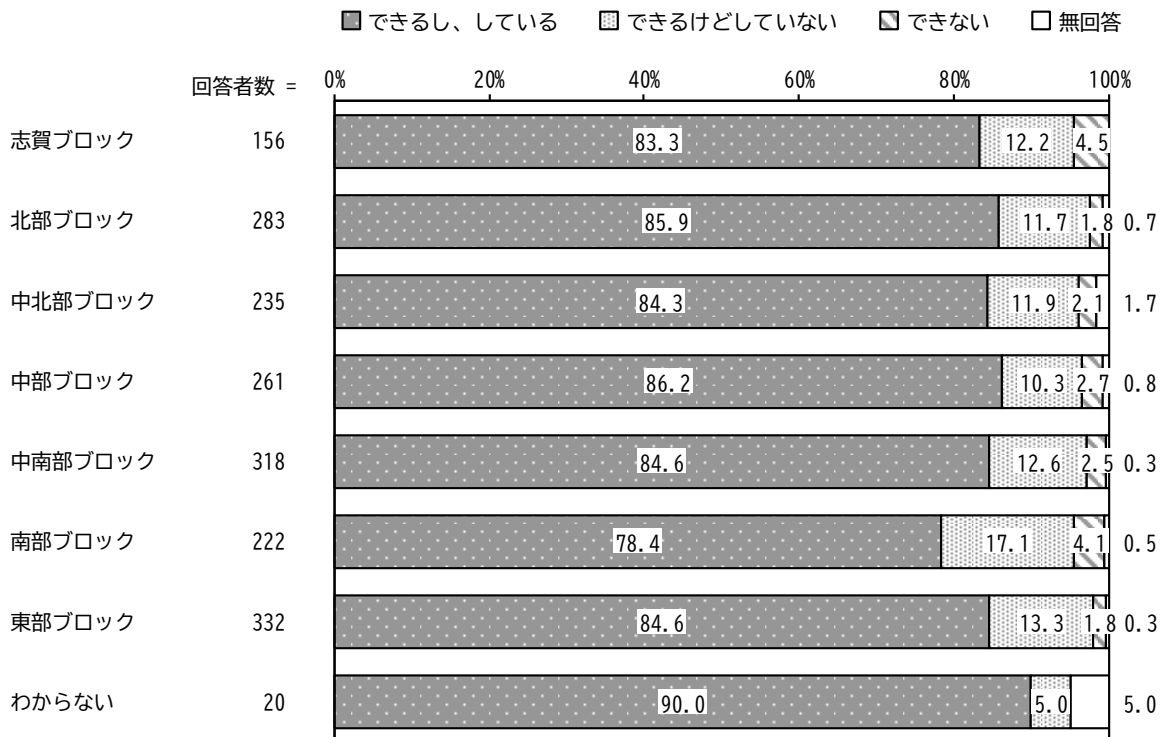
「できるし、している」の割合が 84.1%、「できるけどしていない」の割合が 12.7%、「できない」の割合が 2.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



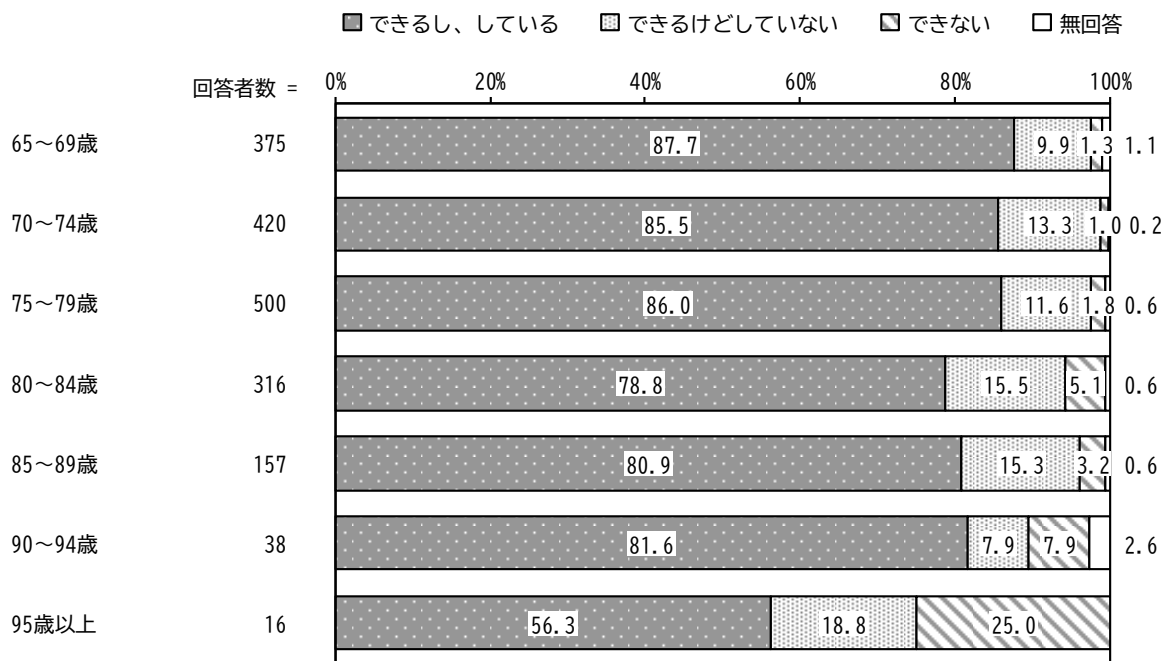
#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、南部ブロックで「できるし、している」の割合が低くなっています。



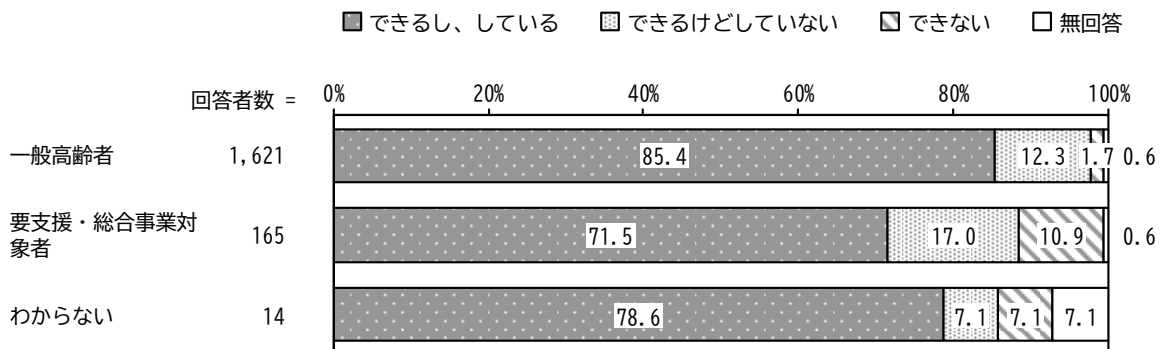
【年齢別】

年齢別にみると、95歳以上で「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



【要介護認定別】

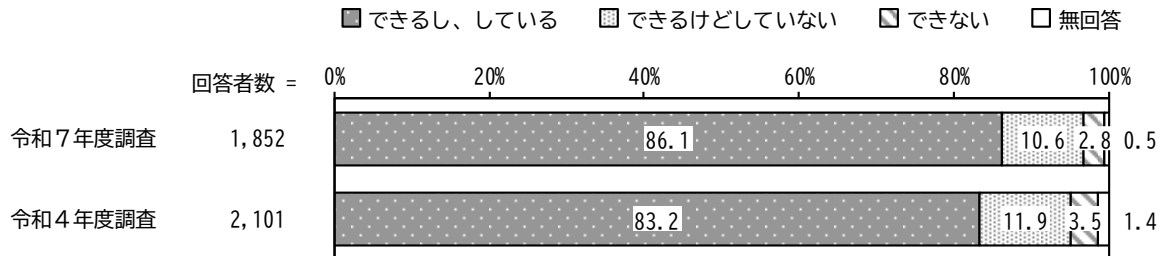
要介護認定別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



## (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (ひとつだけ○を)

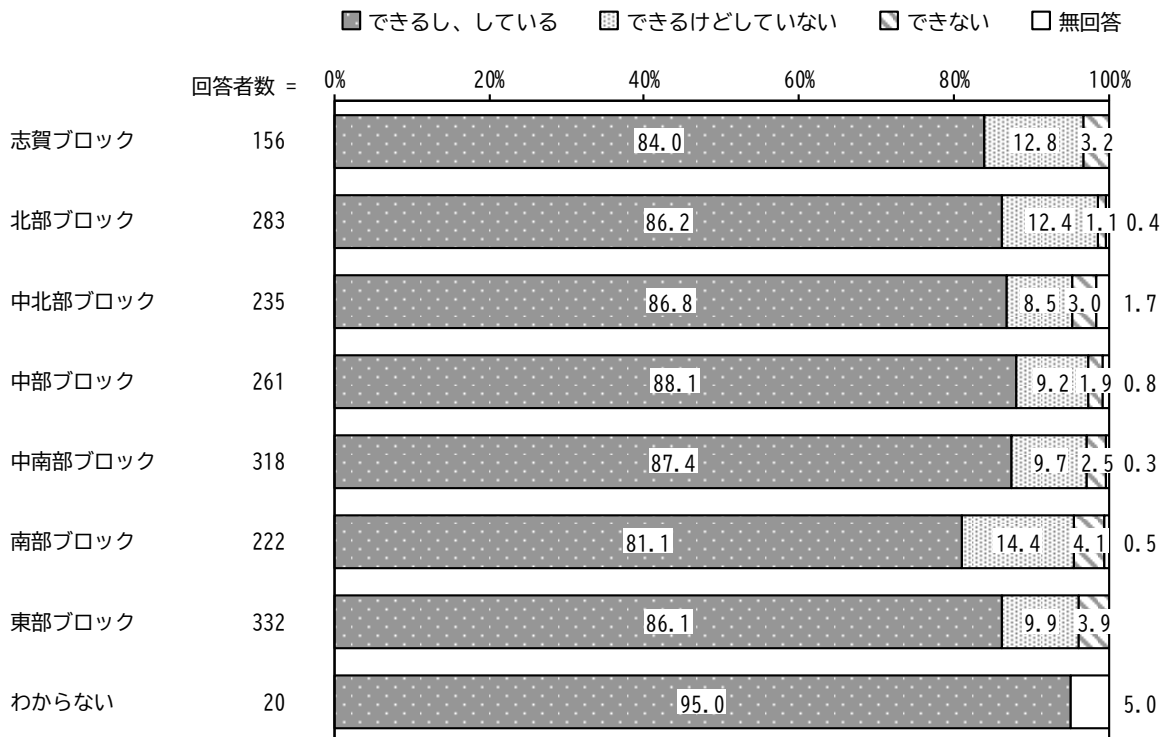
「できるし、している」の割合が 86.1%、「できるけどしていない」の割合が 10.6%、「できない」の割合が 2.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



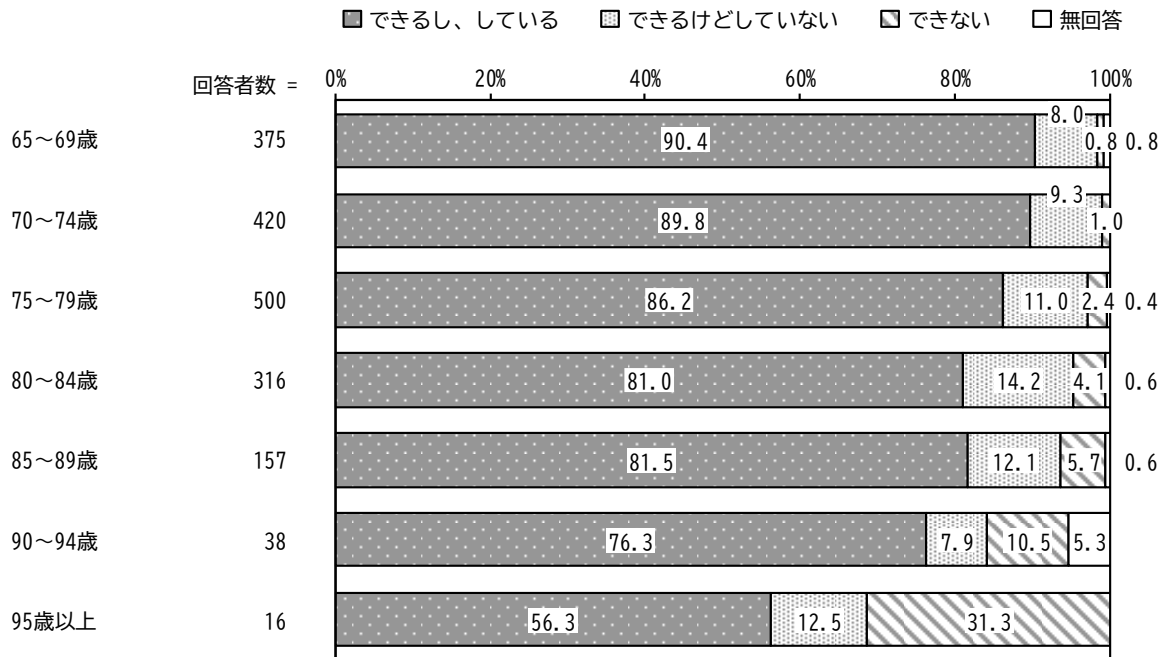
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、南部ブロックで「できるし、している」の割合が低くなっています。



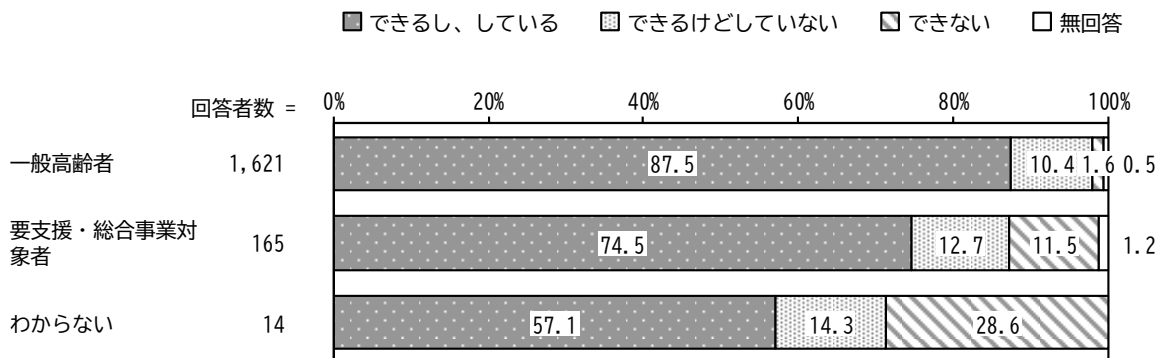
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低い傾向にあります。



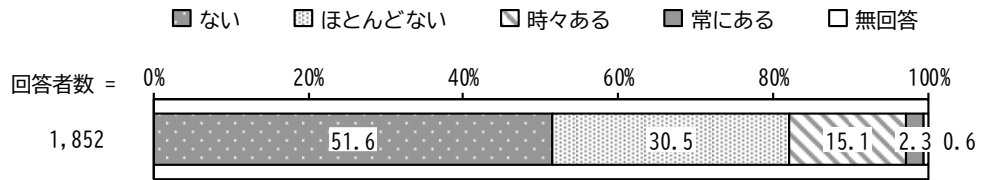
### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



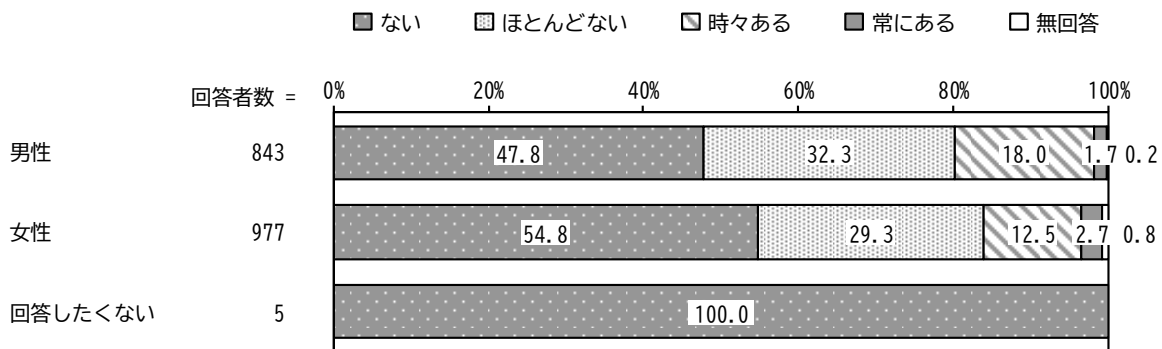
(7) あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか。(ひとつだけ○を)

「ない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が30.5%、「時々ある」の割合が15.1%となっています。



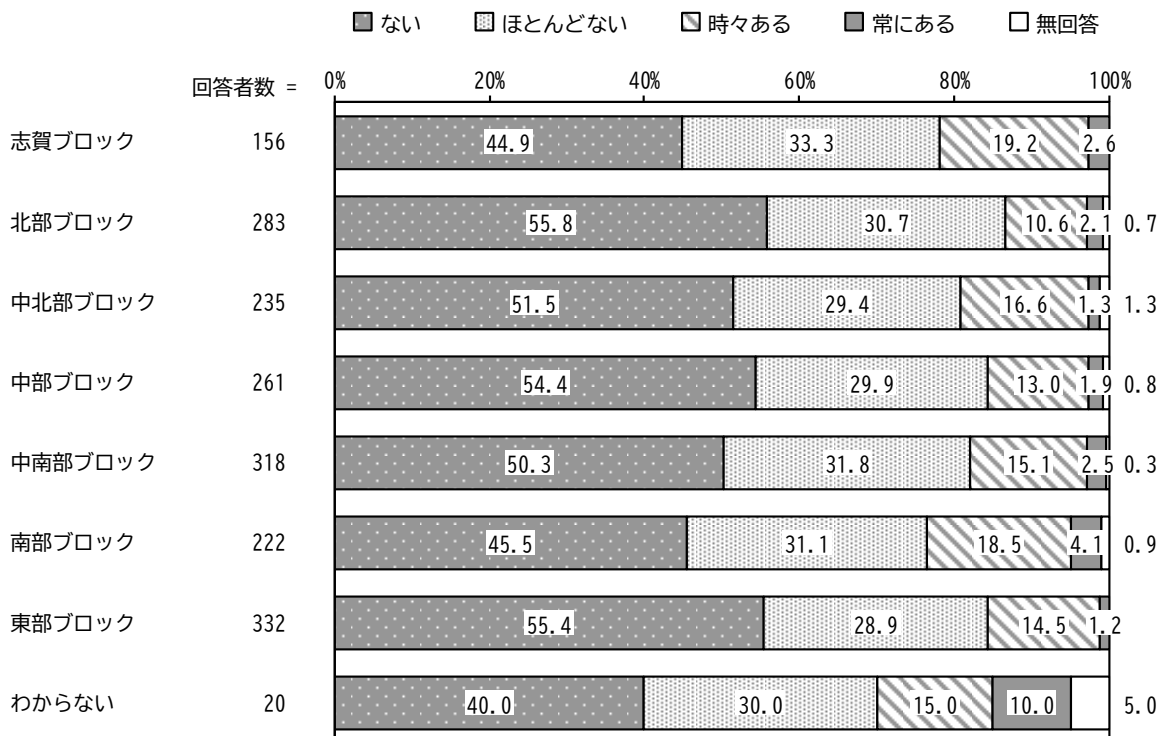
【性別】

性別にみると、男性で「時々ある」の割合が高く、女性で「ない」の割合が高くなっています。



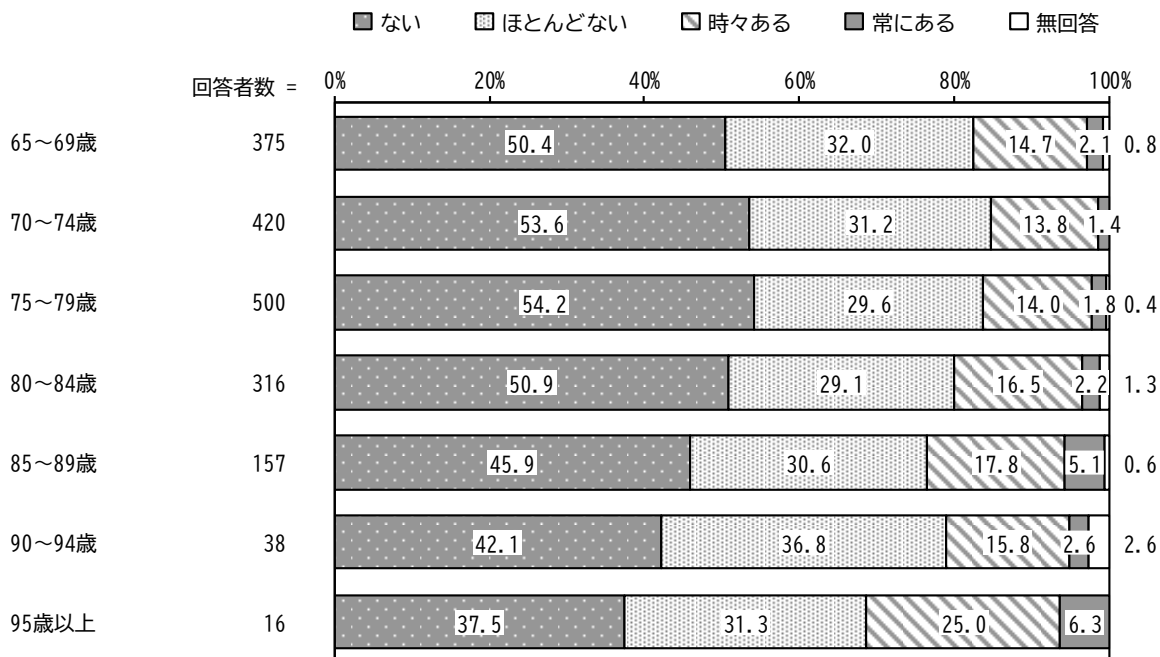
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、志賀ブロック、南部ブロックで「ない」の割合が低くなっています。



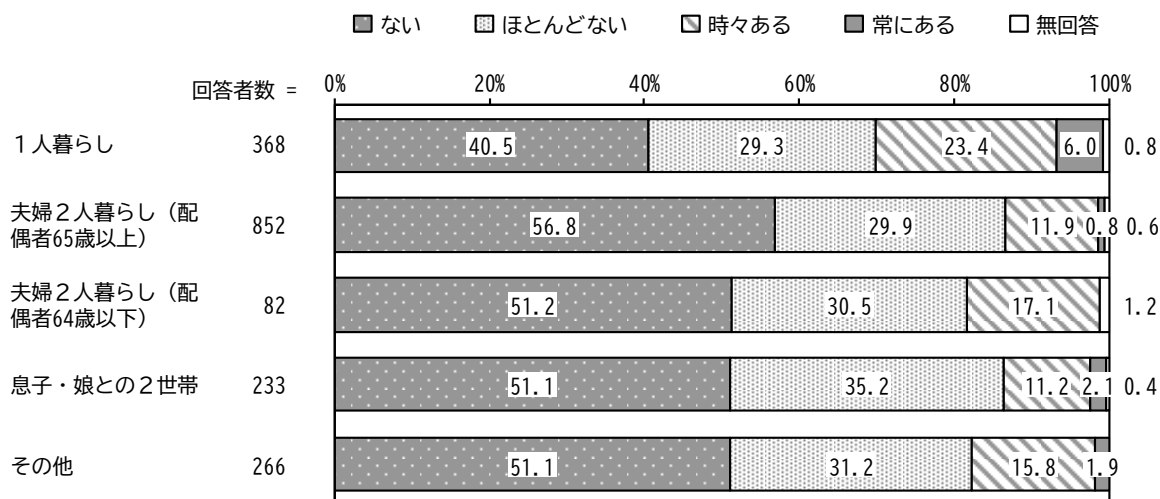
### 【年齢別】

年齢別にみると、75～79歳から95歳以上まで、年齢が上がるほど「ない」の割合が低くなっています。



### 【家族構成別】

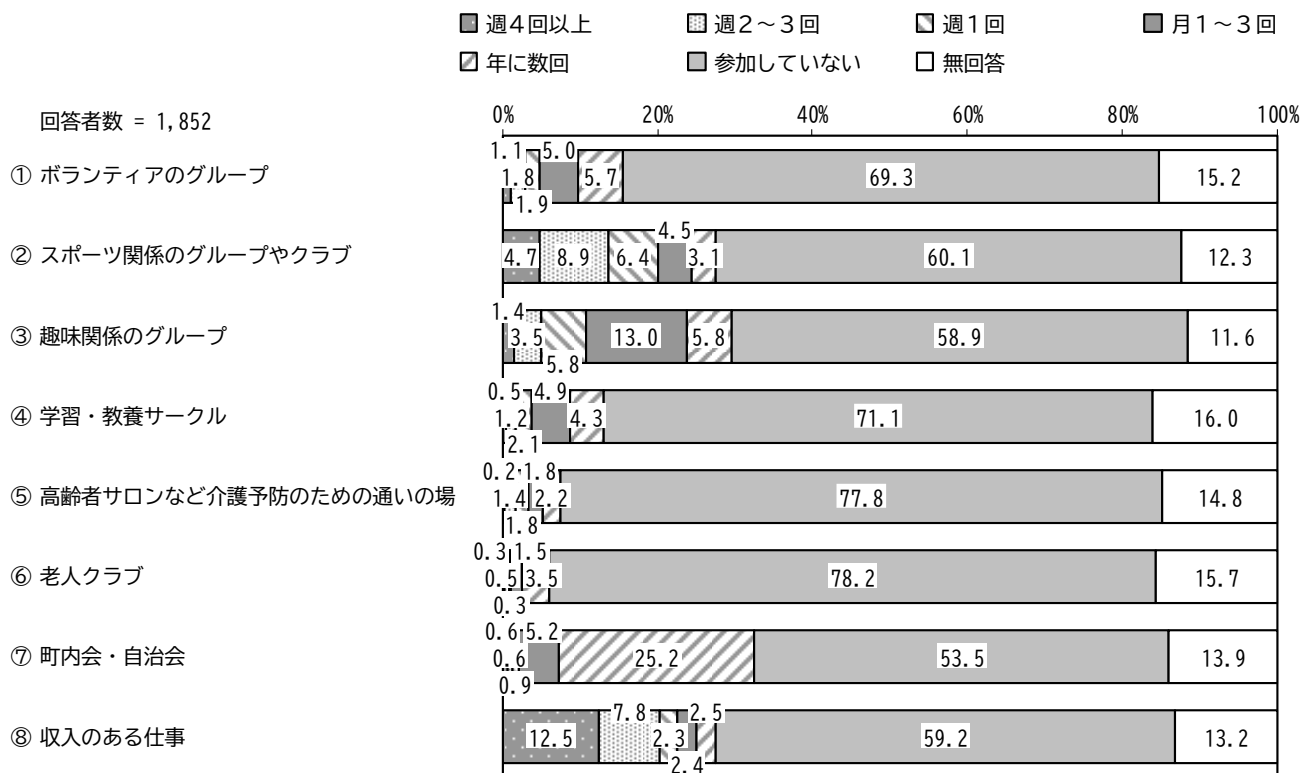
家族構成別にみると、「時々ある」「常にある」と回答した割合は、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）、その他の順に高くなっています。



## 6. 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれにひとつだけ○を）

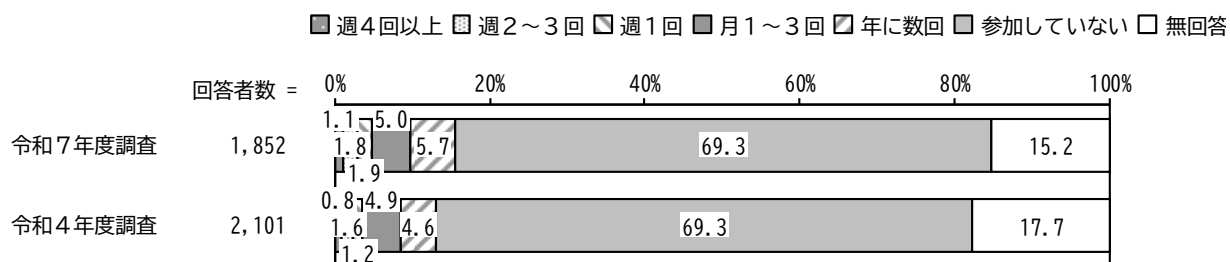
「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」参加していると回答した割合が高い活動は、  
 ⑧収入のある仕事、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループの順となっています。



### ①ボランティアのグループ

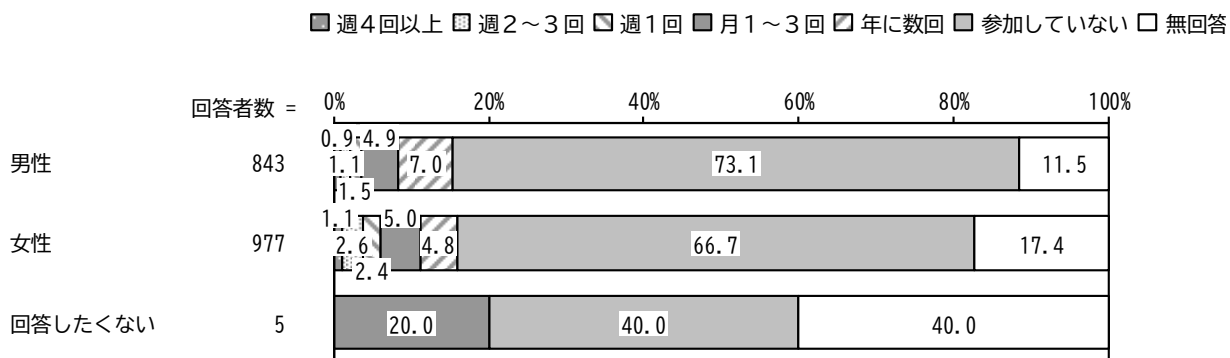
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

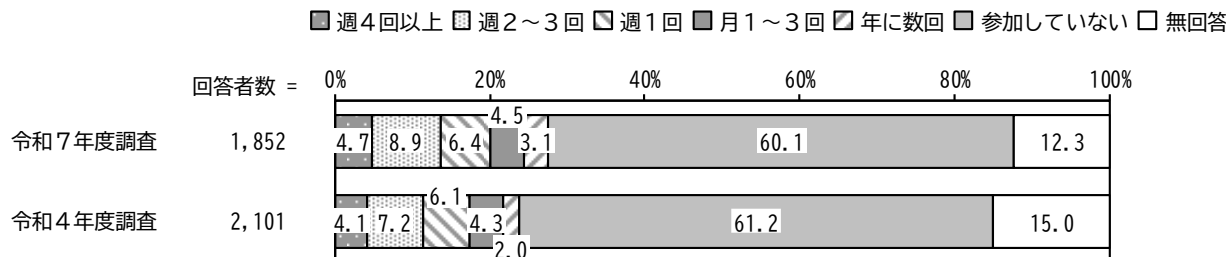
性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

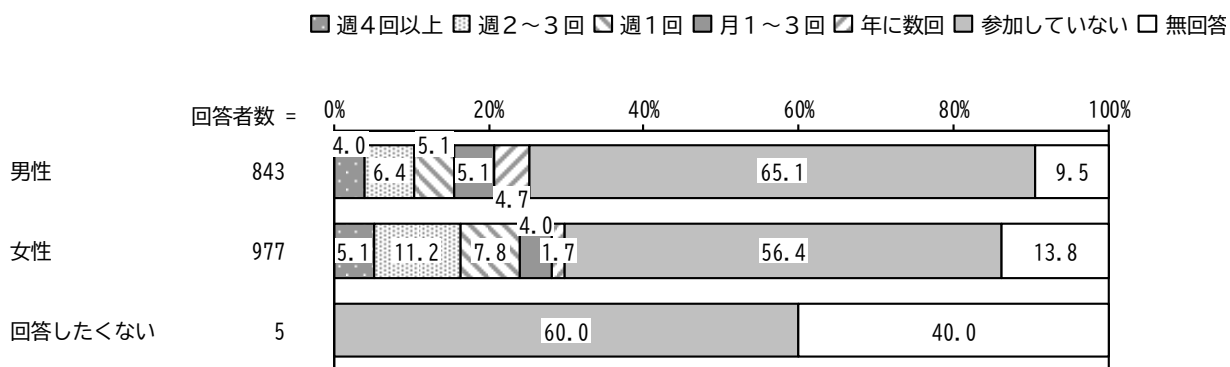
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

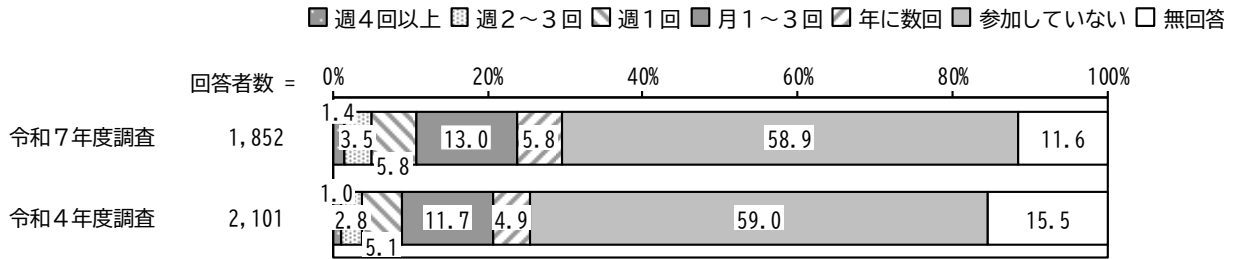
性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### ③趣味関係のグループ

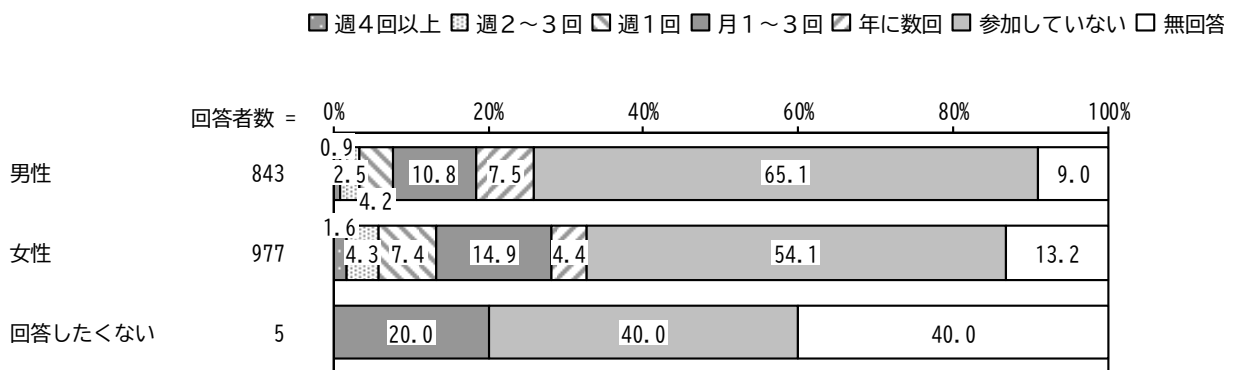
#### 【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

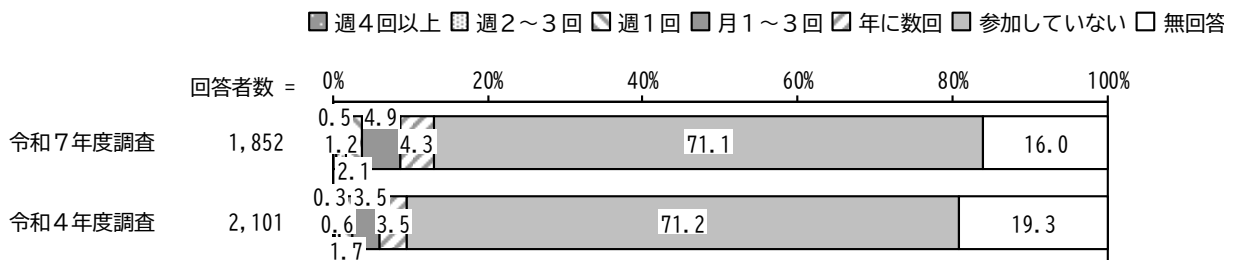
性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### ④学習・教養サークル

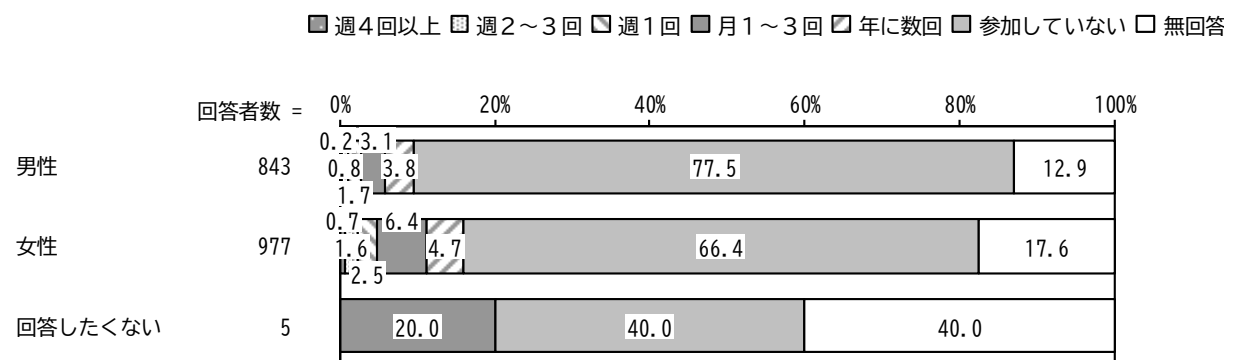
#### 【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

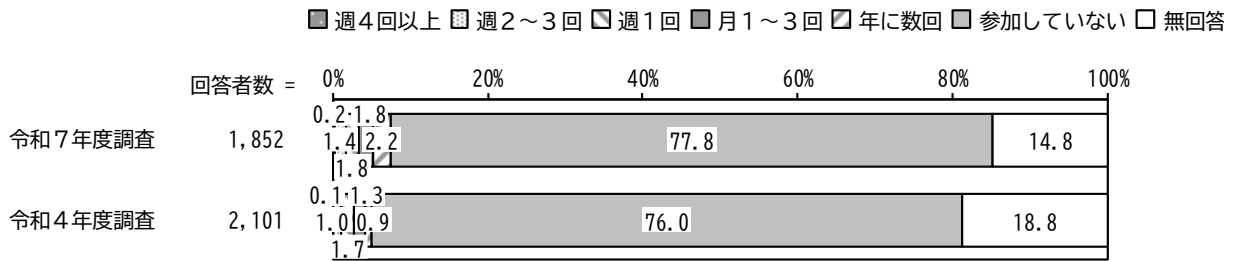
性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### ⑤高齢者サロンなど介護予防のための通いの場

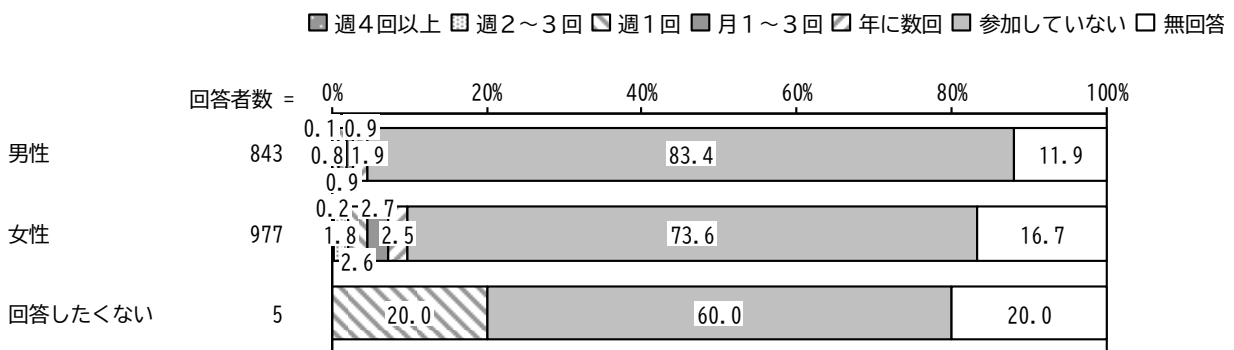
#### 【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

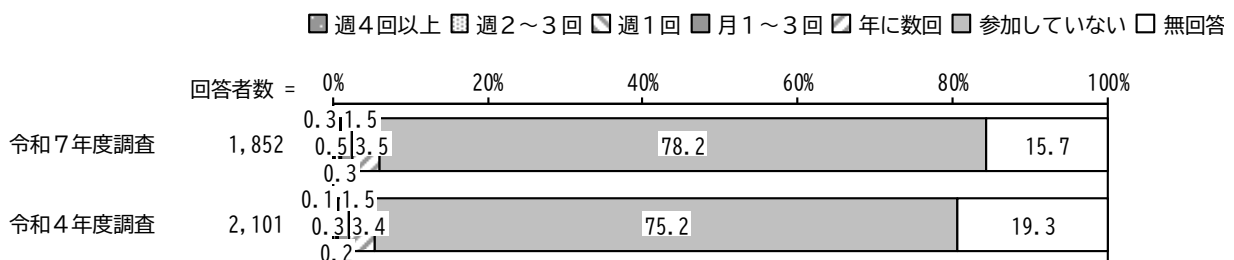
性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



### ⑥老人クラブ

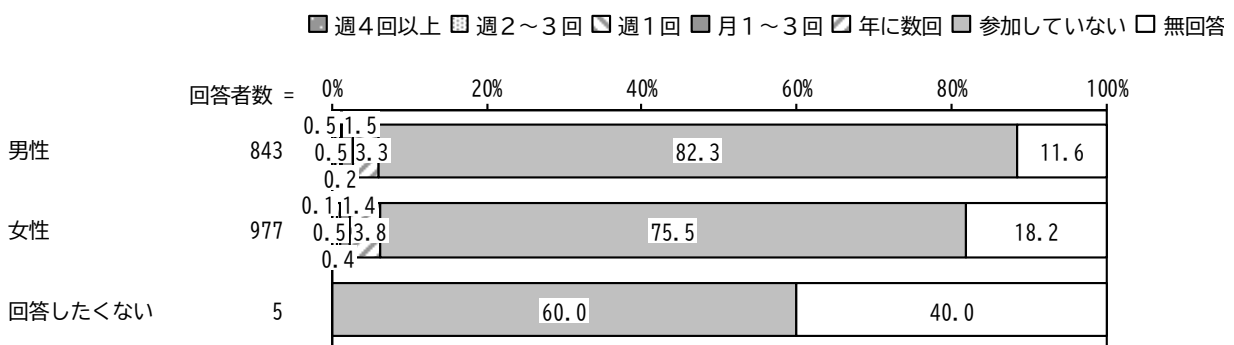
#### 【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

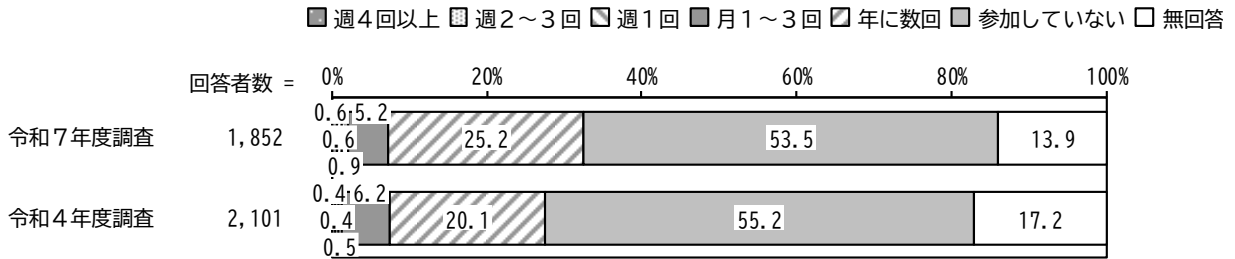
性別にみると、男性で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑦町内会・自治会

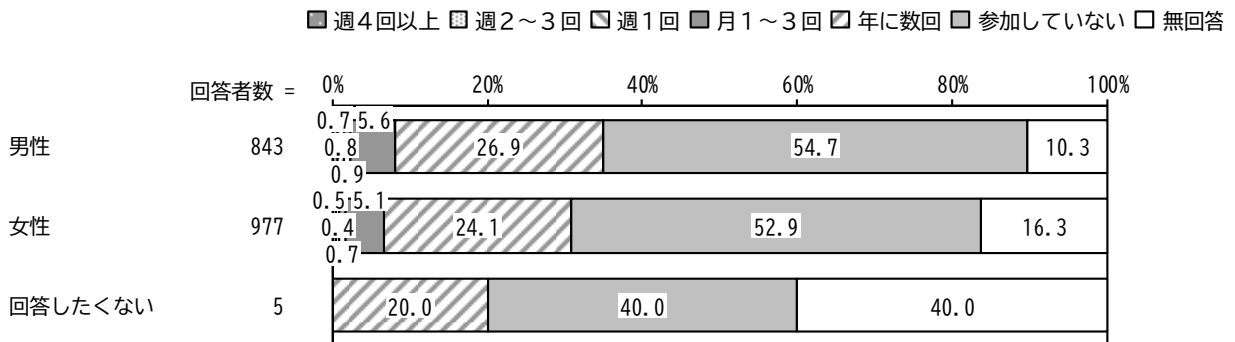
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、「年に数回」の割合が増加しています。



【性別】

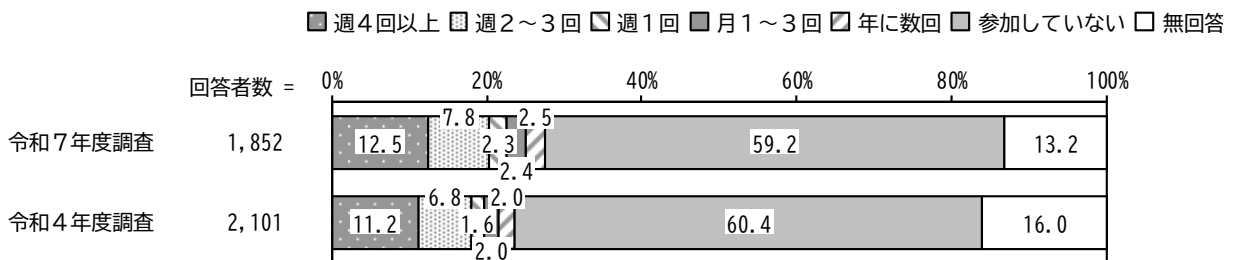
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧収入のある仕事

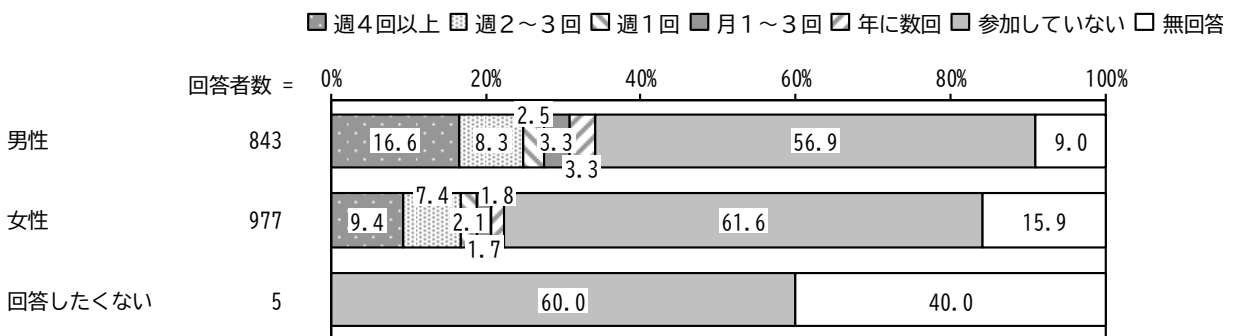
【経年比較】

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

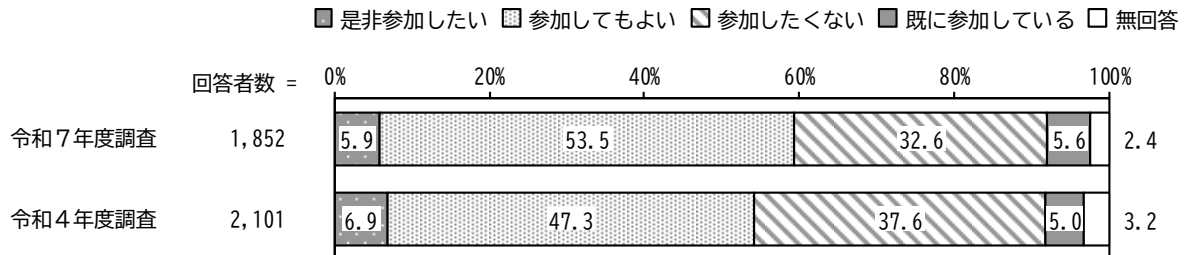
性別にみると、男性で「週4回以上」の割合が高くなっています。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（ひとつだけ○を）

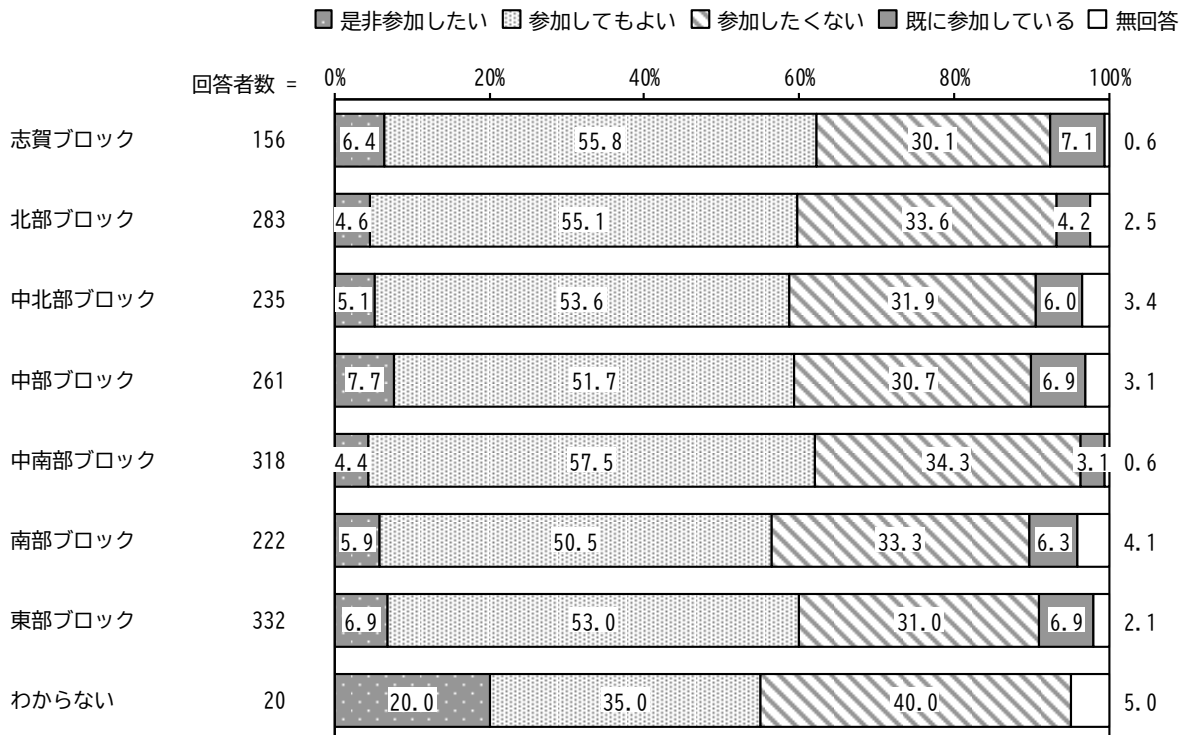
「参加してもよい」の割合が53.5%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が32.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「参加してもよい」の割合が増加しています。



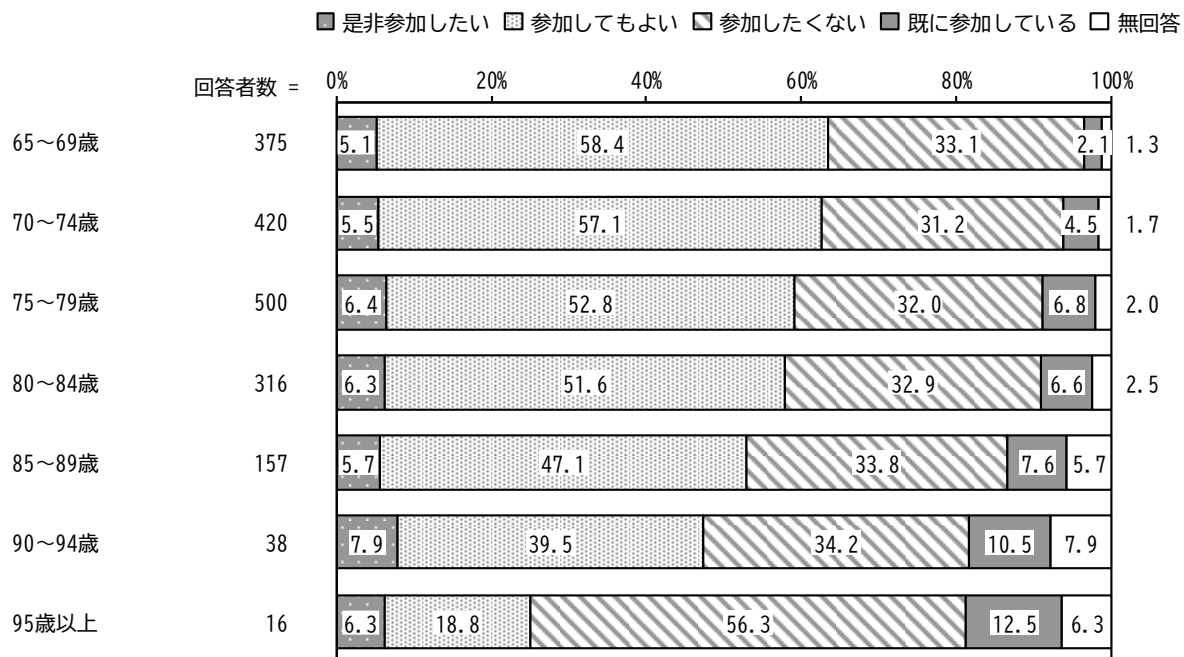
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



【年齢別】

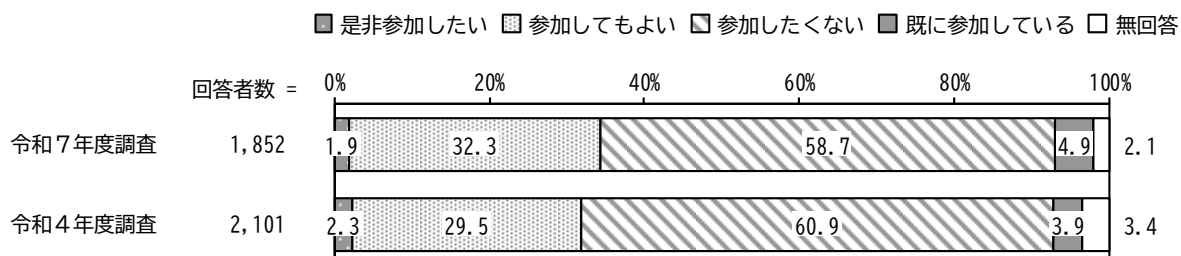
年齢別にみると、年齢が上がるほど「参加してもよい」の割合が低く、70～74歳から95歳以上まで年齢が上がるほど「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（ひとつだけ○を）

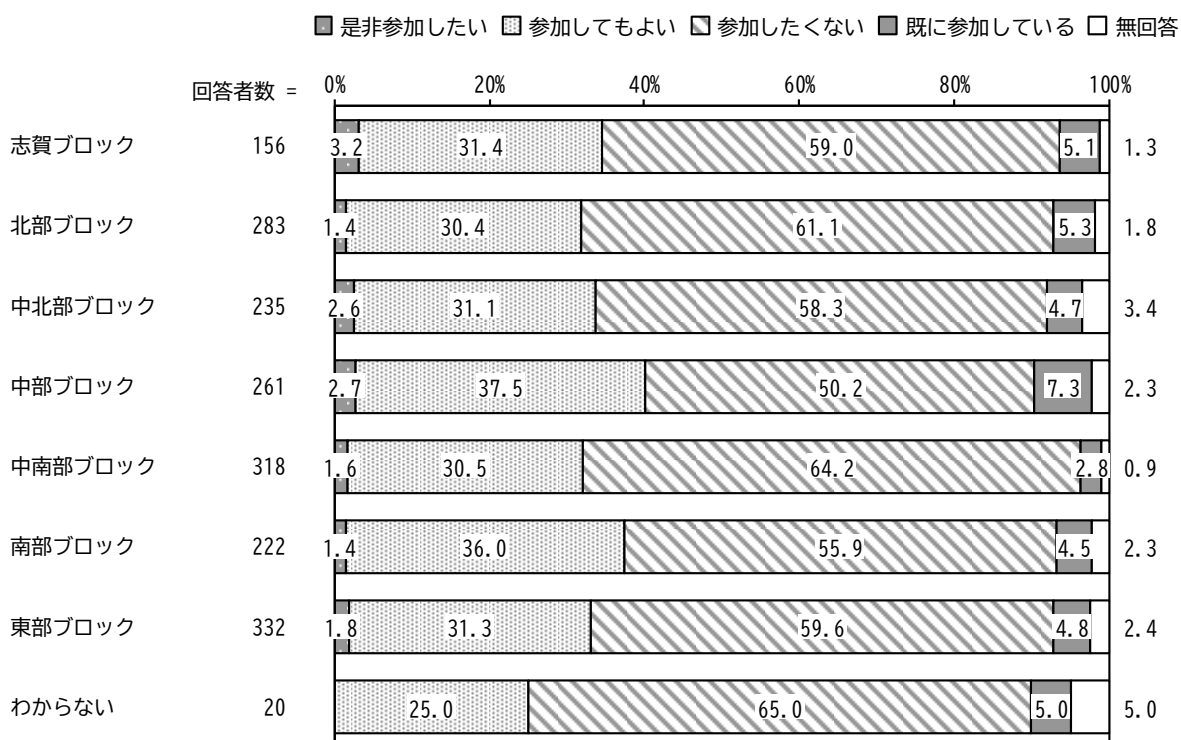
「参加したくない」の割合が58.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が32.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



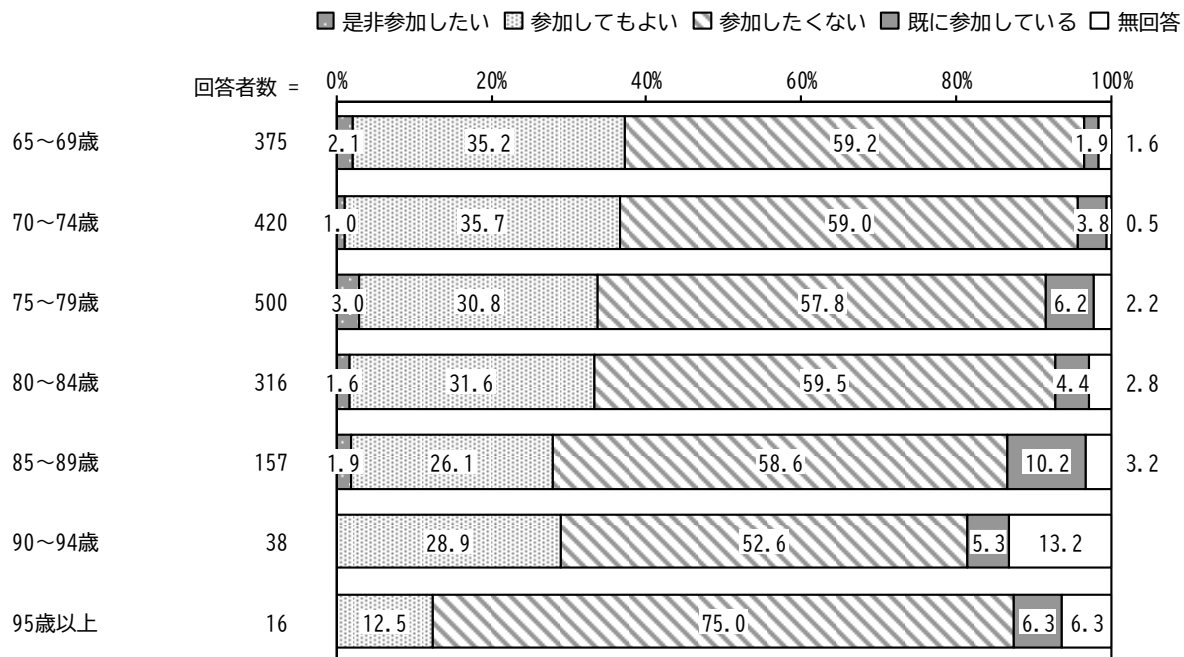
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、中部ブロックで「参加してもよい」、中南部ブロックで「参加したくない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

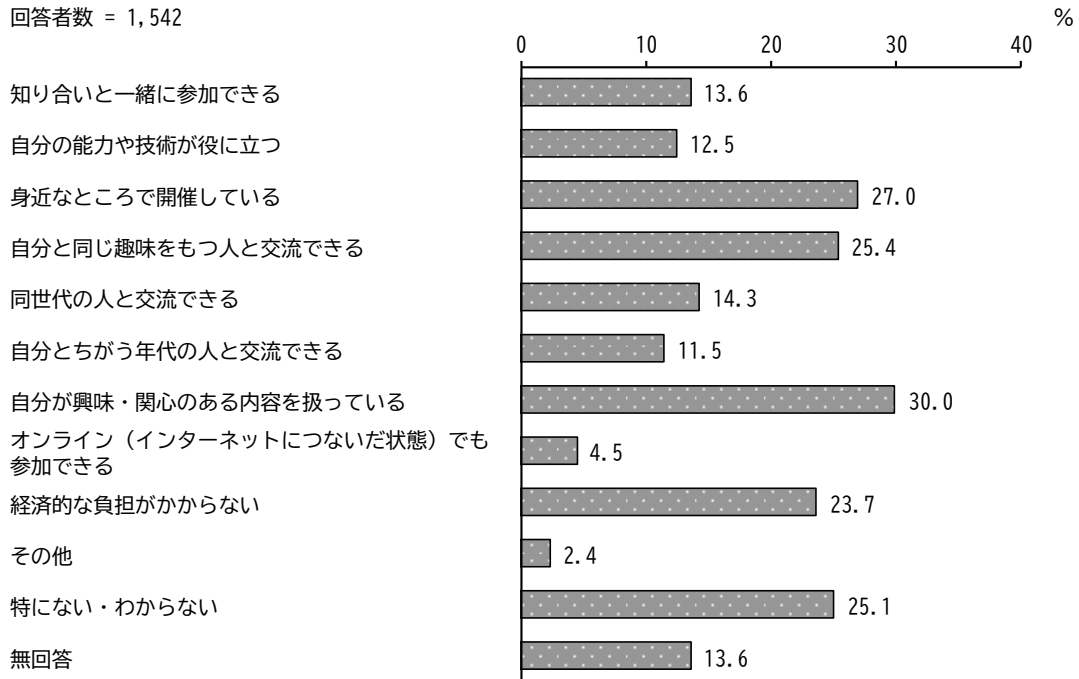
年齢別にみると、65～69歳から85～89歳まで年齢が上がるほど「既に参加している」の割合が高い傾向にあります。



(4) 6. 地域での活動について(1)の①から⑦で1つでも「参加していない」と回答した方で、地域でどのような活動(居場所)があれば参加してみたいと思いますか(いくつでも)

「自分が興味・関心のある内容を扱っている」の割合が30.0%と最も高く、次いで「身近なところで開催している」の割合が27.0%、「自分と同じ趣味をもつ人と交流できる」の割合が25.4%となっています。

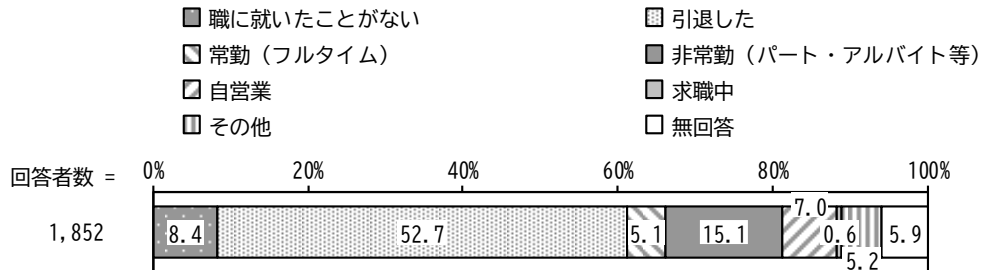
回答者数 = 1,542



## 7. 就労について

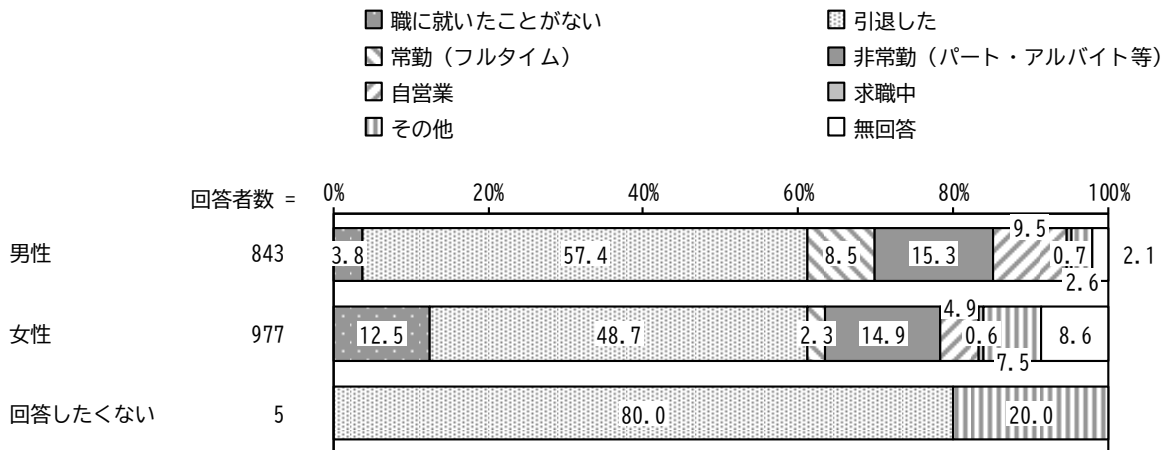
### (1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（ひとつだけ○を）

「引退した」の割合が52.7%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が15.1%となっています。



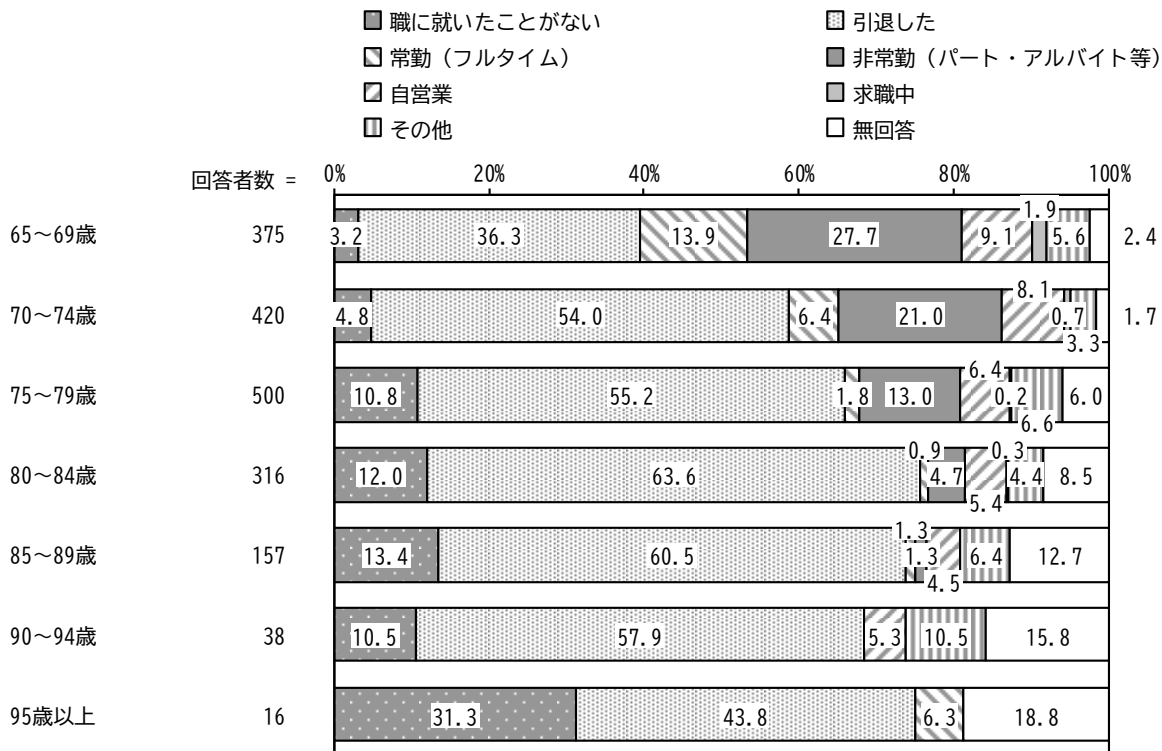
#### 【性別】

性別にみると、男性で「引退した」「常勤（フルタイム）」の割合が高く、女性で「職に就いたことがない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

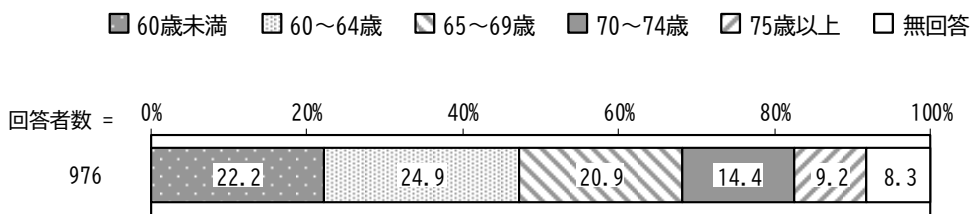
年齢別にみると、年齢が上がるほど「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が低い傾向にあります。



【(1)で「引退した」の方のみ】

①あなたはいつ引退しましたか（ひとつだけ○を）

「60～64歳」の割合が24.9%と最も高く、次いで「60歳未満」の割合が22.2%、「65～69歳」の割合が20.9%となっています。

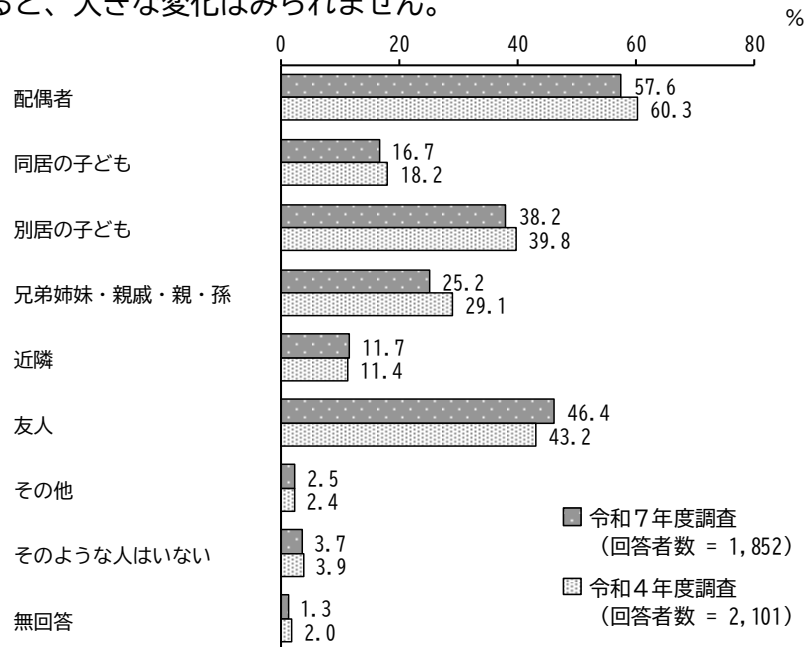


## 8. たすけあいについて

### (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が57.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が46.4%、「別居の子ども」の割合が38.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

性別にみると、男性で「配偶者」「友人」の順で割合が高く、女性で「友人」「別居の子ども」「配偶者」の順で割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	57.6	16.7	38.2	25.2	11.7	46.4	2.5	3.7	1.3	
男性	843	73.4	11.3	24.9	17.9	4.9	30.1	2.0	5.1	1.2	
女性	977	44.7	21.8	49.8	31.4	17.7	60.5	3.0	2.1	1.0	
回答したくない	5	60.0	20.0	40.0	60.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	

#### 【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らしで「友人」、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」、他の区分では「配偶者」で最も高くなっています。

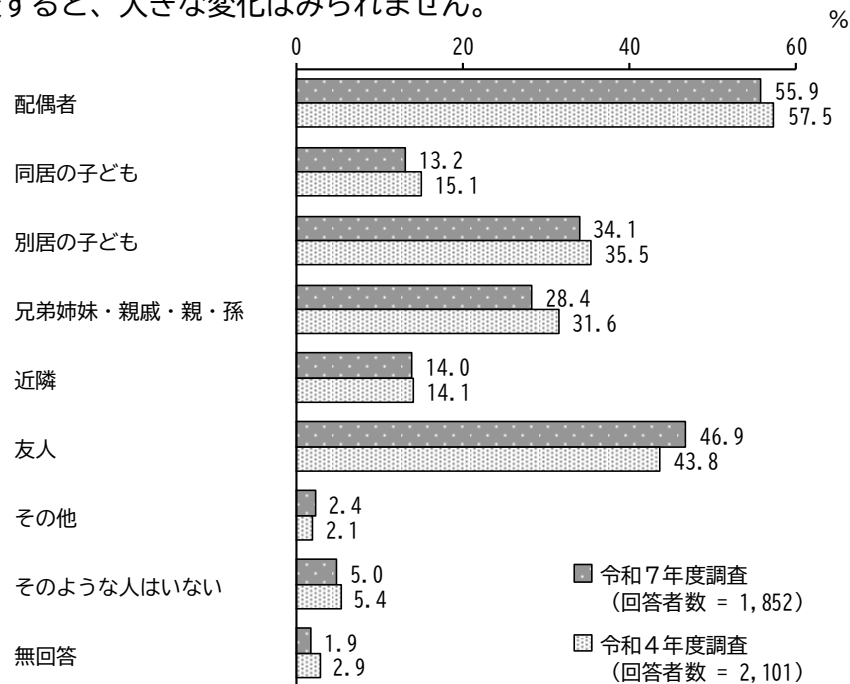
単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	57.6	16.7	38.2	25.2	11.7	46.4	2.5	3.7	1.3	
1人暮らし	368	1.1	0.8	48.4	33.4	18.5	54.6	5.2	10.1	1.9	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	852	84.4	2.0	42.6	20.9	10.2	47.2	1.1	1.5	0.8	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	82	84.1	6.1	17.1	15.9	3.7	35.4	0.0	6.1	2.4	
息子・娘との2世帯	233	47.6	61.4	28.3	27.0	11.6	42.5	2.6	1.7	0.4	
その他	266	54.1	45.5	26.7	30.5	10.5	39.8	4.1	3.0	0.8	

## (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が55.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が46.9%、「別居の子ども」の割合が34.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【性別】

性別にみると、男性で「配偶者」「友人」の順で、女性で「友人」「配偶者」「別居の子ども」の順で割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	55.9	13.2	34.1	28.4	14.0	46.9	2.4	5.0	1.9	
男性	843	73.2	10.7	25.9	21.5	6.6	29.8	2.5	5.8	1.3	
女性	977	41.8	15.7	41.7	34.4	20.6	61.8	2.4	3.8	2.3	
回答したくない	5	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	

### 【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らしで「友人」、息子・娘との2世帯で「同居の子ども」、他の区分では「配偶者」で最も高くなっています。

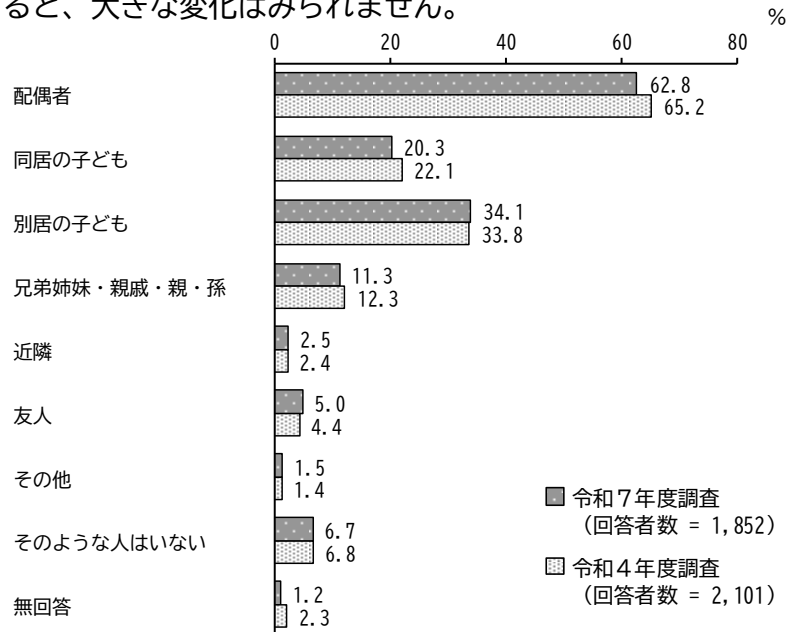
単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	55.9	13.2	34.1	28.4	14.0	46.9	2.4	5.0	1.9	
1人暮らし	368	0.5	0.3	32.6	31.8	18.5	57.1	4.3	13.6	3.0	
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	852	81.2	1.8	42.1	27.1	12.1	46.7	0.8	1.9	0.8	
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	82	86.6	4.9	22.0	13.4	7.3	36.6	2.4	3.7	2.4	
息子・娘との2世帯	233	46.8	48.9	24.9	29.2	14.6	39.9	2.1	4.3	1.3	
その他	266	51.5	36.5	24.1	33.5	15.4	42.9	5.3	4.1	3.0	

### (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が62.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が34.1%、「同居の子ども」の割合が20.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

性別にみると、男性・女性とも「配偶者」「別居の子ども」の順で割合が高いが、「配偶者」の割合は男性78.8%、女性49.5%でとなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	62.8	20.3	34.1	11.3	2.5	5.0	1.5	6.7	1.2	
男性	843	78.8	15.5	23.8	9.0	0.5	2.1	1.1	6.2	1.1	
女性	977	49.5	24.9	43.1	13.0	4.3	7.6	1.8	6.8	1.3	
回答したくない	5	80.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

#### 【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）は「配偶者」が最も多く、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」が最も多くなっています。1人暮らしでは、「別居の子ども」が最も多かった一方で、「そのような人はいない」と回答した割合は26.4%となっています。

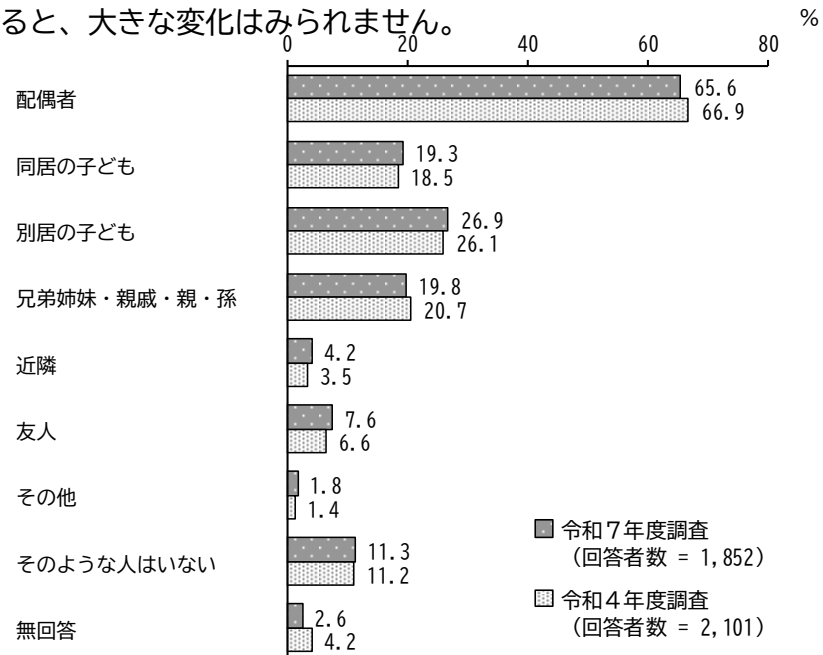
単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	62.8	20.3	34.1	11.3	2.5	5.0	1.5	6.7	1.2	
1人暮らし	368	1.1	0.3	49.2	23.1	7.1	14.1	3.0	26.4	1.9	
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	852	91.8	2.2	37.1	6.7	1.5	3.2	0.6	1.3	0.8	
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	82	96.3	6.1	20.7	1.2	0.0	1.2	0.0	1.2	2.4	
息子・娘との2世帯	233	51.5	75.5	22.3	11.6	1.7	2.1	0.9	0.9	0.4	
その他	266	56.8	57.5	18.4	13.2	1.5	2.6	3.4	4.1	1.1	

#### (4) 反対に、看病や世話をしあがる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 26.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 19.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

性別にみると、男性で「配偶者」の割合が高く、女性で「配偶者」「別居の子ども」の順で高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	65.6	19.3	26.9	19.8	4.2	7.6	1.8	11.3	2.6	
男性	843	78.2	15.8	18.1	13.8	1.5	3.3	2.0	9.7	2.0	
女性	977	55.3	22.9	35.1	25.4	6.6	11.6	1.7	12.1	2.9	
回答したくない	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	

#### 【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下）は「配偶者」が最も多く、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」が最も多くなっています。1人暮らしでは、「そのような人はいない」が最も多く 41.8%となっています。

単位：%

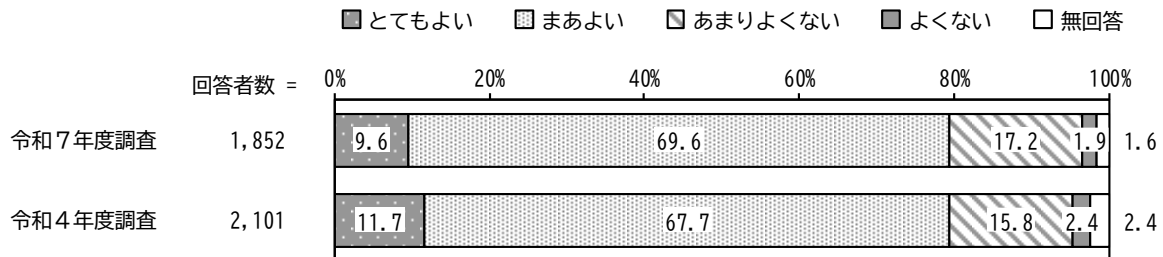
区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,852	65.6	19.3	26.9	19.8	4.2	7.6	1.8	11.3	2.6	
1人暮らし	368	1.6	1.1	26.1	24.7	7.9	17.1	2.7	41.8	4.9	
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	852	95.4	2.0	31.2	16.9	3.2	5.6	0.6	1.5	1.4	
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	82	95.1	8.5	23.2	12.2	3.7	1.2	1.2	0.0	3.7	
息子・娘との2世帯	233	53.6	66.1	18.0	18.9	2.6	5.2	1.7	9.0	2.1	
その他	266	61.3	56.4	24.1	26.3	4.5	6.0	5.3	6.0	2.3	

## 9. 健康について

### (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか（ひとつだけ○を）

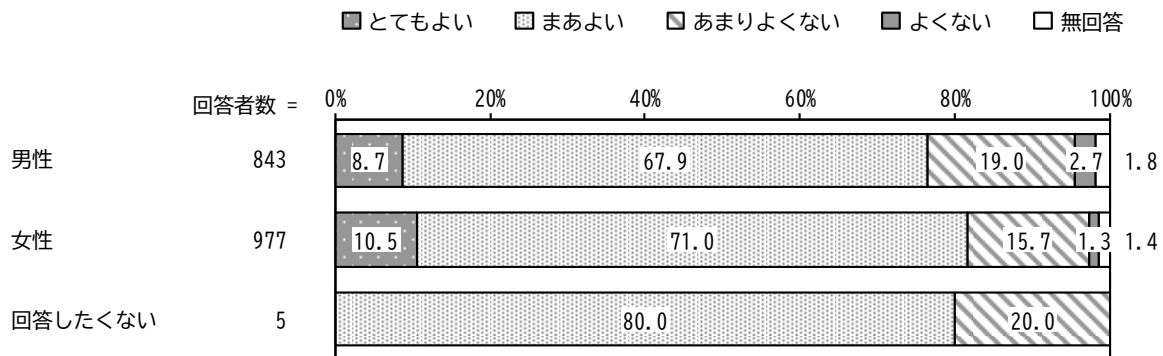
「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が79.2%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が19.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



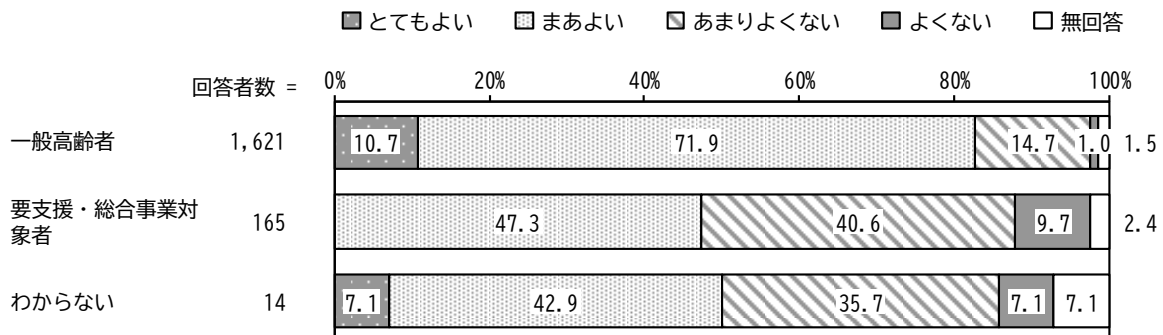
#### 【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



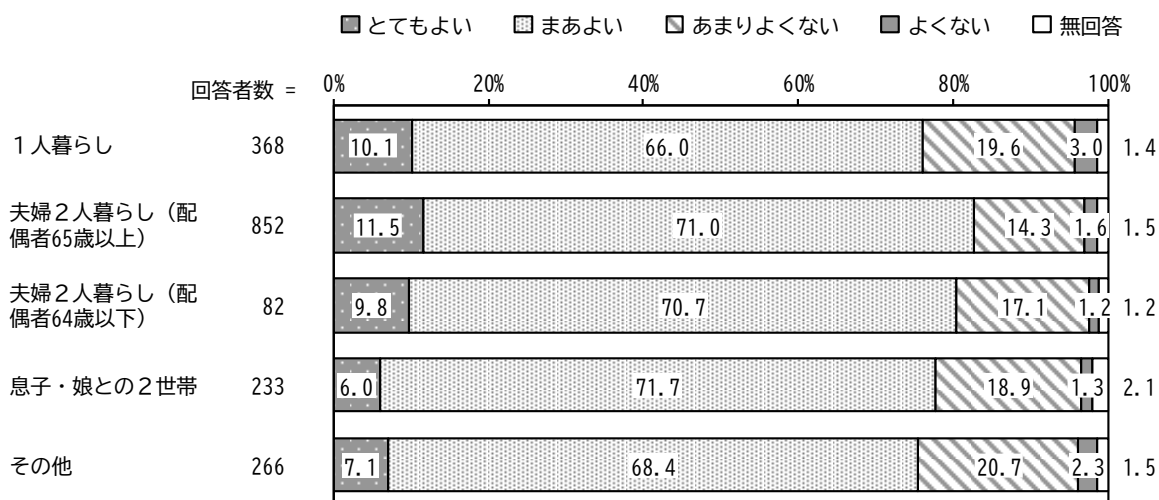
#### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、要支援・総合事業対象者で“よくない”の割合が高くなっています。



## 【家族構成別】

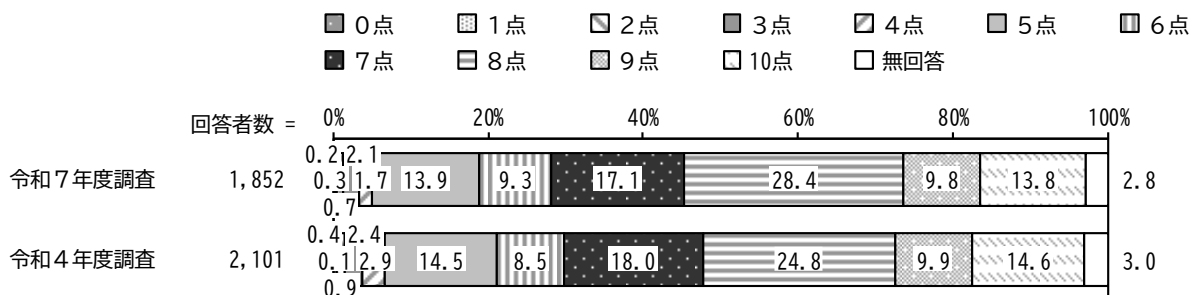
家族構成別にみると、以下のとおりです。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

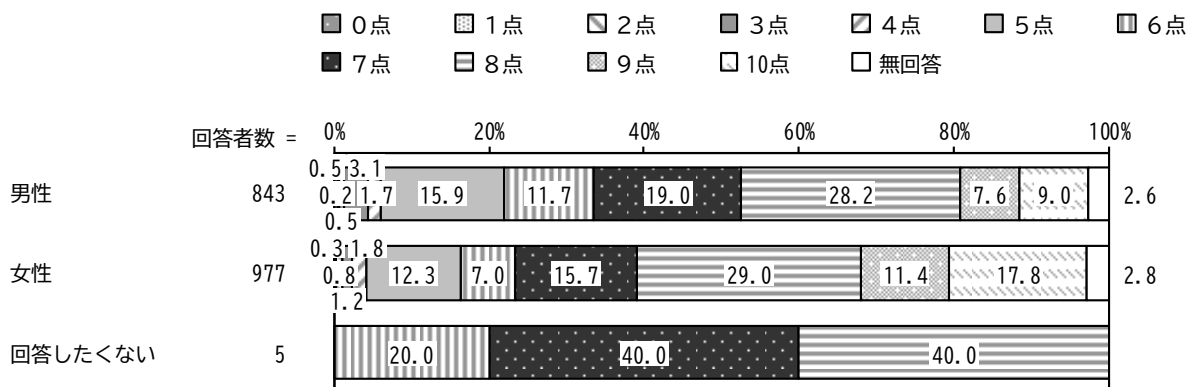
「8点」の割合が28.4%と最も高く、次いで「7点」の割合が17.1%、「5点」の割合が13.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



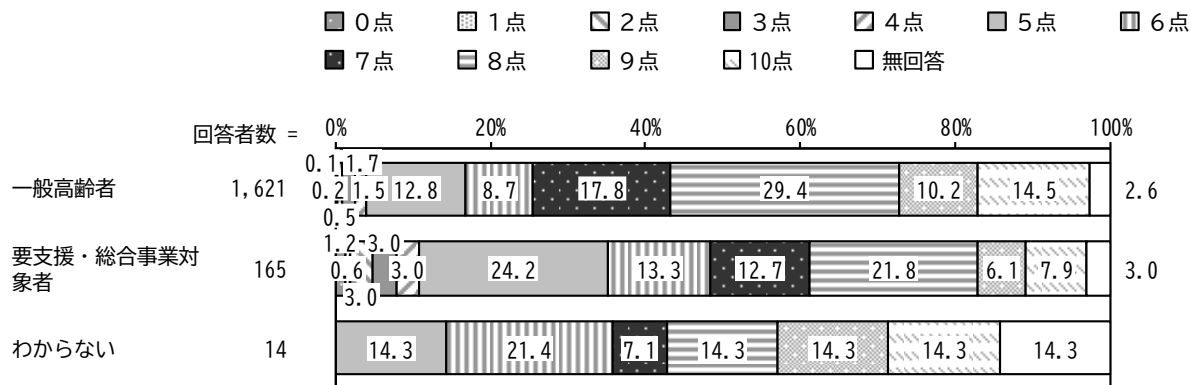
## 【性別】

性別にみると、女性で「10点」の割合が高くなっています。



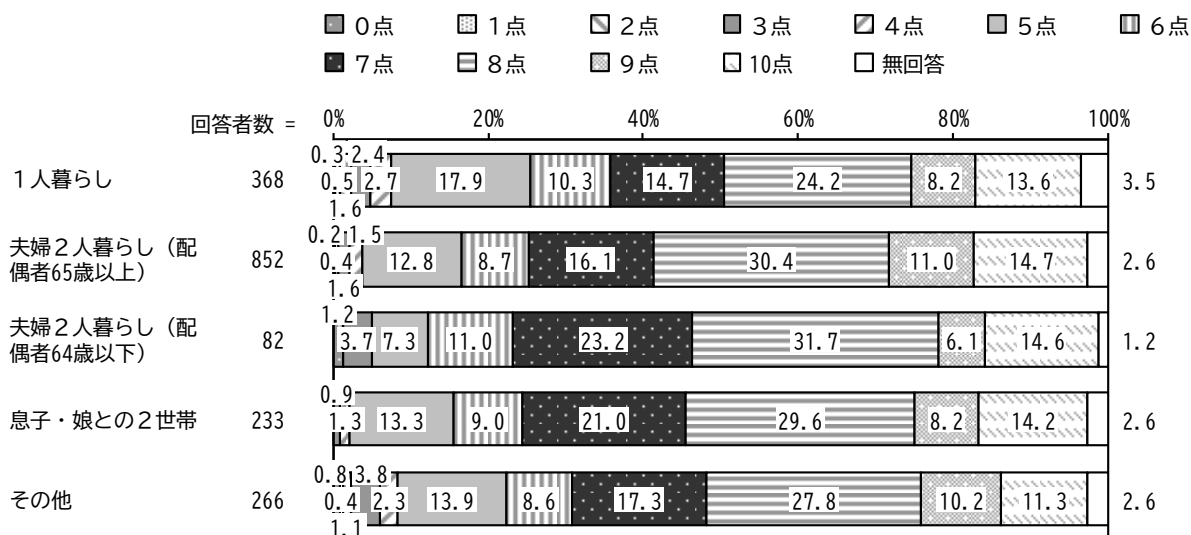
### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、8点以上としたのは一般高齢者で 54.1%であり、要支援・総合事業対象者で 35.8%となっています。



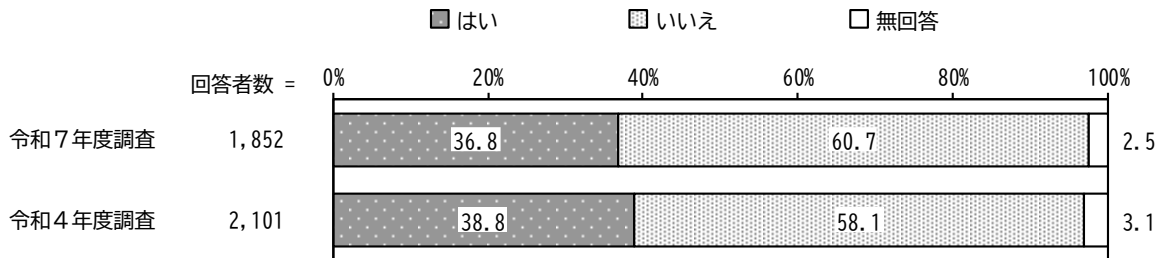
### 【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らしで「8点」「5点」の順に高く、他の区分では「8点」「7点」の順に高くなっています。



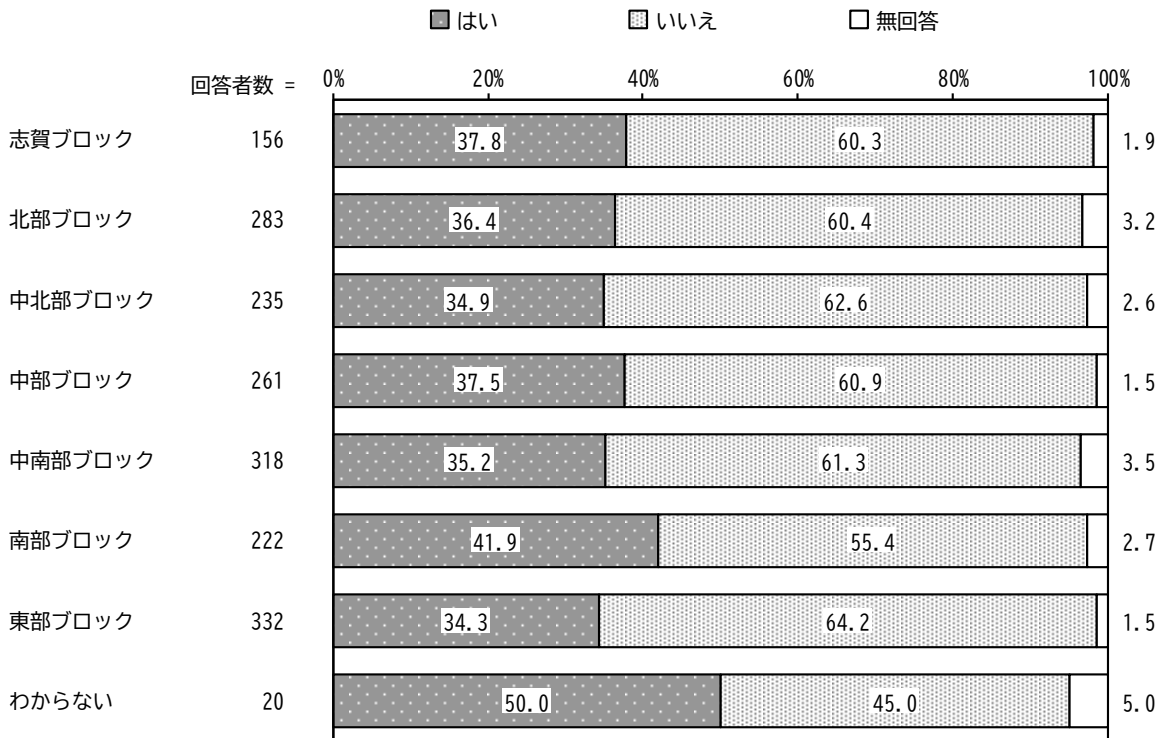
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか  
(ひとつだけ○を)

「はい」の割合が36.8%、「いいえ」の割合が60.7%となっています。  
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



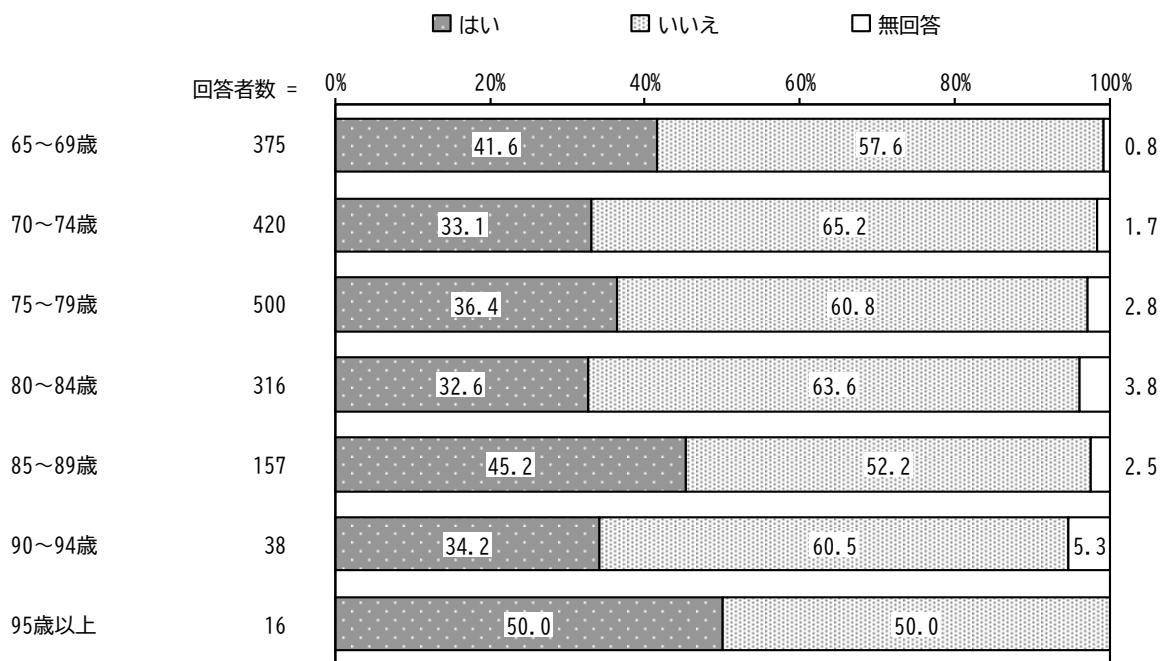
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別に見ると、南部ブロックで「はい」の割合が高くなっています。



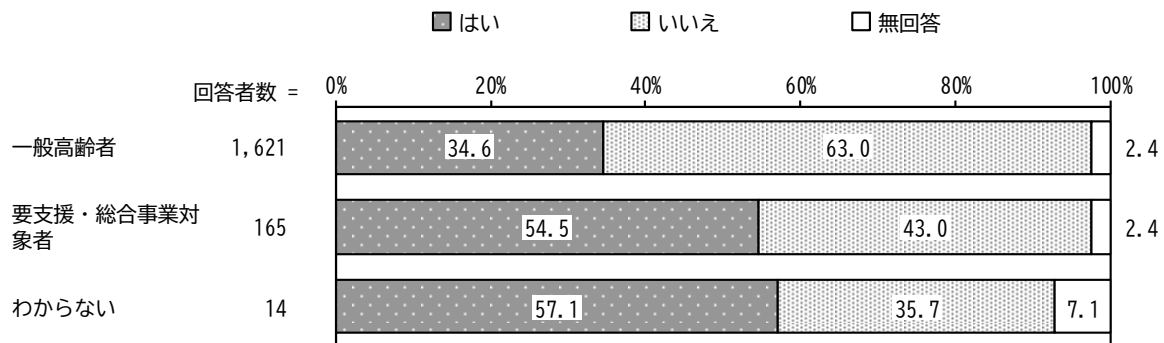
【年齢別】

年齢別にみると、95歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



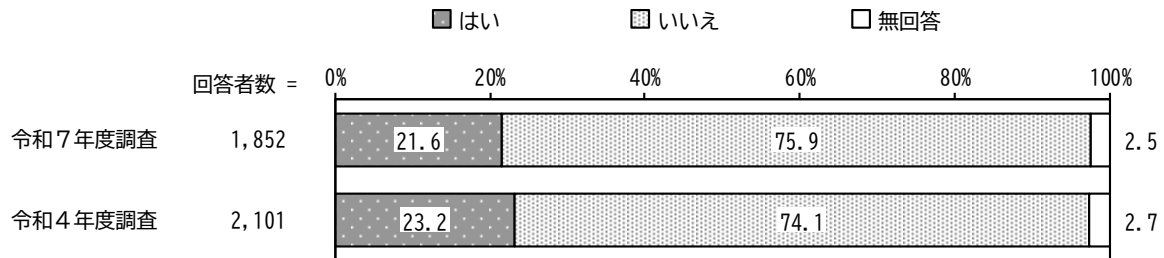
【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



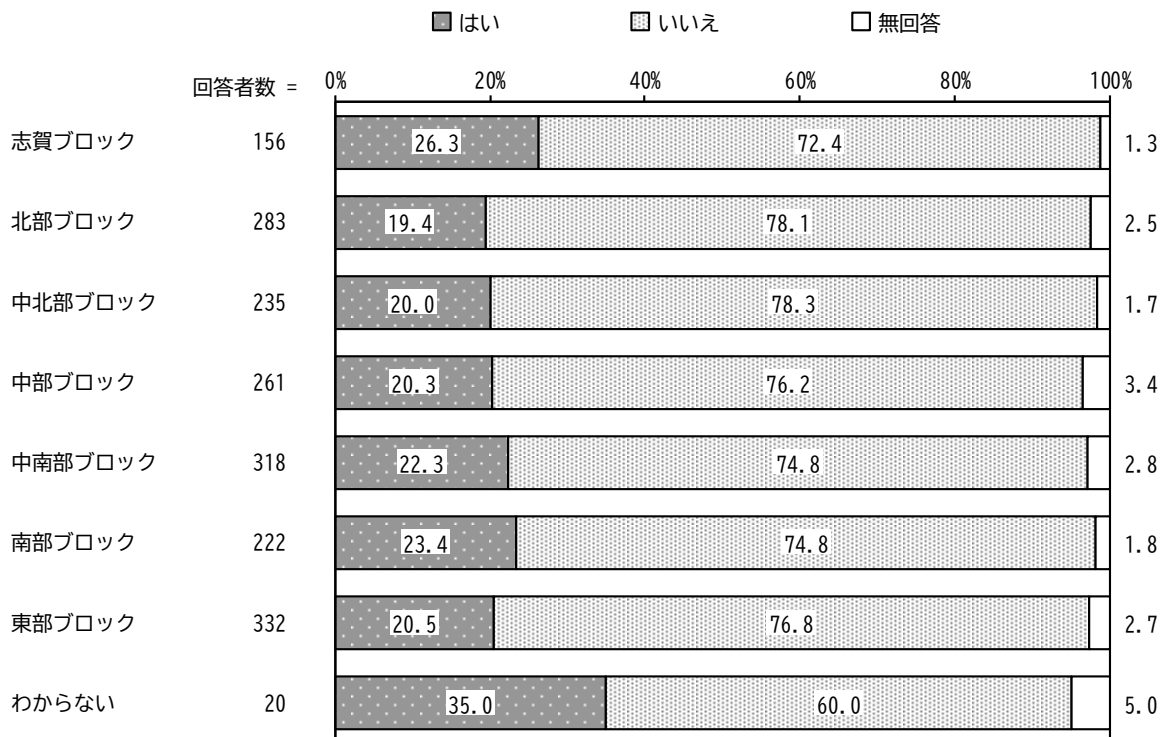
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（ひとつだけ○を）

「はい」の割合が21.6%、「いいえ」の割合が75.9%となっています。  
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



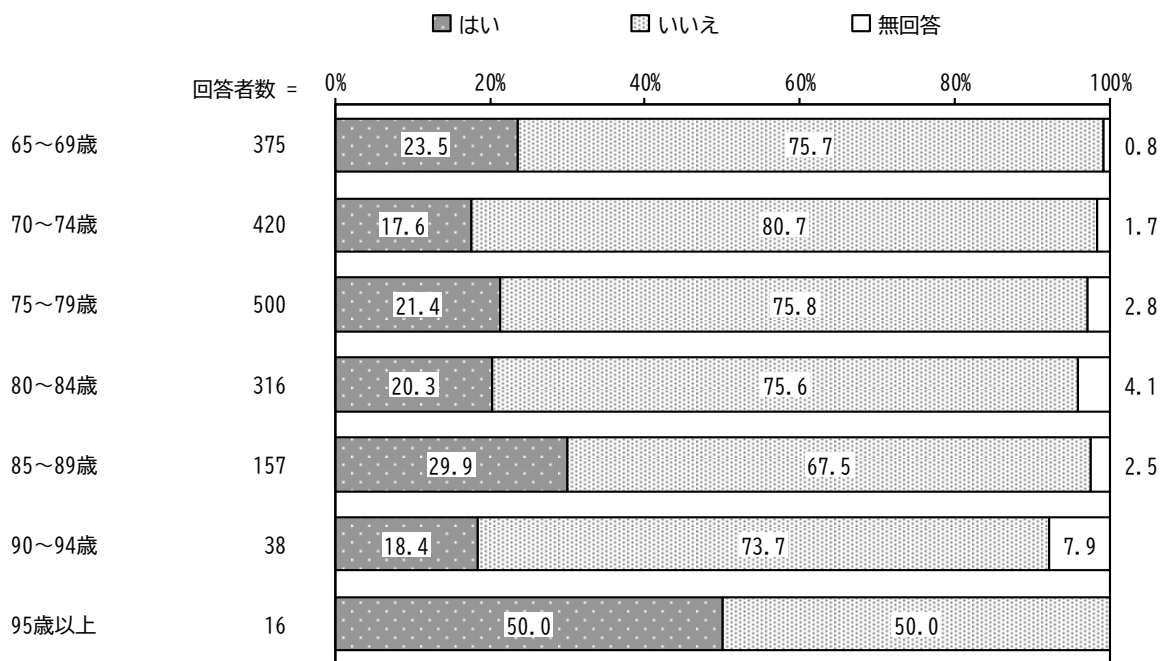
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



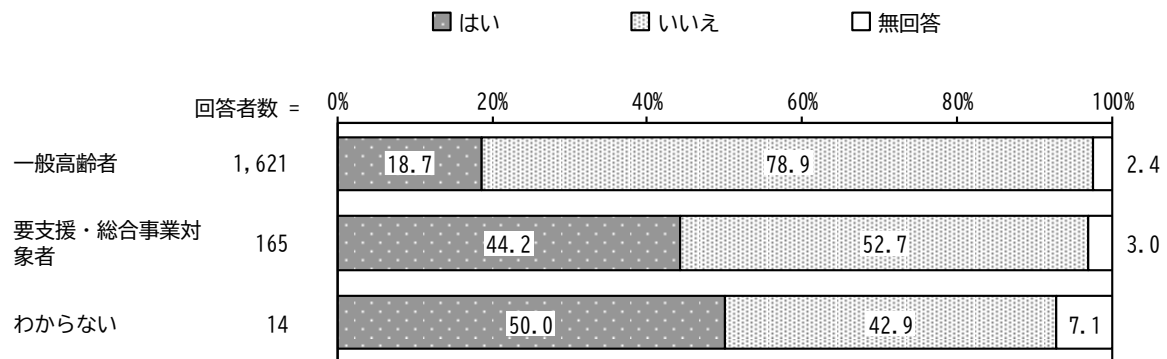
【年齢別】

年齢別にみると、95歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



【要介護認定別】

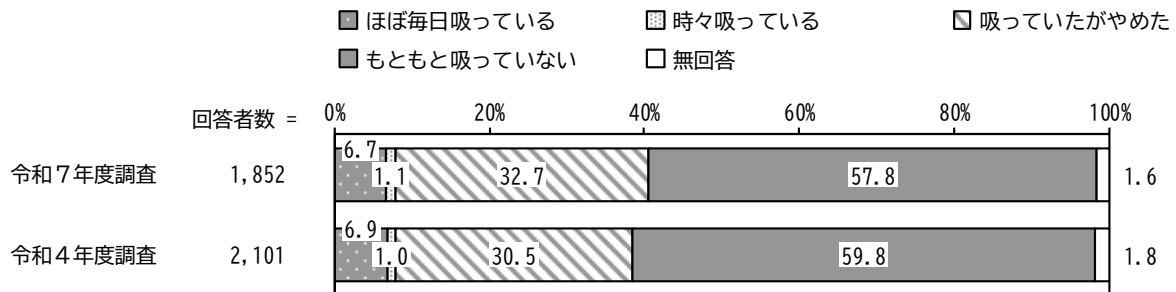
要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



## (5) タバコは吸っていますか（ひとつだけ○を）

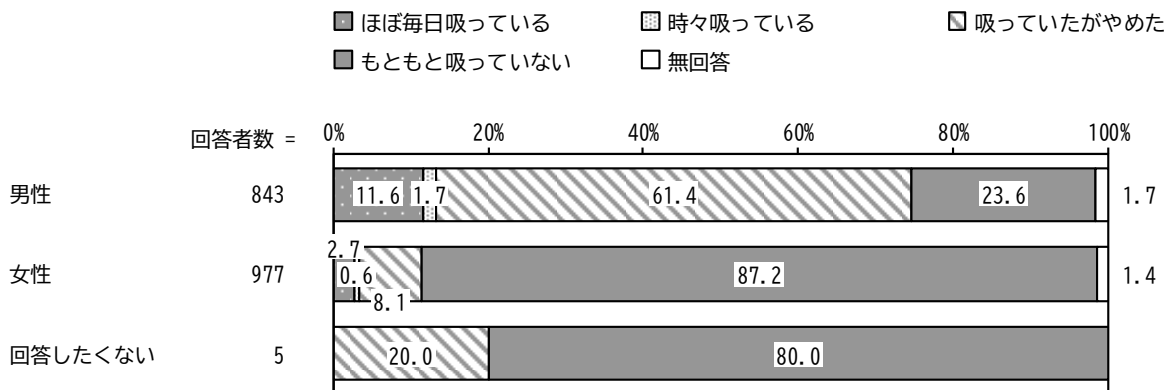
「もともと吸っていない」の割合が57.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が32.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



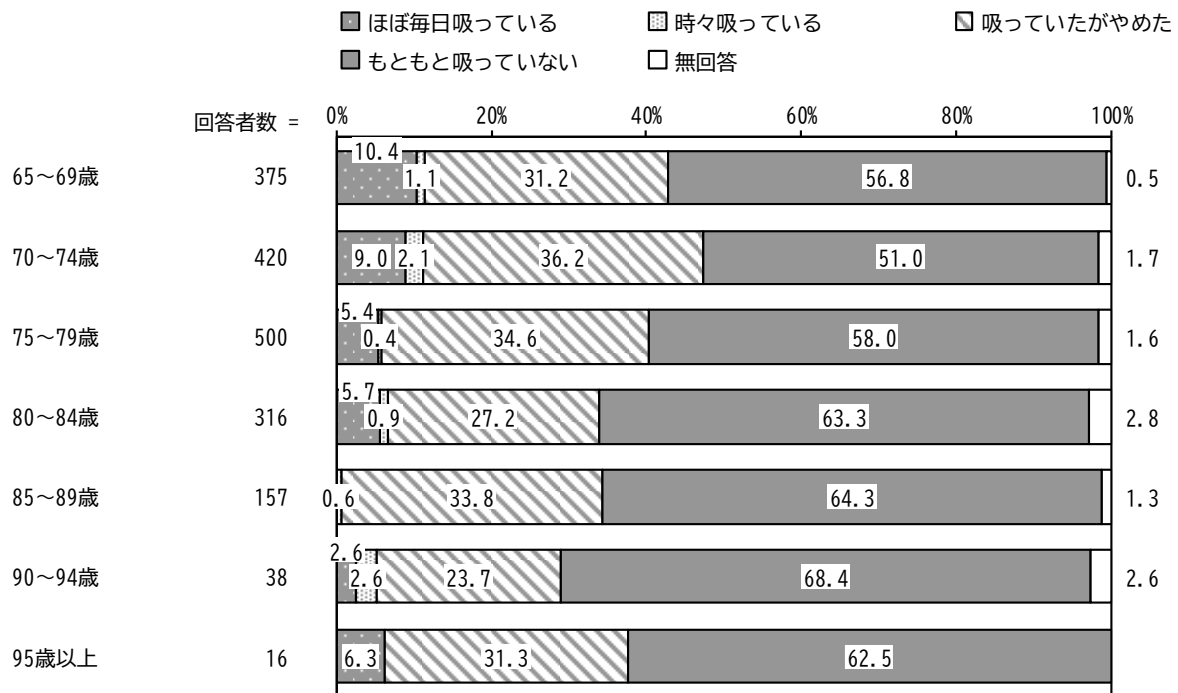
### 【性別】

性別にみると、男性で「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高く、女性で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

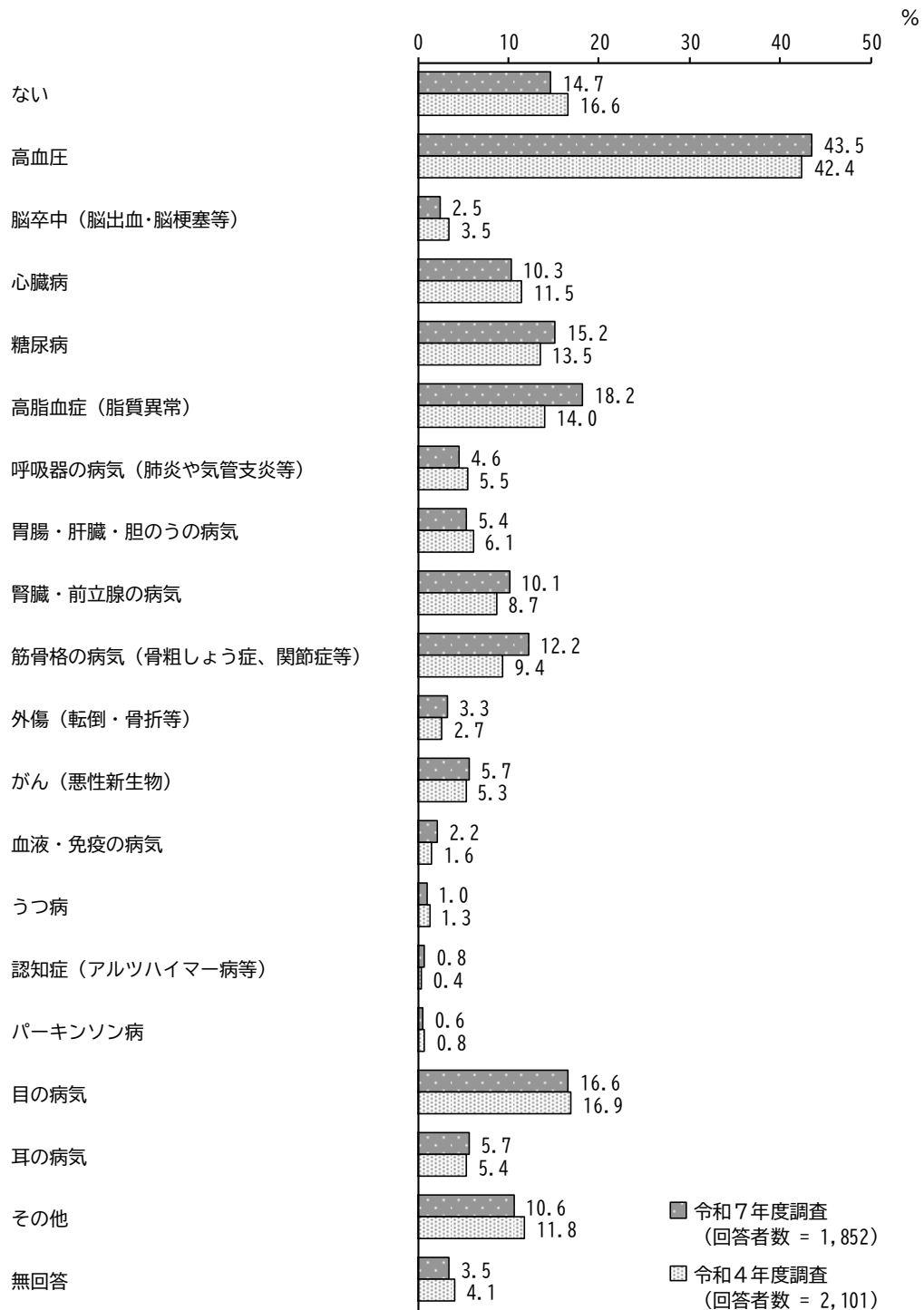
年齢別にみると、70～74歳から90～94歳まで年齢が上がるほど「もともと吸っていない」の割合が高く、65～69歳から85～89歳まで年齢が上がるほど「ほぼ毎日吸っている」の割合が低い傾向にあります。



## (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」の割合が43.5%と最も高く、次いで「高脂血症 (脂質異常)」の割合が18.2%、「目の病気」の割合が16.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要介護認定別】

要介護認定別にみると、どの区分でも「高血圧」の割合が最も高くなっています。

単位：％

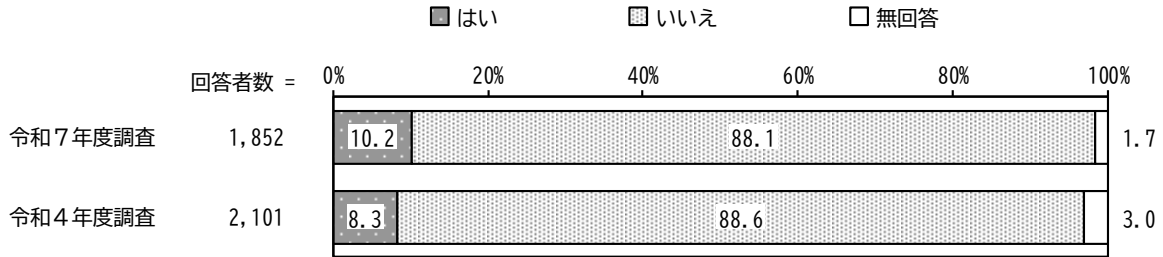
区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
全 体	1,852	14.7	43.5	2.5	10.3	15.2	18.2	4.6	5.4	10.1	12.2
一般高齢者	1,621	16.4	41.6	2.2	8.7	14.3	18.8	4.2	4.9	9.1	11.2
要支援・総合事業対象者	165	2.4	57.6	6.7	20.6	20.6	13.3	9.1	11.5	15.8	24.8
わからない	14	0.0	35.7	0.0	7.1	35.7	7.1	7.1	0.0	28.6	7.1

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	3.3	5.7	2.2	1.0	0.8	0.6	16.6	5.7	10.6	3.5
一般高齢者	2.7	5.6	2.0	1.0	0.4	0.1	15.6	4.8	10.4	3.6
要支援・総合事業対象者	10.3	5.5	4.2	1.8	4.2	4.2	26.7	12.7	10.9	1.2
わからない	7.1	21.4	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3

## 10. 認知症について

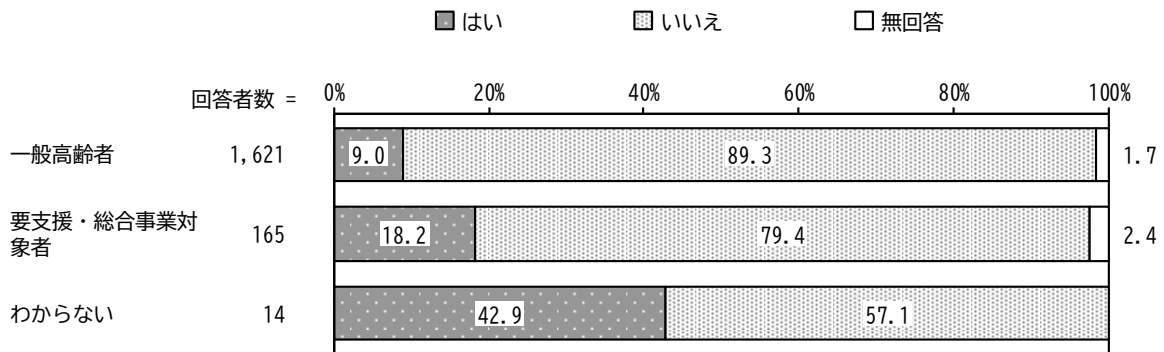
### (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（ひとつだけ○を）

「はい」の割合が10.2%、「いいえ」の割合が88.1%となっています。  
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



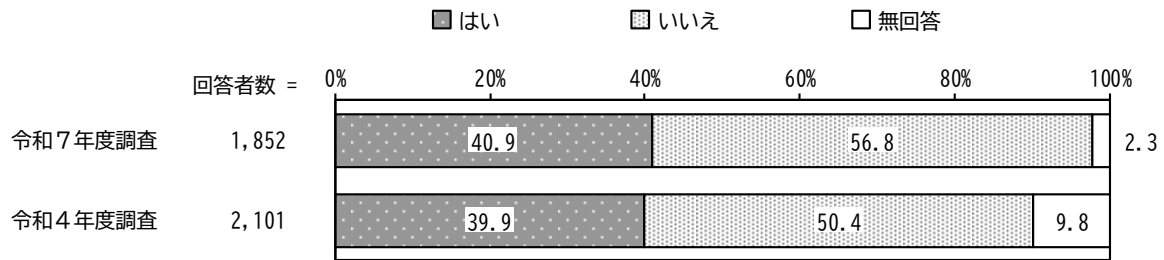
#### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



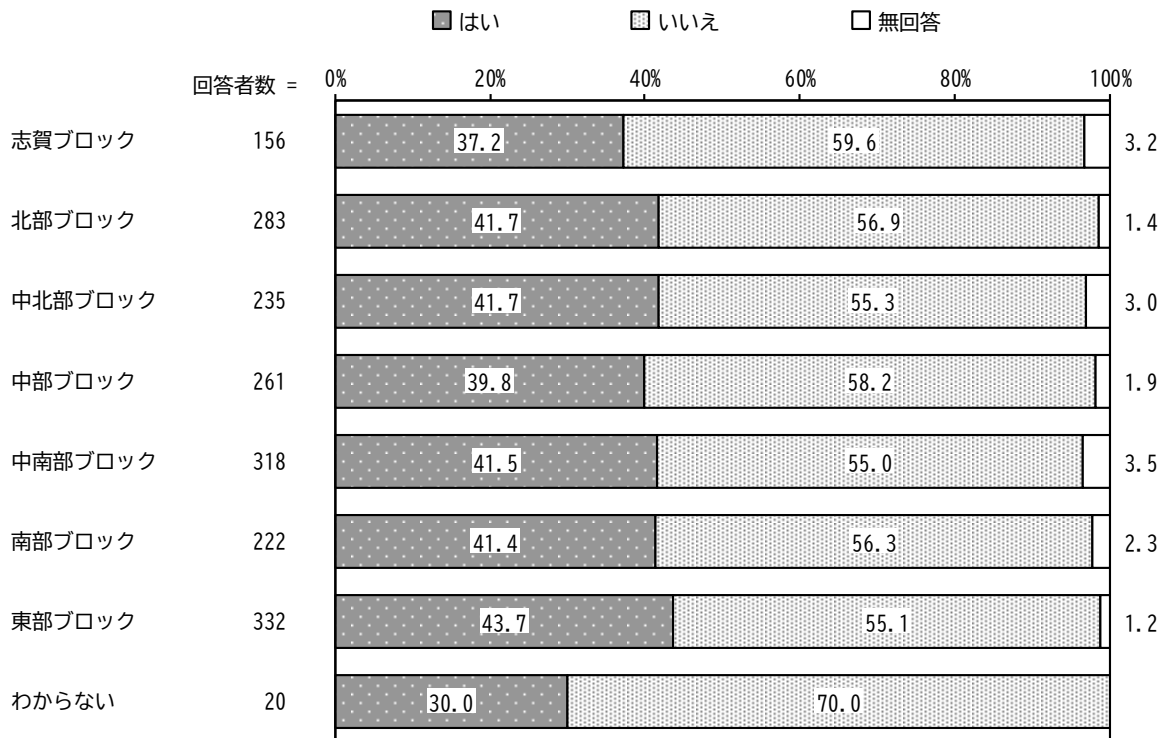
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (ひとつだけ○を)

「はい」の割合が40.9%、「いいえ」の割合が56.8%となっています。  
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



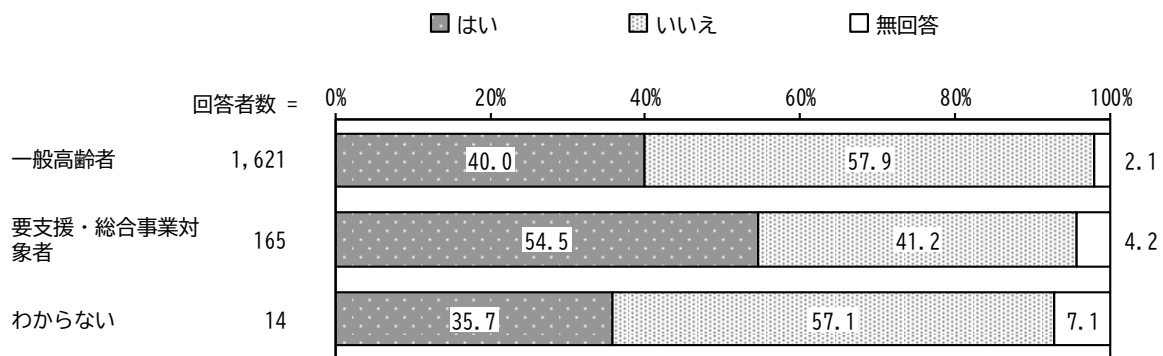
【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、以下のとおりです。



### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

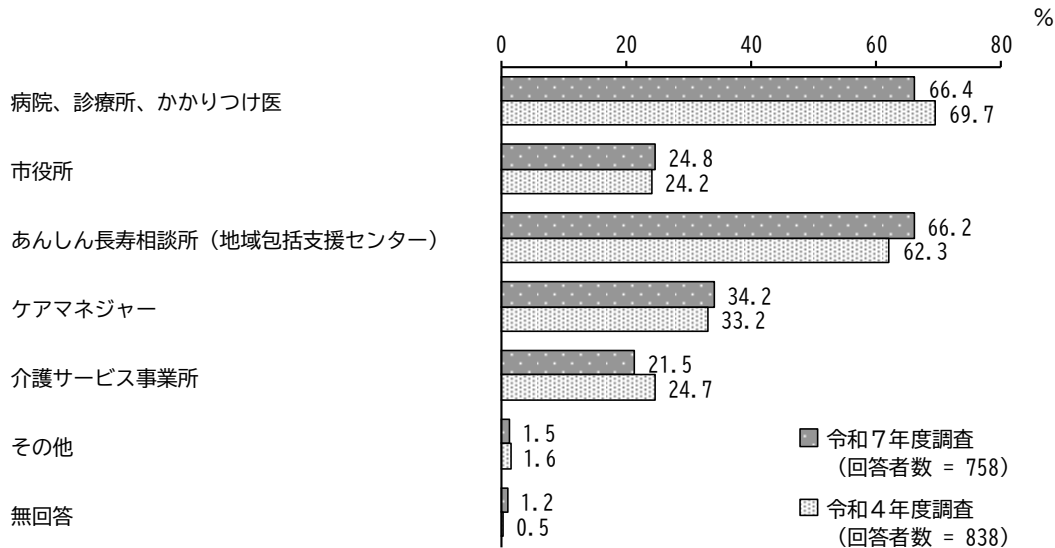


【(2)で「はい」の方のみ】

①認知症に関する相談窓口について、次のどれを知っていますか（いくつでも）

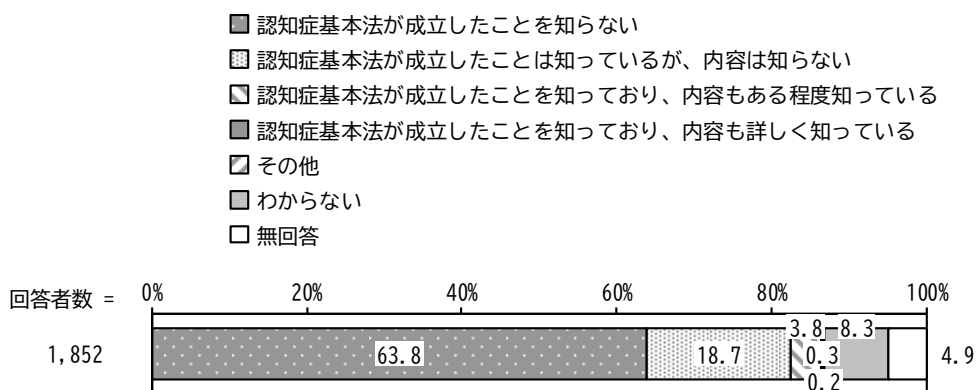
「病院、診療所、かかりつけ医」の割合が66.4%と最も高く、次いで「あんしん長寿相談所（地域包括支援センター）」の割合が66.2%、「ケアマネジャー」の割合が34.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



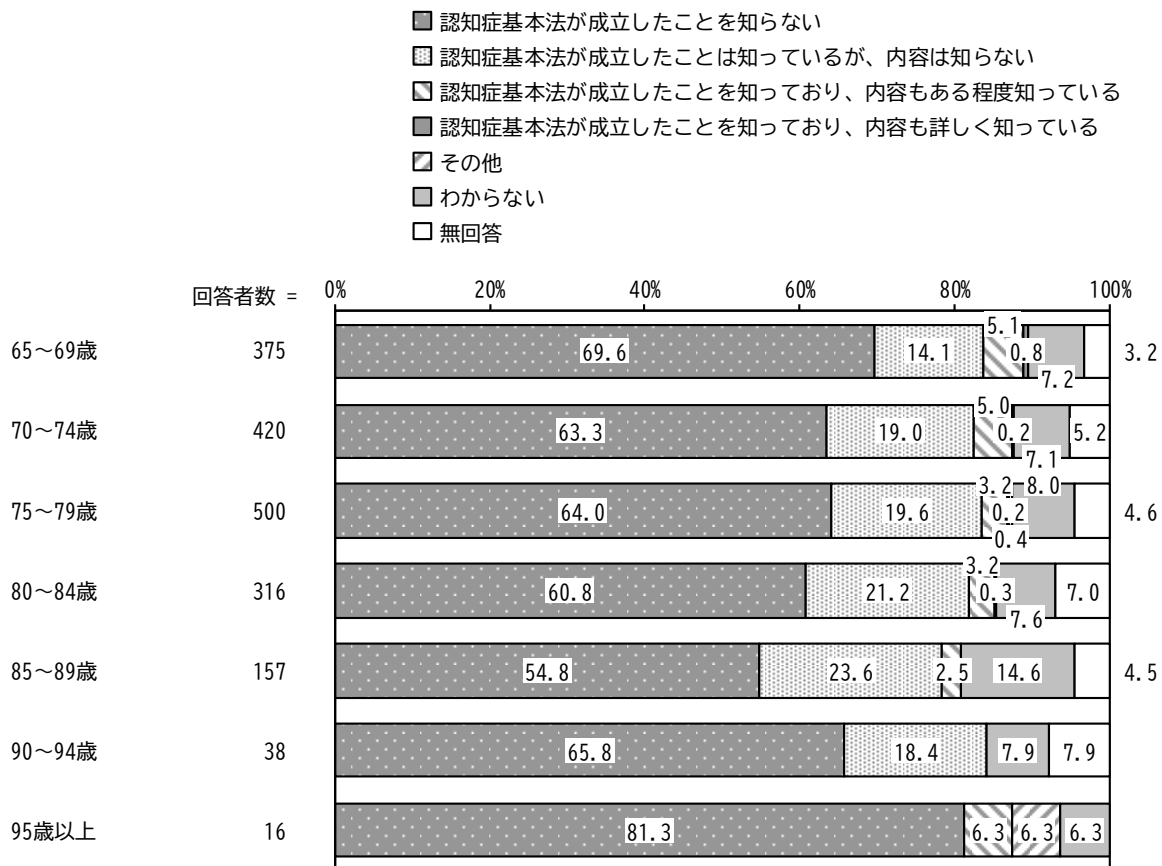
(3) 令和5年6月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（以下、認知症基本法）」が成立し、令和6年1月に施行されました。あなたは認知症基本法が成立したことや、その内容について、知っていますか（ひとつだけ○を）

「認知症基本法が成立したことを知らない」の割合が63.8%と最も高く、次いで「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」の割合が18.7%となっています。



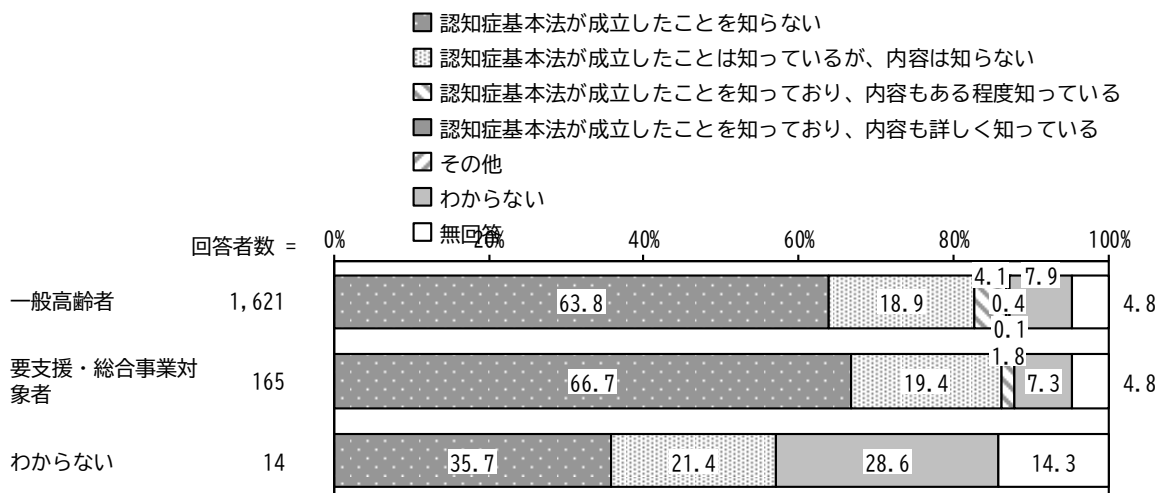
【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳から85～89歳まで年齢が上がるほど「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」の割合が高く、「認知症基本法が成立したことを知らない」の割合が低い傾向にあります。



【要介護認定別】

要介護認定別にみると、以下のとおりです。

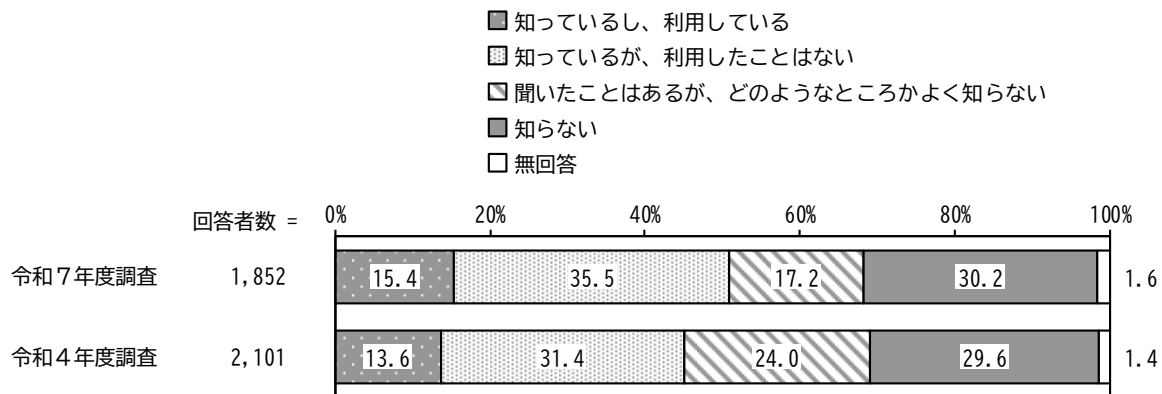


## 11. その他の高齢者施策について

(1) あなたは「あんしん長寿相談所（地域包括支援センター）」を知っていますか（ひとつだけ○を）

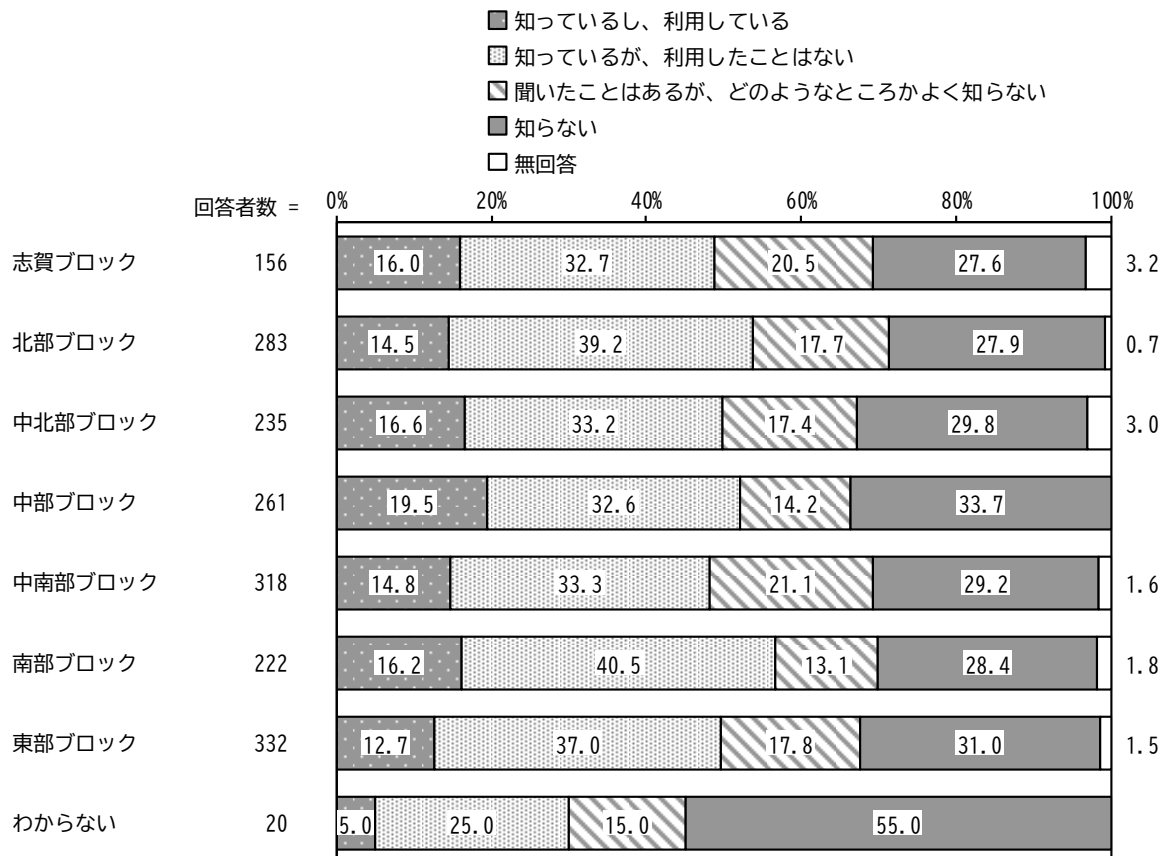
「知っているが、利用したことはない」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 30.2%、「聞いたことはあるが、どのようなところかよく知らない」の割合が 17.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているし、利用している」「知っているが、利用したことはない」を合わせた“知っている”割合が増加しています。



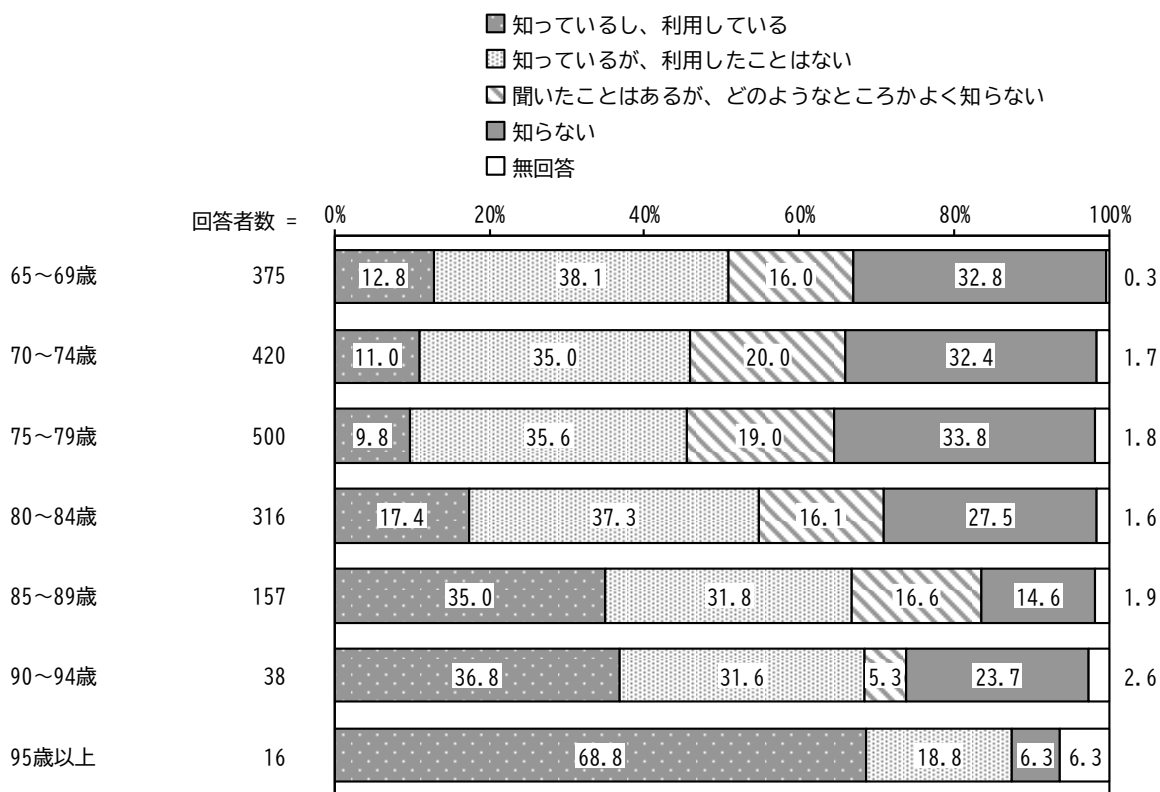
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、南部ブロックで「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



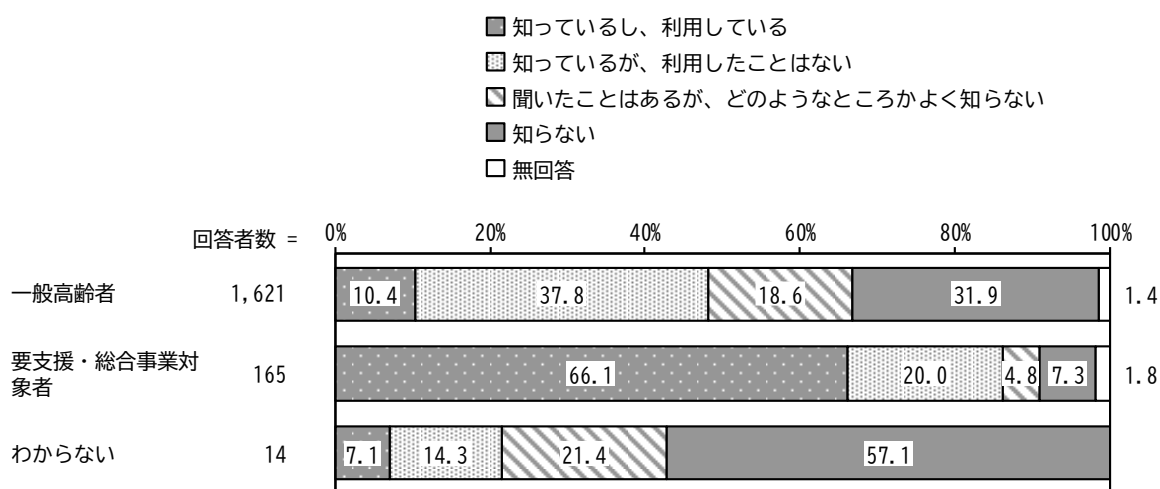
【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳から95歳以上まで年齢が上がるほど「聞いたことはあるが、どのようなところかよく知らない」の割合が低い傾向にあり、75～79歳から95歳以上まで年齢が上がるほど「知っているし、利用している」の割合が高くなっています。



【要介護認定別】

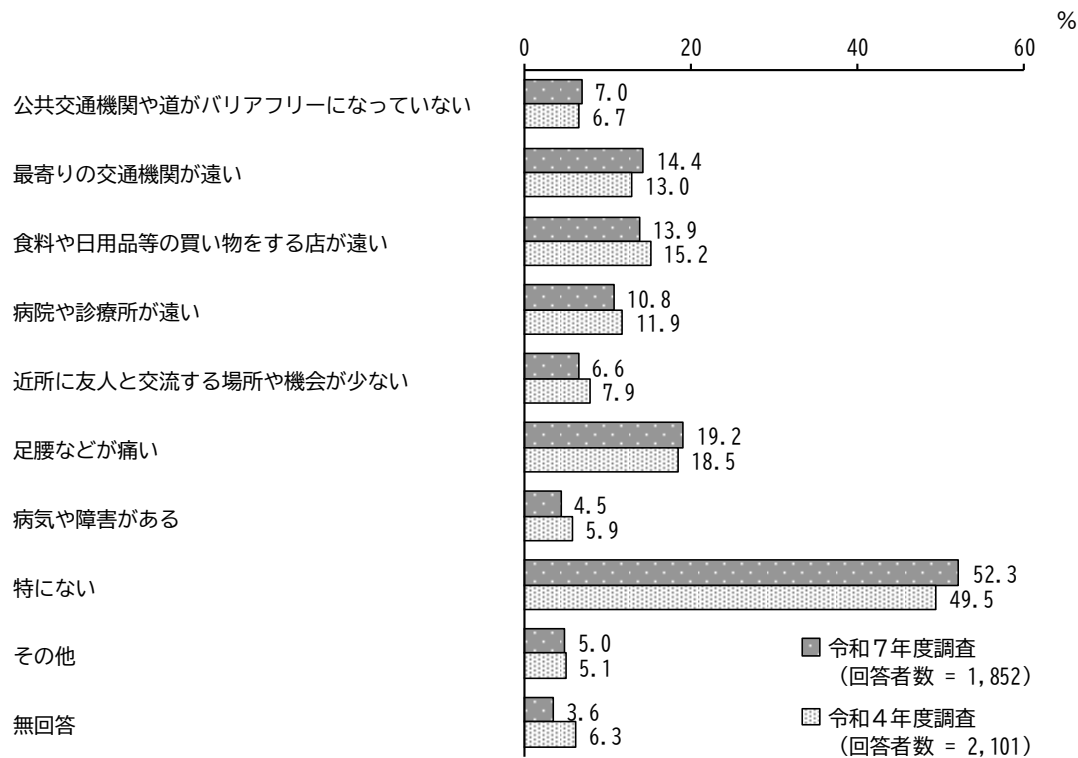
要介護認定別にみると、要支援・総合事業対象者で「知っているし、利用している」の割合が高くなっています。



## (2) 外出するうえで困っていることはありますか (いくつでも)

「特にない」が52.3%で最も高くなっています。次に「足腰などが痛い」19.2%、「最寄りの交通機関が遠い」14.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、「特にない」を除くと、志賀ブロックでは「最寄りの交通機関が遠い」、中部ブロックでは「食料や日用品等の買い物をする店が遠い」、その他のブロックでは「足腰などが痛い」の割合が高くなっています。

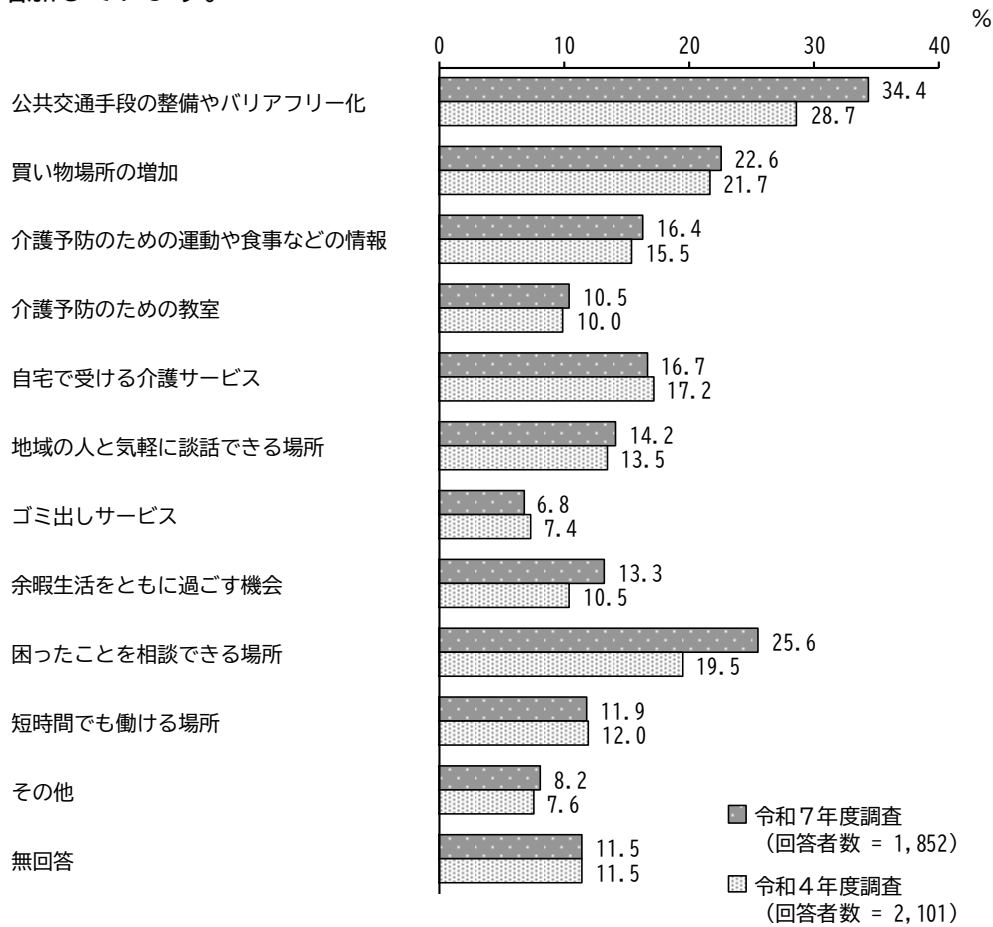
単位：%

区分	回答者数 (件)	公共交通機関や道がバリアフリーになっていない	最寄りの交通機関が遠い	食料や日用品等の買い物をする店が遠い	病院や診療所が遠い	近所に友人と交流する場所や機会が少ない	足腰などが痛い	病気や障害がある	特にない	その他	無回答
全体	1,852	7.0	14.4	13.9	10.8	6.6	19.2	4.5	52.3	5.0	3.6
志賀ブロック	156	10.3	22.4	17.3	16.7	8.3	17.9	5.1	48.7	3.8	5.1
北部ブロック	283	4.9	13.8	12.4	12.7	4.2	19.1	2.5	55.1	5.3	2.5
中北部ブロック	235	7.7	9.8	16.6	11.5	6.4	20.9	3.4	48.9	6.0	5.5
中部ブロック	261	6.9	12.6	19.5	10.7	9.2	18.4	3.4	50.6	5.4	1.9
中南部ブロック	318	7.9	11.6	11.0	6.9	6.6	23.3	6.6	53.5	4.1	4.1
南部ブロック	222	4.5	16.7	14.4	8.6	7.7	17.1	4.1	51.8	7.2	4.1
東部ブロック	332	7.5	16.3	10.2	11.1	5.7	16.9	6.0	55.1	3.6	3.0
わからない	20	10.0	30.0	10.0	10.0	5.0	20.0	5.0	45.0	5.0	0.0

(3) 生活をより良くするために、どのようなものがあればよいと思いますか（いくつでも）

「公共交通手段の整備やバリアフリー化」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「困ったことを相談できる場所」の割合が 25.6%、「買い物場所の増加」の割合が 22.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「公共交通手段の整備やバリアフリー化」「困ったことを相談できる場所」の割合が増加しています。



【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、中部ブロックでは「買い物場所の増加」が最も高く、その他のブロックでは「公共交通手段の整備やバリアフリー化」が、最も割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	公共交通手段の整備やバリアフリー化	買い物場所の増加	介護予防のための運動や食事などの情報	介護予防のための教室	自宅で受ける介護サービス	地域の人と気軽に談話できる場所	ゴミ出しサービス	余暇生活をともに過ごす機会	困ったことを相談できる場所	短時間でも働ける場所	その他	無回答
全体	1,852	34.4	22.6	16.4	10.5	16.7	14.2	6.8	13.3	25.6	11.9	8.2	11.5
志賀ブロック	156	39.7	17.3	17.3	8.3	15.4	12.2	5.8	13.5	25.0	13.5	8.3	15.4
北部ブロック	283	36.7	17.0	13.8	9.5	19.1	13.4	5.3	12.7	30.0	15.2	7.4	13.1
中北部ブロック	235	34.0	24.7	19.1	12.8	16.6	14.0	6.0	11.1	26.4	12.8	6.0	14.5
中部ブロック	261	33.0	33.3	18.4	13.0	17.6	17.2	8.0	14.2	23.8	10.3	9.6	5.7
中南部ブロック	318	30.5	24.8	16.0	10.7	17.9	14.5	10.7	12.9	26.4	10.7	7.2	10.1
南部ブロック	222	29.3	22.5	11.7	10.8	17.1	13.5	5.9	11.3	25.2	12.2	9.9	13.1
東部ブロック	332	39.5	18.7	19.3	9.3	14.2	15.1	4.8	16.6	24.1	10.5	8.7	9.9
わからない	20	25.0	20.0	10.0	5.0	10.0	0.0	5.0	25.0	25.0	5.0	15.0	10.0

【要介護認定別】

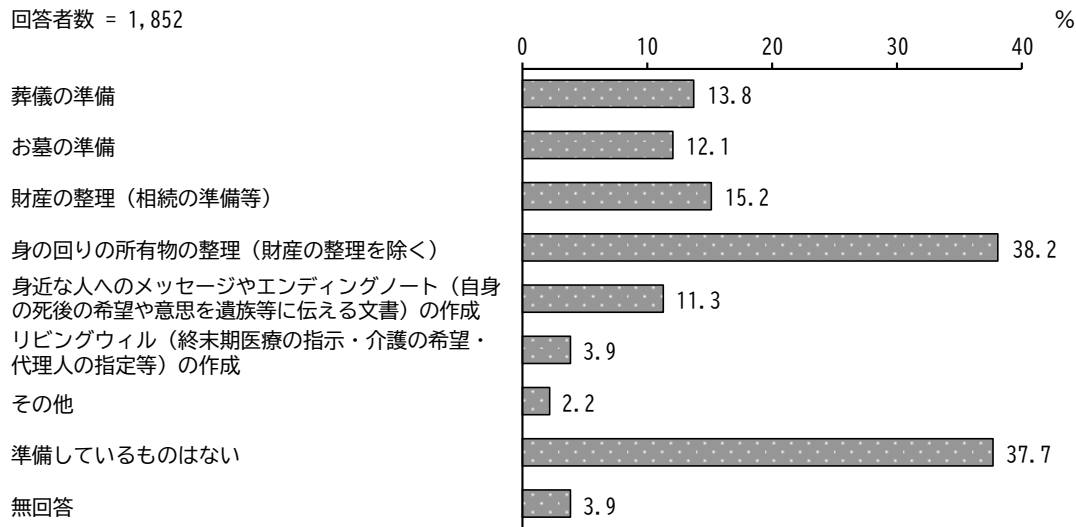
要介護認定別にみると、一般高齢者で「公共交通手段の整備やバリアフリー化」「困ったことを相談できる場所」の順に高く、要支援・総合事業対象者で「公共交通手段の整備やバリアフリー化」「買い物場所の増加」の順に高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	公共交通手段の整備やバリアフリー化	買い物場所の増加	介護予防のための運動や食事などの情報	介護予防のための教室	自宅で受ける介護サービス	地域の人と気軽に談話できる場所	ゴミ出しサービス	余暇生活をともに過ごす機会	困ったことを相談できる場所	短時間でも働ける場所	その他	無回答
全 体	1,852	34.4	22.6	16.4	10.5	16.7	14.2	6.8	13.3	25.6	11.9	8.2	11.5
一般高齢者	1,621	34.4	22.1	16.2	10.5	16.0	13.1	5.9	13.5	26.1	12.6	8.1	11.2
要支援・総合事業対象者	165	39.4	27.3	18.8	10.3	23.6	24.8	15.2	10.3	21.2	4.8	7.3	10.9
わからない	14	42.9	35.7	21.4	14.3	28.6	7.1	21.4	21.4	28.6	14.3	14.3	7.1

#### (4) 今後の生活の中で準備をしているものはありますか (いくつでも)

「身の回りの所有物の整理 (財産の整理を除く)」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「準備しているものはない」の割合が 37.7%、「財産の整理 (相続の準備等)」の割合が 15.2%となっています。



#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、中北部ブロックで「身近な人へのメッセージやエンディングノート (自身の死後の希望や意思を遺族等に伝える文書) の作成」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	葬儀の準備	お墓の準備	財産の整理 (相続の準備等)	身の回りの所有物の整理 (財産の整理を除く)
全体	1,852	13.8	12.1	15.2	38.2
志賀ブロック	156	12.2	10.3	10.3	35.9
北部ブロック	283	13.4	14.5	15.2	35.3
中北部ブロック	235	14.9	8.9	15.7	37.0
中部ブロック	261	12.3	10.7	17.6	38.3
中南部ブロック	318	15.1	13.8	16.4	38.1
南部ブロック	222	15.8	12.2	14.4	40.1
東部ブロック	332	12.3	13.3	16.3	41.9
わからない	20	10.0	5.0	5.0	40.0

区分	身近な人へのメッセージやエンディングノート (自身の死後の希望や意思を遺族等に伝える文書) の作成	リビングウィル (終末期医療の指示・介護の希望・代理人の指定等) の作成	その他	準備しているものはない	無回答
全体	11.3	3.9	2.2	37.7	3.9
志賀ブロック	10.3	3.2	0.6	36.5	8.3
北部ブロック	9.5	2.1	1.4	38.9	2.8
中北部ブロック	17.0	3.4	3.0	37.9	5.1
中部ブロック	14.2	5.4	2.7	37.9	5.0
中南部ブロック	11.3	5.0	2.2	37.7	1.9
南部ブロック	10.8	5.9	2.3	38.3	3.2
東部ブロック	8.1	2.1	2.7	36.4	3.0
わからない	10.0	5.0	0.0	50.0	0.0

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「葬儀の準備」の割合が高い傾向にあり、65～69歳から90～94歳まで年齢が上がるほど「身近な人へのメッセージやエンディングノート（自身の死後の希望や意思を遺族等に伝える文書）の作成」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	葬儀の準備	お墓の準備	財産の整理(相続の準備等)	身の回りの所有物の整理 (財産の整理を除く)
全体	1,852	13.8	12.1	15.2	38.2
65～69歳	375	8.0	9.1	10.9	39.5
70～74歳	420	12.9	12.9	18.3	42.4
75～79歳	500	13.8	12.0	16.0	36.4
80～84歳	316	16.5	14.6	15.2	34.8
85～89歳	157	22.3	13.4	15.9	36.9
90～94歳	38	21.1	13.2	10.5	28.9
95歳以上	16	31.3	12.5	31.3	68.8

区分	身近な人へのメッセージやエンディングノート（自身の死後の希望や意思を遺族等に伝える文書）の作成	リビングウィル（終末期医療の指示・介護の希望・代理人の指定等）の作成	その他	準備しているものはない	無回答
全体	11.3	3.9	2.2	37.7	3.9
65～69歳	5.9	1.6	2.1	44.8	1.6
70～74歳	10.5	5.5	1.7	37.1	1.7
75～79歳	12.0	3.4	2.2	36.8	4.8
80～84歳	14.6	3.5	0.6	39.6	5.4
85～89歳	15.9	5.7	4.5	28.7	5.7
90～94歳	23.7	7.9	7.9	28.9	13.2
95歳以上	6.3	12.5	6.3	0.0	6.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らしで「身近な人へのメッセージやエンディングノート（自身の死後の希望や意思を遺族等に伝える文書）の作成」、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「準備しているものはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	葬儀の準備	お墓の準備	財産の整理(相続の準備等)	身の回りの所有物の整理 (財産の整理を除く)
全 体	1,852	13.8	12.1	15.2	38.2
1人暮らし	368	15.8	10.6	16.8	42.1
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	852	12.8	13.5	16.5	38.5
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	82	8.5	13.4	7.3	37.8
息子・娘との2世帯	233	15.5	12.0	12.9	35.2
その他	266	13.5	9.4	14.7	34.6

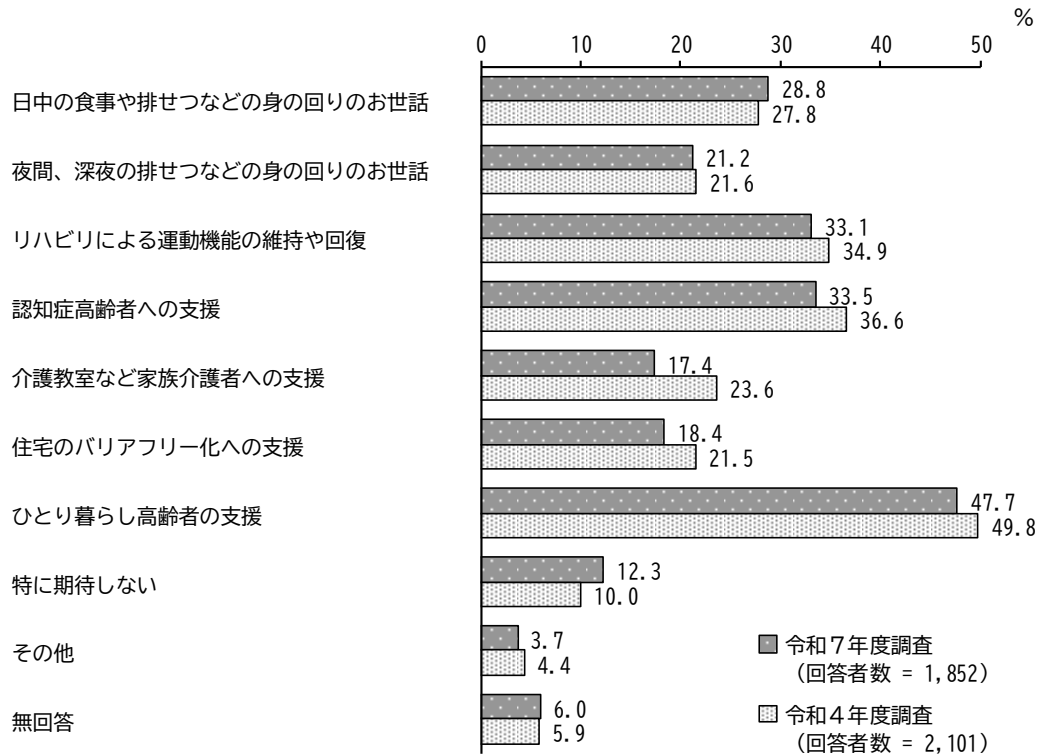
区分	身近な人へのメッセージやエンディングノート（自身の死後の希望や意思を遺族等に伝える文書）の作成	リビングウィル（終末期医療の指示・介護の希望・代理人の指定等）の作成	その他	準備しているものはない	無回答
全 体	11.3	3.9	2.2	37.7	3.9
1人暮らし	16.3	7.3	3.0	31.3	4.9
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	10.6	2.9	1.5	39.8	2.5
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	3.7	1.2	0.0	45.1	2.4
息子・娘との2世帯	12.0	4.7	3.0	38.6	4.3
その他	9.0	2.3	3.4	38.3	6.4

## 12. 介護保険制度について

### (1) あなたは介護保険制度に何を期待していますか（いくつでも）

「ひとり暮らし高齢者の支援」の割合が47.7%と最も高く、次いで「認知症高齢者への支援」の割合が33.5%、「リハビリによる運動機能の維持や回復」の割合が33.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護教室など家族介護者への支援」の割合が減少しています。



#### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、全てのブロックで「ひとり暮らし高齢者の支援」が最も割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	日中の食事や排せつなどの身の回りのお世話	夜間、深夜の排せつなどの身の回りのお世話	リハビリによる運動機能の維持や回復	認知症高齢者への支援	介護教室など家族介護者への支援	住宅のバリアフリー化への支援	ひとり暮らし高齢者の支援	特に期待しない	その他	無回答
全体	1,852	28.8	21.2	33.1	33.5	17.4	18.4	47.7	12.3	3.7	6.0
志賀ブロック	156	30.1	21.8	30.1	37.8	19.9	14.1	48.7	7.7	3.2	8.3
北部ブロック	283	29.3	24.4	33.6	38.5	19.8	20.8	53.0	10.2	4.6	3.2
中北部ブロック	235	28.9	19.1	33.2	29.8	18.7	17.4	46.0	14.5	4.3	6.4
中部ブロック	261	29.5	20.3	34.9	29.5	20.3	20.3	52.1	11.5	2.7	7.7
中南部ブロック	318	32.4	23.9	34.6	35.2	17.6	17.0	48.4	11.9	3.1	4.7
南部ブロック	222	25.2	19.4	34.7	29.7	15.3	17.1	37.8	14.4	4.1	6.8
東部ブロック	332	26.8	19.0	31.9	35.8	13.9	19.9	46.4	14.5	4.2	4.8
わからない	20	25.0	15.0	15.0	25.0	5.0	15.0	65.0	15.0	0.0	5.0

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ひとり暮らし高齢者の支援」の割合が低い傾向にあり、70～74歳から95歳以上まで年齢が上がるほど「夜間、深夜の排せつなどの身の回りのお世話」の割合が低くなっています。また、65～69歳で「認知症高齢者への支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の食事や排せつなどの身の回りのお世話	夜間、深夜の排せつなどの身の回りのお世話	リハビリによる運動機能の維持や回復	認知症高齢者への支援	介護教室など家族介護者への支援	住宅のバリアフリー化への支援	ひとり暮らし高齢者の支援	特に期待しない	その他	無回答
全体	1,852	28.8	21.2	33.1	33.5	17.4	18.4	47.7	12.3	3.7	6.0
65～69歳	375	35.7	24.8	34.7	46.1	20.5	20.8	53.6	13.9	3.5	1.1
70～74歳	420	34.8	26.4	38.8	41.0	21.7	20.2	49.3	10.5	2.6	3.6
75～79歳	500	25.4	18.6	31.8	31.0	16.4	18.0	50.2	14.0	4.2	6.6
80～84歳	316	25.0	18.0	27.8	24.7	11.7	14.6	44.3	11.7	4.1	9.2
85～89歳	157	19.1	15.9	33.1	16.6	17.8	19.1	35.0	12.1	4.5	9.6
90～94歳	38	15.8	13.2	18.4	15.8	5.3	13.2	31.6	10.5	2.6	18.4
95歳以上	16	43.8	12.5	31.3	37.5	18.8	12.5	25.0	6.3	0.0	12.5

【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「ひとり暮らし高齢者の支援」が49.1%であったが、要支援・総合事業対象者で「リハビリによる運動機能の維持や回復」が49.7%と、最も割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	日中の食事や排せつなどの身の回りのお世話	夜間、深夜の排せつなどの身の回りのお世話	リハビリによる運動機能の維持や回復	認知症高齢者への支援	介護教室など家族介護者への支援	住宅のバリアフリー化への支援	ひとり暮らし高齢者の支援	特に期待しない	その他	無回答
全体	1,852	28.8	21.2	33.1	33.5	17.4	18.4	47.7	12.3	3.7	6.0
一般高齢者	1,621	30.2	21.9	32.1	34.7	18.3	18.4	49.1	12.7	3.5	5.9
要支援・総合事業対象者	165	18.8	15.8	49.7	25.5	10.9	18.2	36.4	6.7	4.8	7.3
わからない	14	28.6	21.4	14.3	28.6	7.1	14.3	50.0	7.1	14.3	0.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「ひとり暮らし高齢者の支援」が最も割合が高く、息子・娘との2世帯、その他で「リハビリによる運動機能の維持や回復」が最も割合が高くなっています。

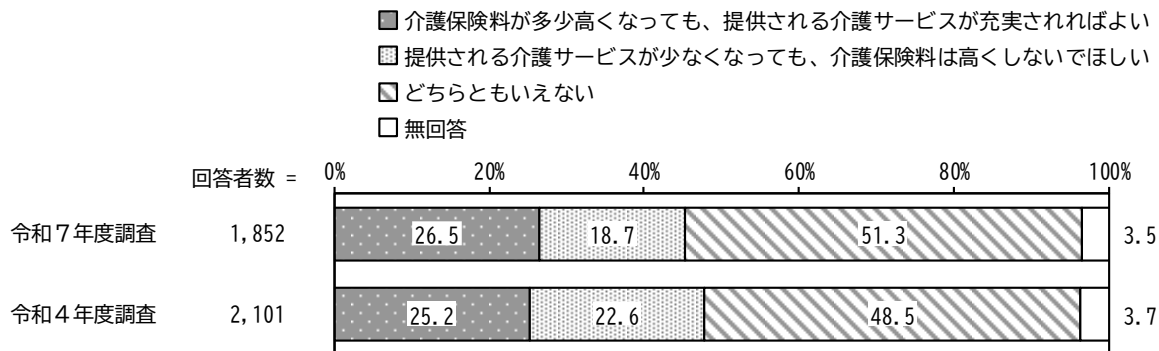
単位：％

区分	回答者数（件）	日中の食事や排せつなどの身の回りのお世話	夜間、深夜の排せつなどの身の回りのお世話	リハビリによる運動機能の維持や回復	認知症高齢者への支援	介護教室など家族介護者への支援	住宅のバリアフリー化への支援	ひとり暮らし高齢者の支援	特に期待しない	その他	無回答
全 体	1,852	28.8	21.2	33.1	33.5	17.4	18.4	47.7	12.3	3.7	6.0
1人暮らし	368	22.3	14.1	22.8	20.7	6.3	10.9	73.9	10.9	3.0	7.6
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	852	30.2	22.2	33.7	37.0	19.2	20.2	47.2	12.2	3.5	4.3
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	82	42.7	30.5	40.2	42.7	28.0	23.2	45.1	13.4	7.3	3.7
息子・娘との2世帯	233	27.5	22.3	40.3	38.6	21.5	21.5	26.6	11.2	3.0	6.4
その他	266	32.3	24.8	36.8	34.6	20.3	19.5	34.2	16.2	5.3	6.4

## (2) 介護保険料と介護保険サービスの充実について（ひとつだけ○を）

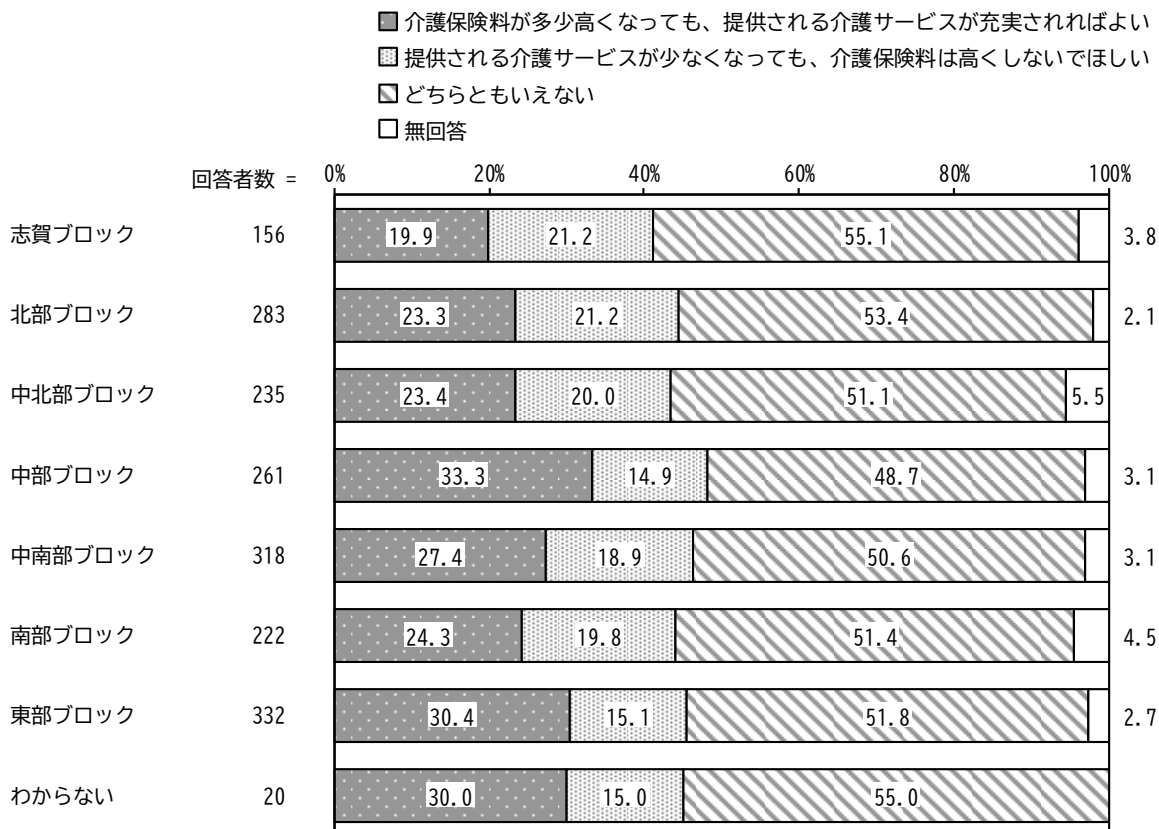
「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護サービスが充実できればよい」の割合が 26.5%、「提供される介護サービスが少なくなっても、介護保険料は高くしないでほしい」の割合が 18.7%、「どちらともいえない」の割合が 51.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



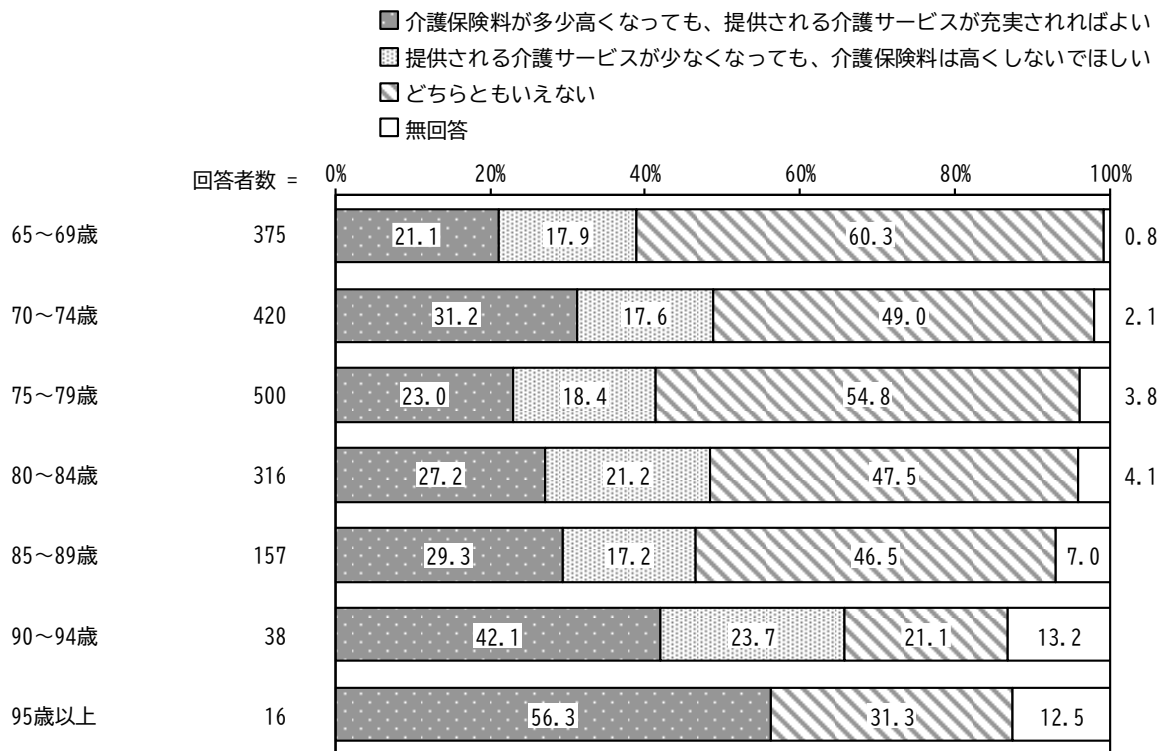
### 【保健福祉ブロック別】

保健福祉ブロック別にみると、中部ブロックで「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護サービスが充実できればよい」の割合が高くなっています。



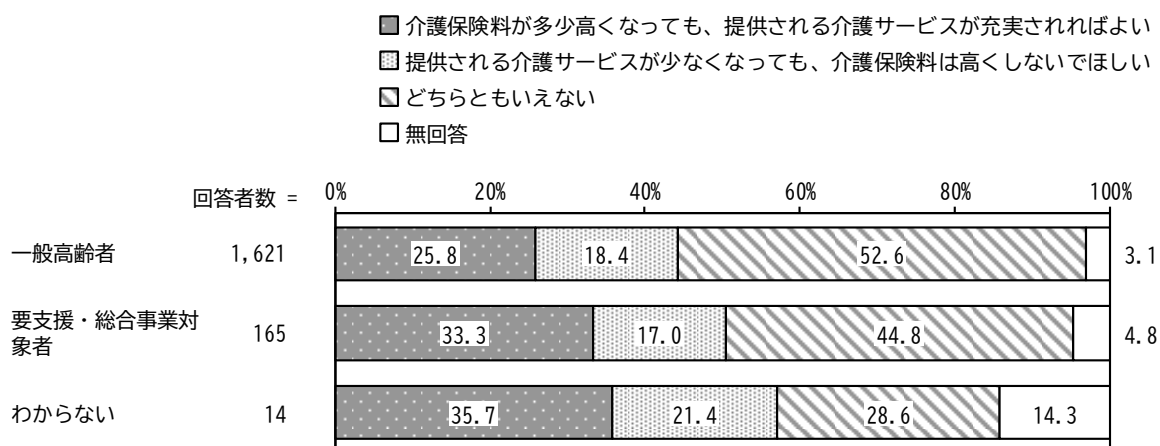
### 【年齢別】

年齢別にみると、75～79歳から95歳以上まで年齢が上がるほど「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護サービスが充実できればよい」の割合が高くなっています。



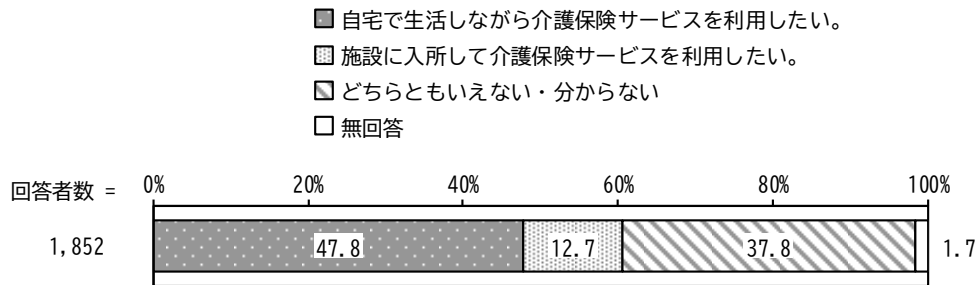
### 【要介護認定別】

要介護認定別にみると、一般高齢者で「どちらともいえない」の割合が高く、要支援・総合事業対象者で「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護サービスが充実できればよい」の割合が高くなっています。



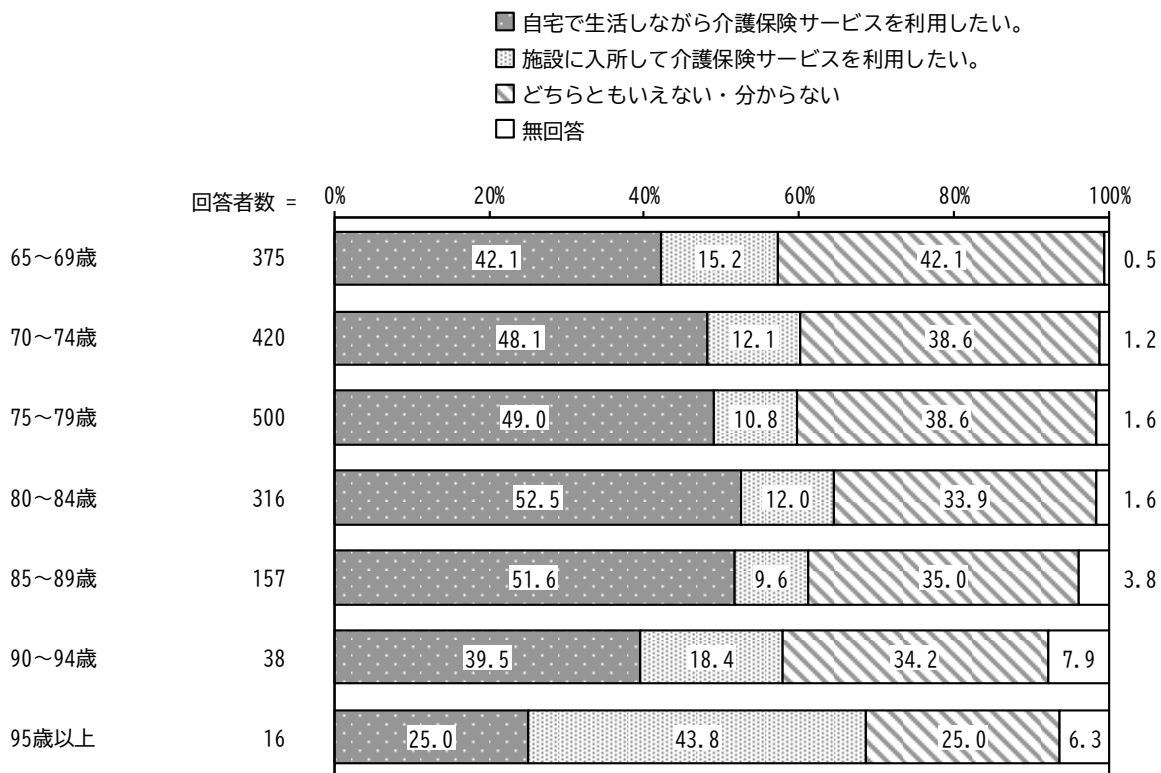
(3) 介護保険サービス等について、今後の利用意向をお聞きします。どのような介護サービスを利用したいですか。(ひとつだけ○を)

「自宅で生活しながら介護保険サービスを利用したい。」の割合が 47.8%、「施設に入所して介護保険サービスを利用したい。」の割合が 12.7%となっています。



【年齢別】

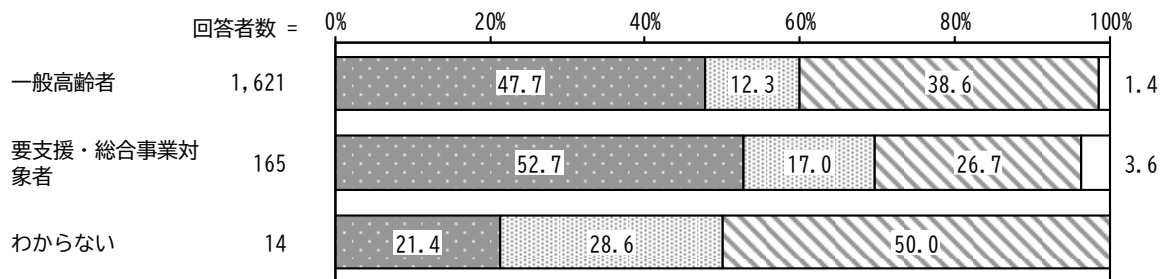
年齢別にみると、95歳以上で「施設に入所して介護保険サービスを利用したい。」の割合が高くなっていますが、他の区分では「自宅で生活しながら介護保険サービスを利用したい。」の割合が高くなっています。



【要介護認定別】

要介護認定別にみると、以下のとおりです。

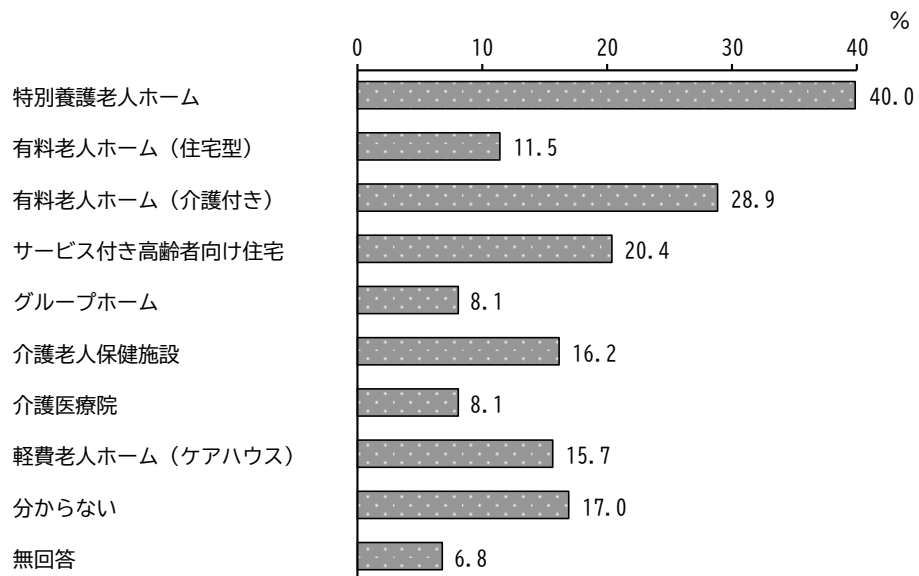
- 自宅で生活しながら介護保険サービスを利用したい。
- ▨ 施設に入所して介護保険サービスを利用したい。
- ▩ どちらともいえない・分からない
- 無回答



(4) (3) で「施設に入所して介護保険サービスを利用したい。」を選択した方にお尋ねします。どのような施設に入所したいと考えていますか。(いくつでも)

「特別養護老人ホーム」の割合が40.0%と最も高く、次いで「有料老人ホーム（介護付き）」の割合が28.9%、「サービス付き高齢者向け住宅」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 235



#### 【年齢別】

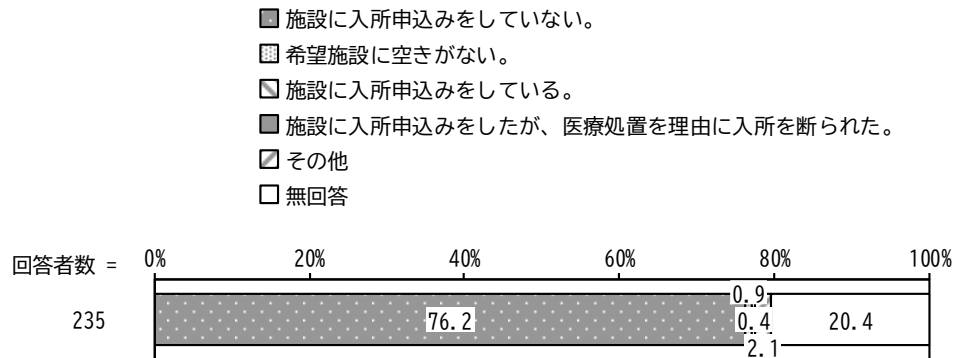
年齢別にみると、全区分において「特別養護老人ホーム」が最も高く、70～74歳、90～94歳で「有料老人ホーム（介護付き）」も「特別養護老人ホーム」と同程度に割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム（住宅型）	有料老人ホーム（介護付き）	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	介護老人保健施設	介護医療院	軽費老人ホーム（ケアハウス）	分からない	無回答
全体	235	40.0	11.5	28.9	20.4	8.1	16.2	8.1	15.7	17.0	6.8
65～69歳	57	47.4	21.1	33.3	35.1	12.3	10.5	8.8	7.0	8.8	3.5
70～74歳	51	33.3	11.8	33.3	21.6	9.8	7.8	7.8	15.7	21.6	0.0
75～79歳	54	35.2	9.3	25.9	16.7	7.4	20.4	5.6	24.1	20.4	13.0
80～84歳	38	44.7	7.9	23.7	13.2	2.6	18.4	7.9	21.1	21.1	13.2
85～89歳	15	26.7	6.7	20.0	13.3	6.7	20.0	20.0	6.7	20.0	6.7
90～94歳	7	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3
95歳以上	7	71.4	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0

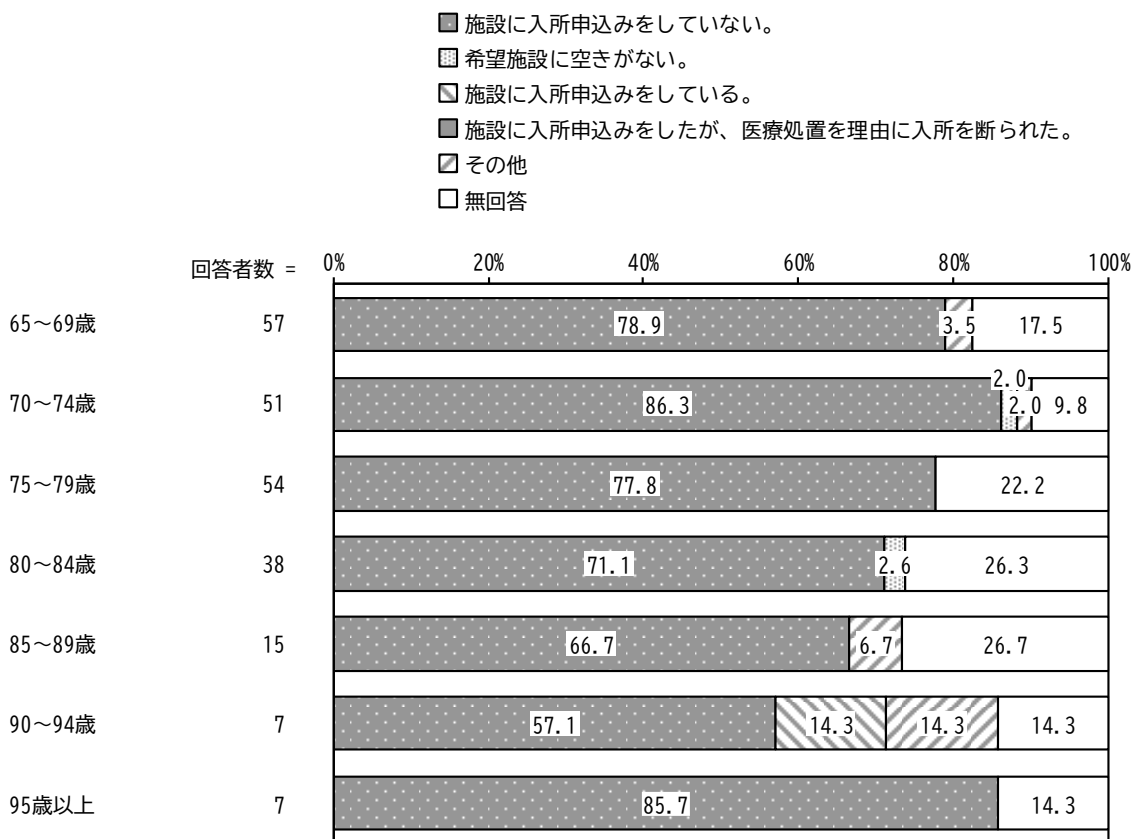
(5) (3) で「施設に入所して介護保険サービスを利用したい。」を選択した方にお尋ねします。現在、施設の入所申込みをされていますか。(ひとつだけ○を)

「施設に入所申込みをしていない。」の割合が76.2%と最も高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳から90～94歳まで年齢が上がるほど「施設に入所申込みをしていない。」の割合が低くなっています。



自由記載（生活する中で不安に思うことやどのような支援があれば良いかなど）

ご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

分類項目	件数
移動手段・公共交通の不足、免許返納後の不安	72
経済的不安（年金の不足・物価高・介護・医療費負担）	69
一人暮らし・孤立・安否確認・見守りの不安	66
情報不足・相談窓口や手続きの周知不足	56
施設入所の費用負担・入所先の不足、入所先の要望	46
健康維持・介護予防（運動施設・教室・健康診断、検査補助等の要望）	46
在宅介護・家族介護の負担と在宅支援の拡充要望	38
介護保険制度への不満	26
生活支援サービス希望	22
地域サービスの格差・自治会・ボランティア等地域支援の衰退	21
医療アクセス・高額医療費の不安・近隣医療体制の不足	19
介護人材の不足と待遇改善	11
終末医療・尊厳死・安楽死に関する意見	11
デジタル格差	10
歩道・駅・公共施設等のバリアフリー整備	9
住宅維持・リフォーム・住み続けられる住居支援の要望	9
安全・犯罪・交通マナー対策	8
介護・福祉に関する総合案内冊子や情報の一元化、学区別説明会要望	7
介護職・ヘルパー等への感謝・敬意	5
夜間対応・緊急相談窓口や短期支援	2
ペット関連の配慮	2
その他	17

※特になし、わからない を除く